

(看護) 小規模多機能型居宅介護に関する調査結果について

1 調査の目的

適地確保の取組みと並行して、(看護) 小規模多機能型居宅介護に対する潜在的なニーズ等の把握及び分析を実施し、効果的かつ効率的な施設整備を促進する。

2 調査の概要

(1) アンケート調査は、調査票を郵送配布・回収により実施。

(調査期間：平成 29 年 9 月 6 日～10 月 6 日)

(2) 事業者ヒアリング調査は、事前に事業所へ調査項目を伝えた上で聞き取りを実施。

(調査期間：平成 29 年 9 月 13 日～11 月 2 日)

調査名	対象者	対象者数
(1)利用者調査	現在のサービス利用者	86 名
(2)第 1 号被保険者調査	要介護・要支援の認定を受けていない、65 歳以上の被保険者	1,500 名 (無作為抽出)
(3)ミドル・シニア調査	要介護・要支援認定を受けていない 50～64 歳の被保険者	1,500 名 (無作為抽出)
(4)要介護・要支援認定者調査	要介護・要支援の認定を受けている 65 歳以上の被保険者 (介護保険施設、認知症高齢者グループホーム、特定施設利用者を除く)	1,500 名 (無作為抽出)
(5)事業者ヒアリング調査	区内事業所(小規模多機能 3 ヲ所、看護小規模多機能 1 ヲ所) ケアマネ 2 名、医療関係者 3 名、地域包括支援センター 8 ヲ所 (分室含む)	

3 アンケート調査回収結果

	調査対象	調査方法	配布数	回収数	回収率
利用者	小規模多機能型居宅介護サービス利用者	施設配布	61	39	63.9%
	看護小規模多機能型居宅介護サービス利用者	郵送回収	25	14	56.0%
被保険者	第 1 号被保険者	郵送配布	1,500	806	53.7%
	第 2 号被保険者 (ミドル・シニア)		1,500	574	38.3%
	要介護・要支援認定者	郵送回収	1,500	533	35.5%

4 調査結果の概要

本調査を通して、(看護)小規模多機能型居宅介護の利用者像、利用するまでの流れ、利用者の満足度および潜在ニーズ、事業所の取組み、ケアマネとの連携等が明らかになった。

5 成果及び今後の取組み

- (1) 潜在的ニーズの把握により、高齢者・介護保険事業計画(平成30年度～32年度)において、より実情にあった整備計画を立てることができた。今後は、本調査に基づいた整備計画を基に施設整備をすすめていく。
- (2) 潜在的ニーズや所在地に関する希望などが明らかになったため、新規参入事業者の参入意欲を喚起し、整備につなげる。
- (3) 調査票や面接調査を通して(看護)小規模多機能型居宅介護の周知ができたため、調査自体が制度利用へのPRとなった。
- (4) 分析結果を運営事業所へフィードバックすることにより、さらなるサービスの質の向上や運営の安定化を図る。

小規模多機能型居宅介護に関する調査

報告書

平成 30 年 3 月

文京区

小規模多機能型居宅介護に関する調査報告書

目 次

第1章	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	文京区の高齢者等の状況	2
3	調査内容	4
第2章	サービス利用者調査	6
第3章	第1号被保険者・第2号被保険者調査	27
第4章	要介護・要支援認定者調査	45
第5章	面接調査	58
1	高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）	58
2	事業所	62
3	ケアマネジャー	66
4	病院	69
第6章	全体を通しての分析	72
資料編	（調査票）	75

第1章 調査の概要

1 調査の目的

文京区では、これまで、地域密着型サービスの一つである（看護）小規模多機能型居宅介護が、地域包括ケアシステムにおける役割が大きくなることを想定し、平成37年度までに各圏域2か所という整備目標を定めて整備を進めてきました。しかし、活用できる公有地が減少しており、民有地での公募も実施していますが、事業者の応募がない状況が続いています。

本調査は、（看護）小規模多機能型居宅介護に対する潜在的ニーズ、文京区の実情、利用者像、既存の事業所の運営状況等を把握・分析し、得られた成果をもとに、より実情にあった整備計画を立て、効率的かつ効果的な施設整備を進めるとともに、事業者に対する参入意欲の喚起、既存事業所の安定的運営・サービスの質の向上に役立てることを目的として実施しました。

さらに、本調査が、（看護）小規模多機能型居宅介護の周知の機会となり、区民にとって、今後の介護サービスの選択の一助となることも目的としています。

【参考 東京都における地域密着型サービス整備の方向性】

東京都では、平成27年10月に地域医療介護総合確保基金を造成し、区市町村に対する地域密着型サービスの施設整備費補助を拡充することにより、整備を進めています。

平成30年3月に策定された東京都高齢者保健福祉計画においても、地域密着型サービスについては東京都独自の支援策により整備を促進することとしています。

〔小規模多機能型居宅介護〕

○小規模多機能型居宅介護事業所については、公有地活用の推進、東京都独自の整備費補助に加え、認知症高齢者グループホームとの合築・併設についても補助を行うなど、整備促進を支援します。

〔看護小規模多機能型居宅介護〕

○看護小規模多機能型居宅介護事業所について、公有地活用の推進、東京都独自の整備費補助に加え、建築価格高騰に対する増額や、認知症高齢者グループホームとの合築・併設についても補助を行うなど、整備促進を支援します。

○開設を検討している訪問看護ステーション管理者等を対象に、開設に向けた経営的なアドバイス等の支援や、人的資源管理やサービスの現場を学ぶ研修を実施することで、訪問看護を担う人材の確保・育成を推進し、看護小規模多機能型居宅介護の普及・定着を促進していきます。

（東京都高齢者保健福祉計画 平成30年度～32年度）

2 文京区の高齢者等の状況

(1) 高齢者の状況

文京区の人口は216,697人（住民基本台帳、平成29年10月1日現在）です。このうち65歳以上の高齢者は42,686人で、総人口の19.7%を占めています。65歳から74歳までの前期高齢者は20,843人、75歳以上の後期高齢者は21,843人となっており、今後も後期高齢者数が増加することが見込まれています。

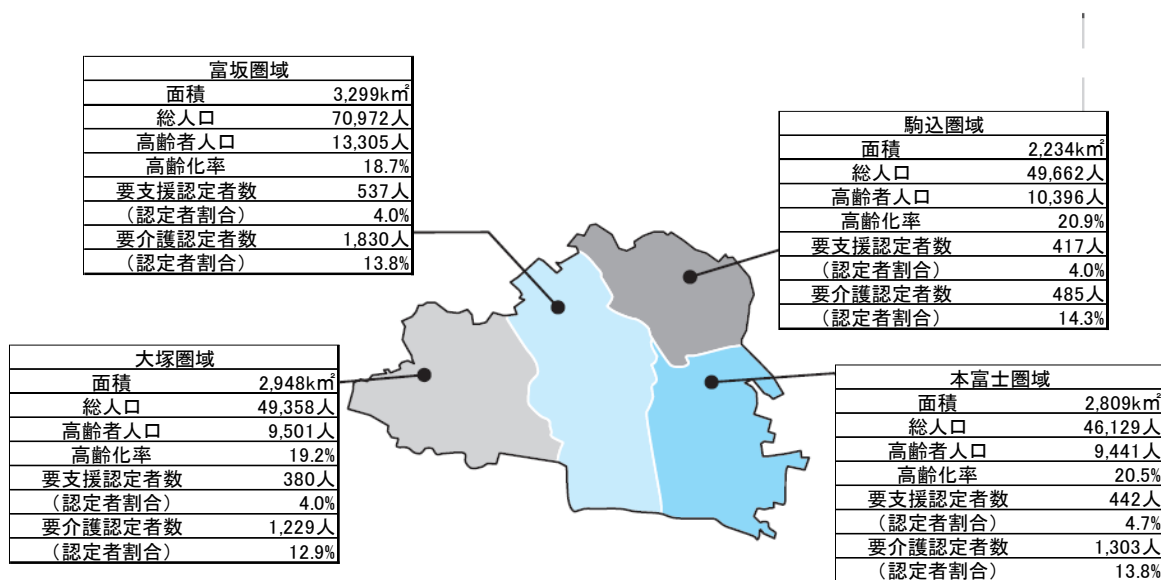
また、介護保険制度における要支援・要介護認定者数は、6,623人（平成29年9月1日現在）となっています。

(2) 日常生活圏域ごとの状況

介護保険法では、住民が日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件等を総合的に勘案して、「日常生活圏域」を設定しています。

文京区においては、区内を富坂地区、大塚地区、本富士地区、駒込地区の4圏域に区分しています。

日常生活圏域ごとの高齢者の状況では、高齢者人口は富坂圏域が13,305人で最も多く、高齢化率は駒込圏域が20.9%で最も高くなっています。



(平成29年9月1日現在。なお、要介護・要支援認定者数は、住所地特例者（本区の被保険者が区外の介護保険施設等に入所又は入居し、その施設等の所在地に住所を移した場合、引き続き本区の被保険者となる制度）を除く。)

(3) 地域密着型サービスの状況

高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、介護保険の保険者である区が地域の特性を活かした整備計画を策定し、事業者の指定・指導監督を行う「地域密着型サービス」を提供しています。このサービスは、原則として区内に住所を有する被保険者のみが利用できるものです。平成30年3月1日現在、区内で45か所の地域密着型サービス事業所を指定しています。

【地域密着型サービス指定状況（平成30年3月1日現在）】

種別	事業所数	定員
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1か所	45人
夜間対応型訪問介護	1か所	300人
(介護予防)認知症対応型通所介護	8か所	100人
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	3か所	79人
看護小規模多機能型居宅介護	1か所	29人
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	7か所	122人
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1か所	17人
地域密着型通所介護	23か所	291人

(看護)小規模多機能型居宅介護は、第6期高齢者・介護保険事業計画では、平成37年度までに各日常生活圏域に2か所の整備を計画していますが、小規模多機能型居宅介護は富坂地区、大塚地区、本富士地区の各日常生活圏域に各1か所、看護小規模多機能型居宅介護は富坂地区に1か所の計4か所の整備にとどまっています(平成30年3月現在)。平成30年度以降も整備を進める予定ですが、今後も効果的かつ効率的な施設整備が必要です。

【区内の(看護)小規模多機能型居宅介護事業所】

施設名(定員)	所在地	日常生活圏域
小規模多機能型居宅介護いきいき礪川 (25人)	小石川2-16-1	富坂地区
ユアハウス弥生 (29人)	弥生2-16-3	本富士地区
ジャパンケアいきいき小日向 (25人)	小日向2-8-15	大塚地区
千石にじの家(看護小規模多機能型居宅介護) (29人)	千石4-1-2	富坂地区

3 調査内容

① アンケート調査

- ・調査期間：平成 29 年 9 月 6 日～10 月 6 日
- ・調査方法：質問紙による自記回答式

	調査対象	調査方法	配布数	回収数	回収率
利用者	小規模多機能型居宅介護サービス利用者	施設配布	61	39	63.9%
	看護小規模多機能型居宅介護サービス利用者	郵送回収	25	14	56.0%
被保険者	第 1 号被保険者	郵送配布	1,500	806	53.7%
	第 2 号被保険者（ミドル・シニア）		1,500	574	38.3%
	要介護・要支援認定者	郵送回収	1,500	533	35.5%

② 面接調査

- ・調査期間：平成 29 年 9 月 13 日～11 月 2 日
- ・調査方法：事前に調査項目を伝えた上での聞き取り調査
- ・調査対象

【高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）】

	調査対象	調査実施日
①	高齢者あんしん相談センター富坂・富坂分室	平成 29 年 10 月 18 日
②	高齢者あんしん相談センター大塚・大塚分室	平成 29 年 10 月 18 日
③	高齢者あんしん相談センター本富士・本富士分室	平成 29 年 9 月 13 日
④	高齢者あんしん相談センター駒込・駒込分室	平成 29 年 10 月 11 日

【事業所】

	調査対象	調査実施日
①	小規模多機能型居宅介護いきいき礪川 （小石川 2-16-1）	平成 29 年 9 月 13 日
②	ユアハウス弥生（弥生 2-16-3）	平成 29 年 10 月 18 日
③	ジャパンケアいきいき小日向（小日向 2-8-15）	平成 29 年 10 月 29 日
④	千石にじの家（千石 4-1-2）	平成 29 年 11 月 2 日

【ケアマネジャー】

	調査対象	調査実施日
①	区内居宅介護支援事業所（主任介護支援専門員） ※任意抽出	平成 29 年 9 月 26 日

【病院】

	調査対象	調査実施日
①	日本医科大学付属病院 患者支援センター	平成 29 年 10 月 4 日
②	東京医科歯科大学医学部付属病院 医療福祉支援室	平成 29 年 10 月 4 日
③	東京健生病院 医療相談室	平成 29 年 10 月 25 日

調査結果の見方

- ① 集計した数値（％）は小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、四捨五入の関係で 100.0%にならないことがあります。
- ② 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100.0%を超えることがあります。
- ③ 回答者がなかった選択肢は、図表等で省略することがあります。
- ④ 自由記述については、代表的な意見の一部を掲載しています。なお、文意を損なわない範囲で語句等を改めたものがあります。
- ⑤ 本文及び図表等で、「小規模多機能型居宅介護サービス」を「小多機」、「看護小規模多機能型居宅介護サービス」を「看多機」、「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」を「地域包括」と表記することがあります。

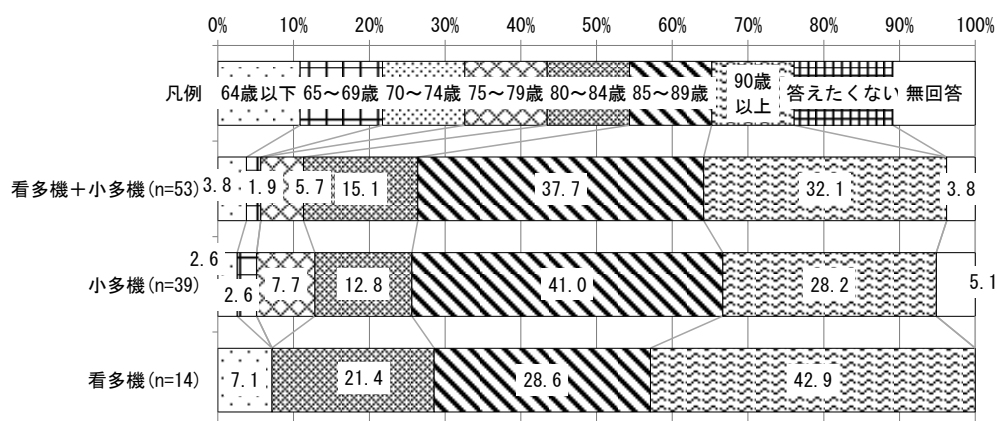
第2章 サービス利用者調査

	調査対象	調査方法	配布数	回収数	回収率
利用者	小規模多機能型居宅介護サービス利用者	施設配布	61	39	63.9%
	看護小規模多機能型居宅介護サービス利用者	郵送回収	25	14	56.0%

※ 本文では、特に注記がない場合は小多機利用者と看多機利用者の合計についての分析となっています。

回答者の属性

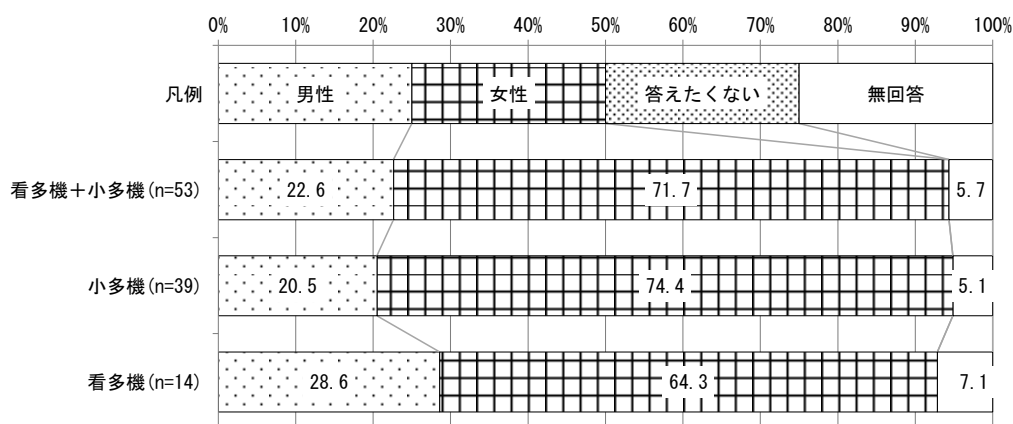
【年齢】



回答者の年齢は、「85～89歳」が37.7%、「90歳以上」が32.1%となっています。小多機利用者、看多機利用者とも、「70～74歳」は0%となっています。

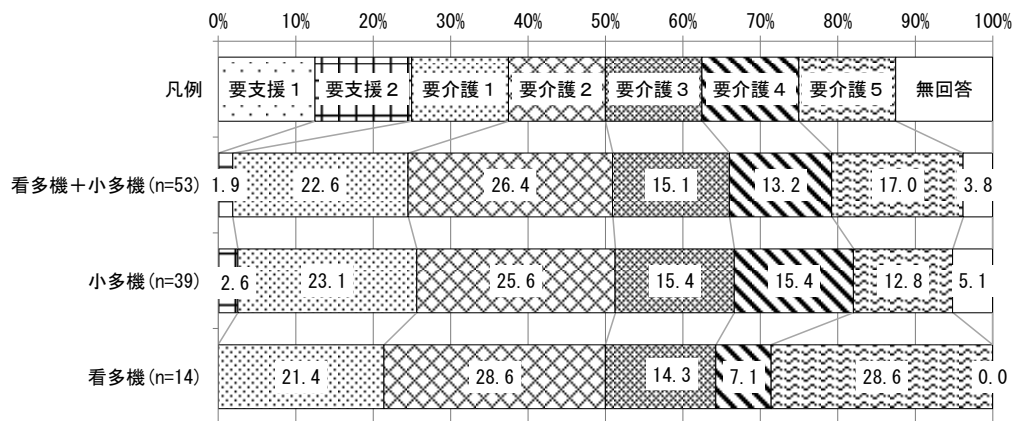
回答者の小多機利用者の平均年齢は86.3歳、看多機利用者の平均年齢は86.9歳となっています。

【性別】



回答者の性別は、「男性」が22.6%、「女性」が71.7%となっています。

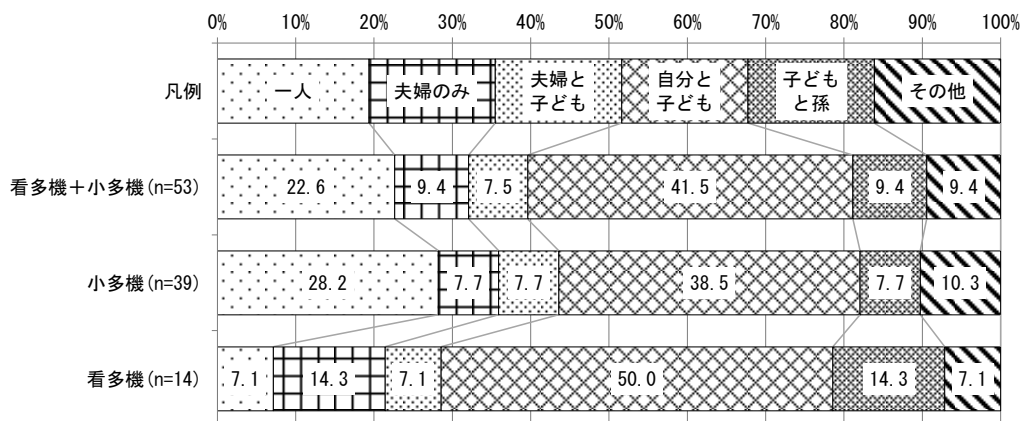
【要介護度】



利用者の要介護度は、「要介護2」が26.4%で最も多く、次いで「要介護1」が22.6%となっています。

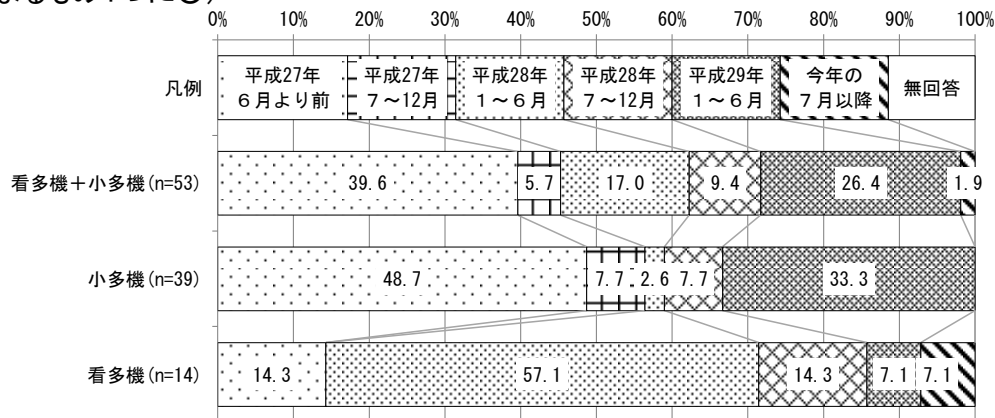
看多機利用者では、「要介護2」と「要介護5」がともに28.6%で最も多くなっています。

問1. あなたと一緒に暮らしている家族等は、どなたですか。(複数回答)



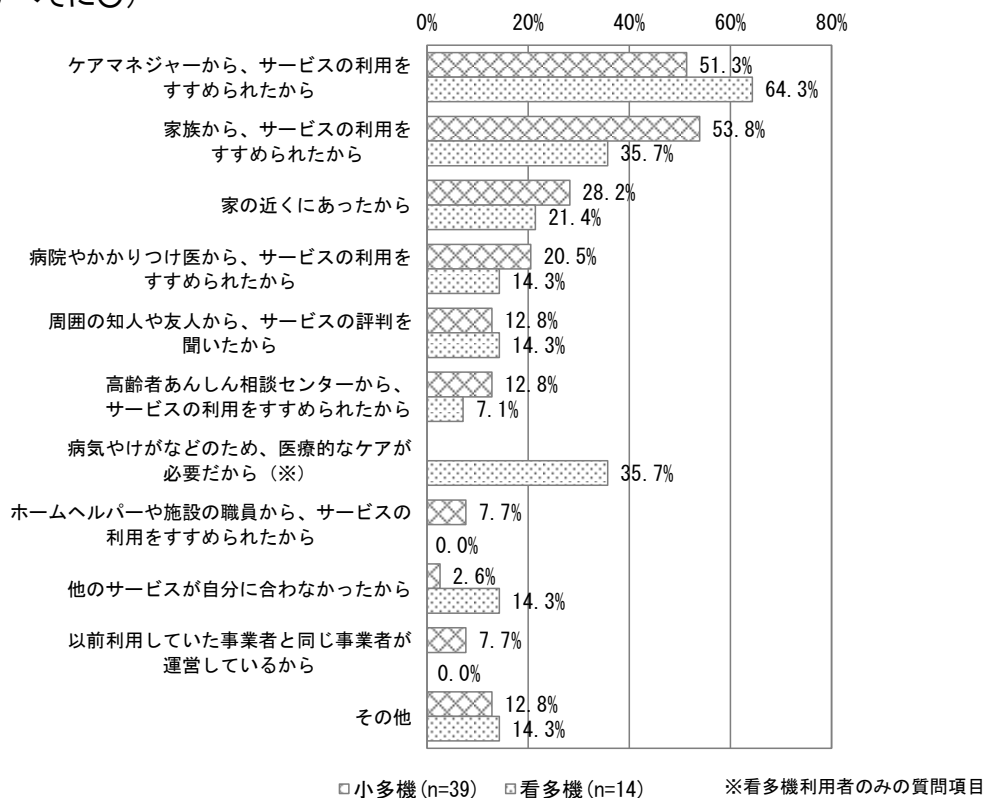
回答内容を整理すると、小多機利用者、看多機利用者とも「自分と子ども」が最も多くなっています。小多機利用者では、次いで「一人暮らし」が28.2%となっています。

問2. あなたが小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めたのは、いつ頃からですか。(あてはまるもの1つに○)



小多機利用者では「平成27年6月より前」が48.7%で最も多く、看多機利用者では「平成28年1~6月」が57.1%で最も多くなっています。

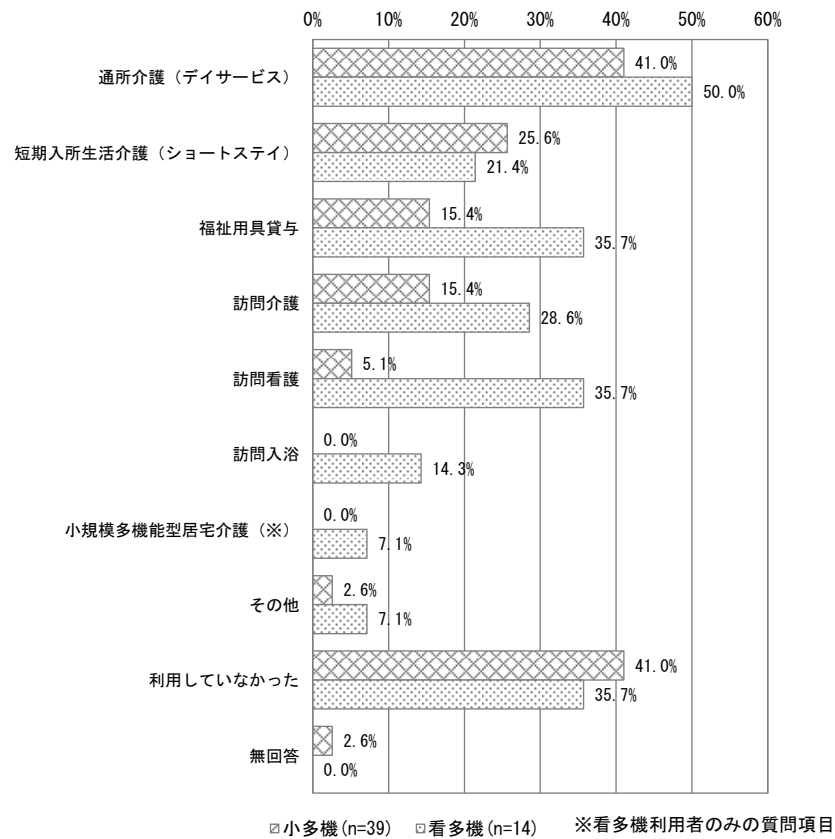
問3. あなたが小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めたのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)



サービス利用の契機は、小多機利用者は「家族から、サービスの利用をすすめられたから」が53.8%で最も多く、次いで「ケアマネジャーから、サービスの利用をすすめられたから」が51.3%となっています。

看多機利用者は「ケアマネジャーから、サービスの利用をすすめられたから」が64.3%で最も多く、次いで「家族から、サービスの利用をすすめられたから」、「病気やけがなどのため、医療的なケアが必要だから」がともに35.7%となっています。

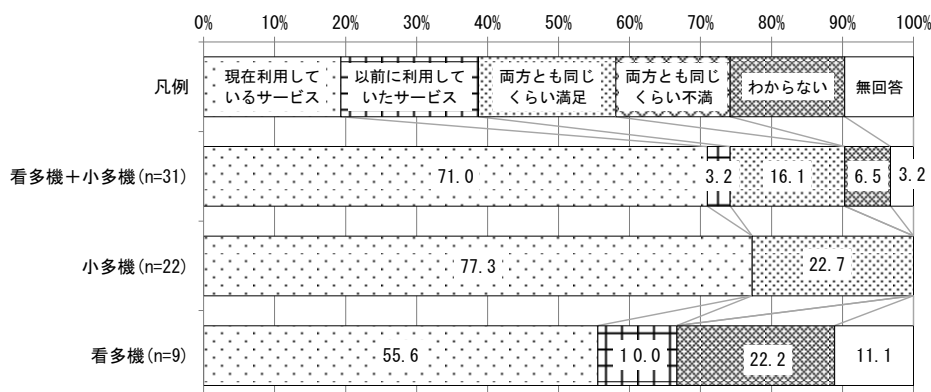
問4. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めるまでに、どのような介護保険サービスを利用していましたか。(あてはまるものすべてに○)



小多機利用者では、「通所介護」と「利用していなかった」がともに 41.0%で最も多くなっています。

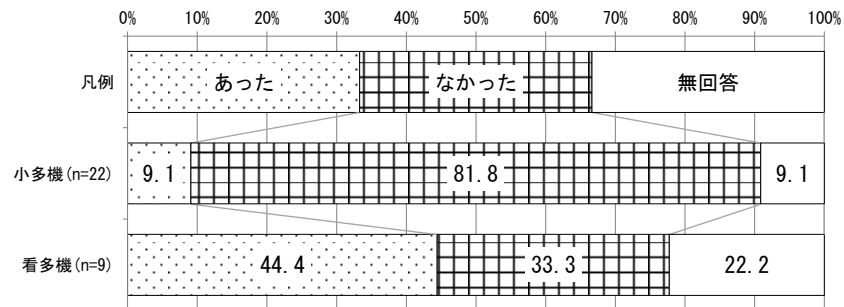
看多機利用者では、「通所介護」が 50.0%で最も多くなっています。

問5. 【問4で「利用していなかった」以外を選んだ方のみ】あなたは、現在利用しているサービスと、以前利用していたサービスでは、どちらに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)



「現在利用しているサービス」が小多機利用者では 77.3%、看多機利用者では 55.6%と最も多くなっています。

問6. 【問4で「利用していなかった」以外を選んだ方のみ】小規模多機能型居宅介護サービスの利用にあたり、ケアマネジャーが交代したことで、困ったことはありましたか。(あてはまるもの1つに○)



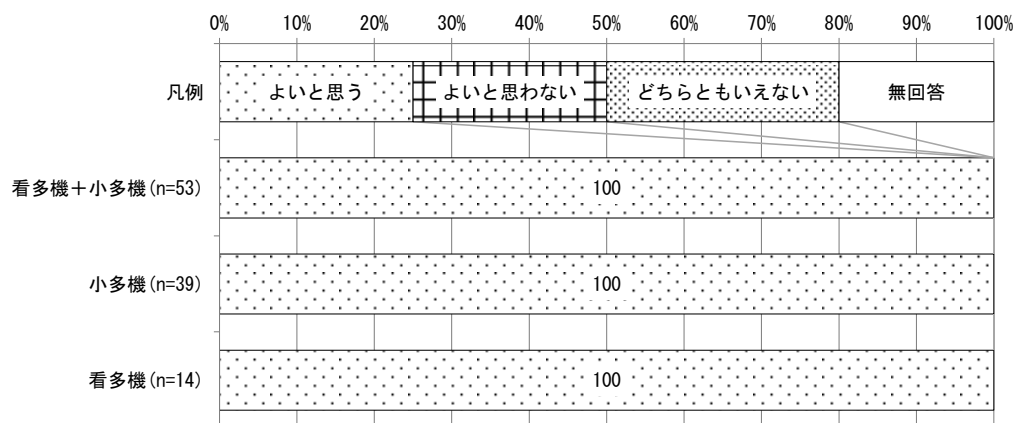
現在のサービスを利用する際、ケアマネジャーが交代して困ったことの有無を尋ねたところ小多機利用者の81.8%が「なかった」、看多機利用者の44.4%が「あった」と回答しました。

(「困ったこと」の具体的な内容)

- ・家族の意思や環境等がなかなか伝わらなかった。

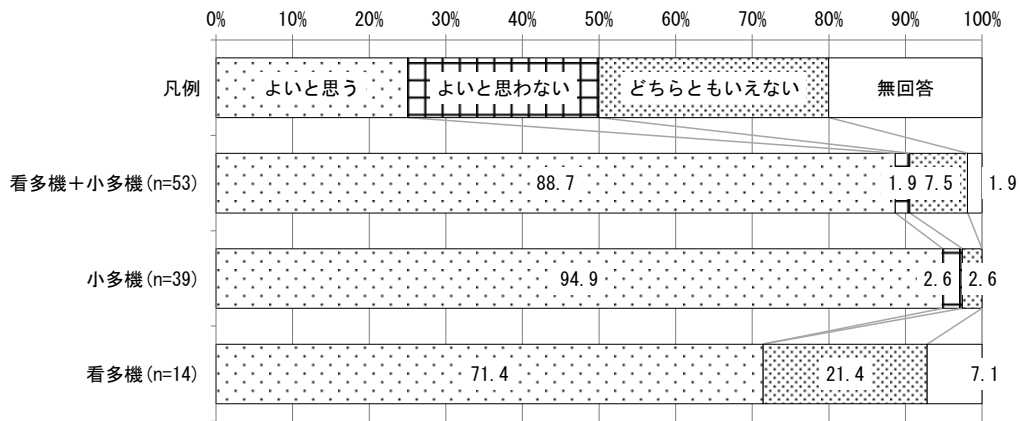
問7. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)の以下の特徴についてどのように思いますか。(それぞれのあてはまるもの1つに○)

ア. 一つの事業所が、「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを提供する(看護小規模多機能型居宅介護サービスの場合は「看護」も含む)



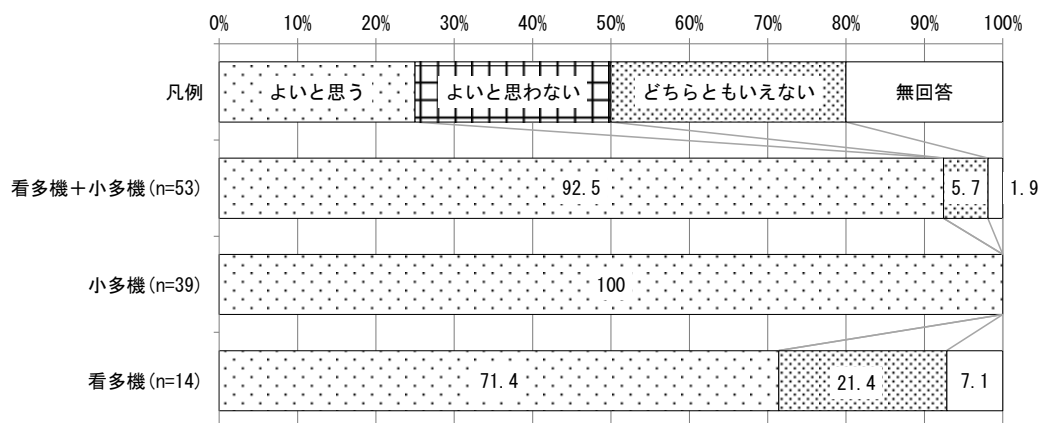
すべての回答者が「よいと思う」と回答しました。

イ. ケアマネジャーが同じ事業所にいる



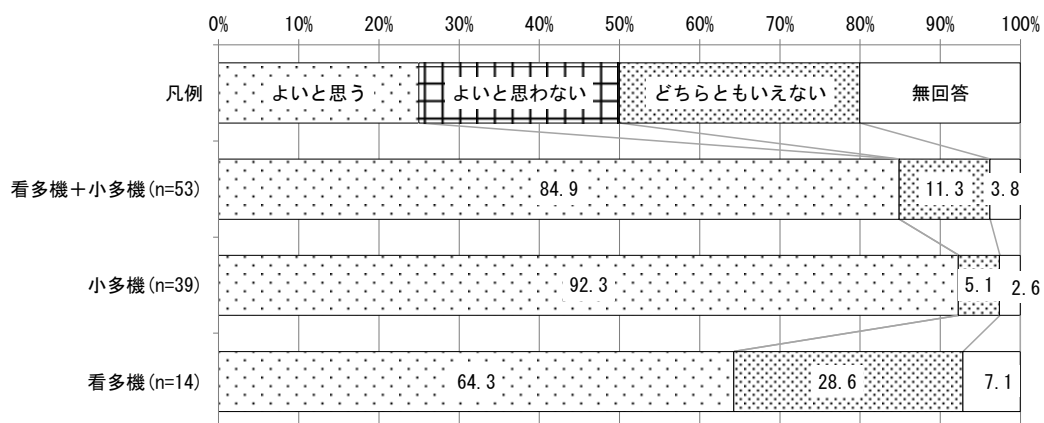
小多機利用者の94.9%、看多機利用者の71.4%が「よいと思う」と回答しました。

ウ. サービスの利用時間帯の融通が利きやすい



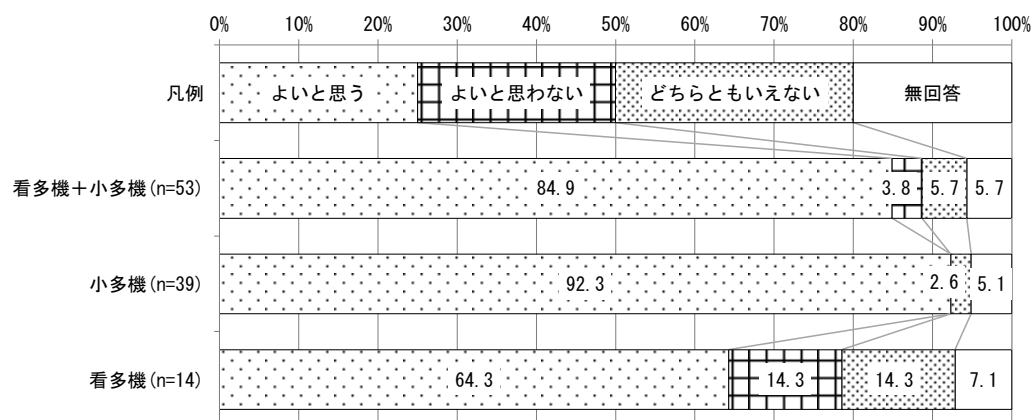
小多機利用者では全員が、看多機利用者では71.4%が「よいと思う」と回答しました。

エ. サービスの提供回数・時間を柔軟に変えられる



小多機利用者の92.3%、看多機利用者の64.3%が「よいと思う」と回答しました。

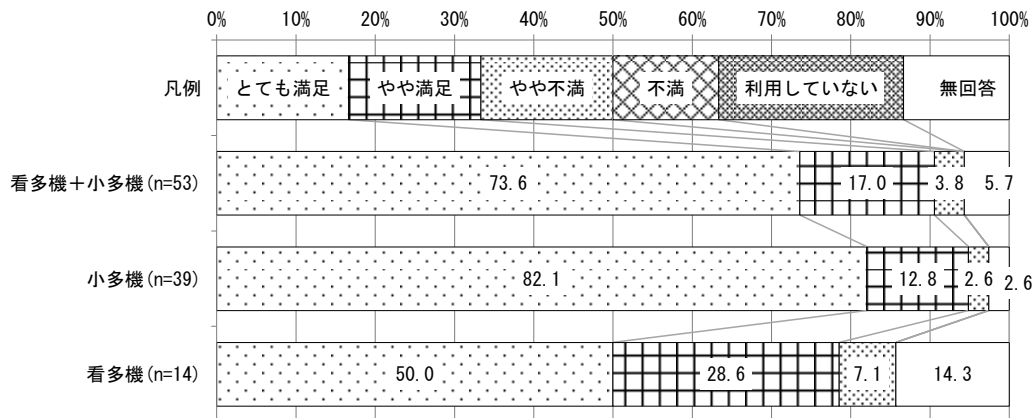
オ. 毎月の利用額が一定である(宿泊費等除く)



小多機利用者の92.3%、看多機利用者の64.3%が「よいと思う」と回答しました。

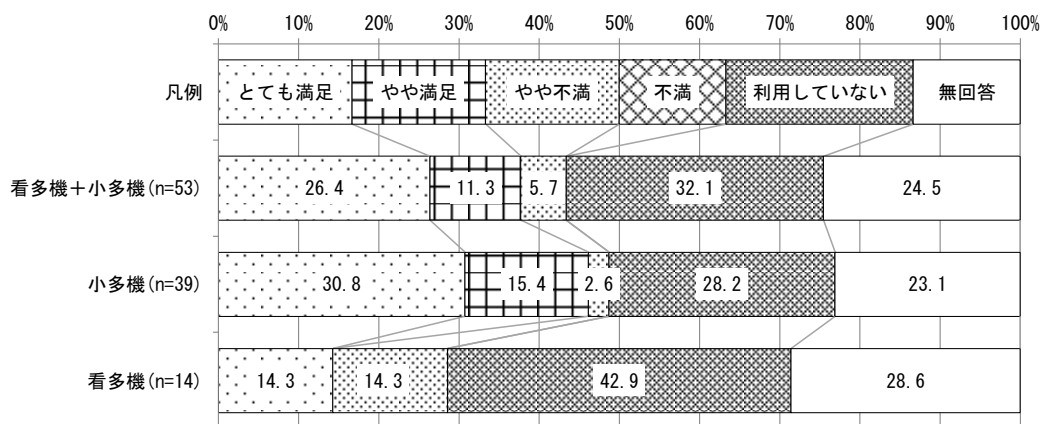
問8. あなたが現在利用しているサービスと、それぞれの満足度をお答えください。(ア～エのそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

ア. 通い(デイサービス)



小多機利用者の82.1%、看多機利用者の50.0%が「とても満足」と回答しました。

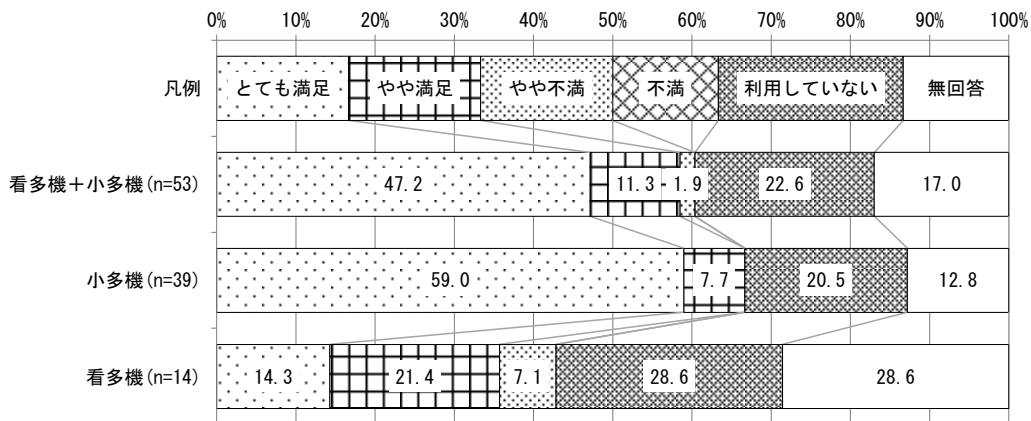
イ. 自宅への訪問(ホームヘルプ等)



小多機利用者の30.8%が「とても満足」、28.2%が「利用していない」と回答しました。

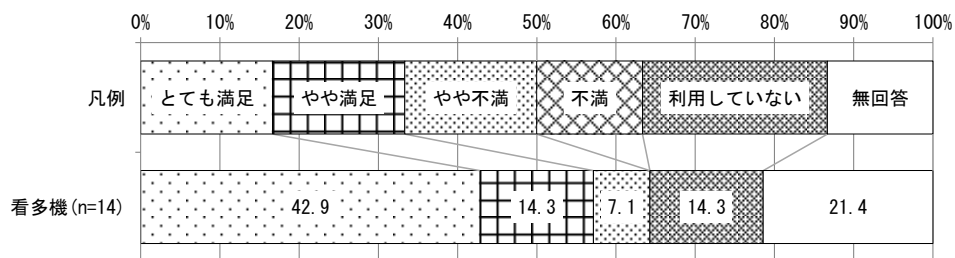
看多機利用者は42.9%が「利用していない」と回答しました。

ウ. 宿泊(ショートステイ)



小多機利用者の59.0%が「とても満足」と回答しました。
 看多機利用者は28.6%が「利用していない」と回答しました。

エ. 訪問看護(※看多機利用者のみ)

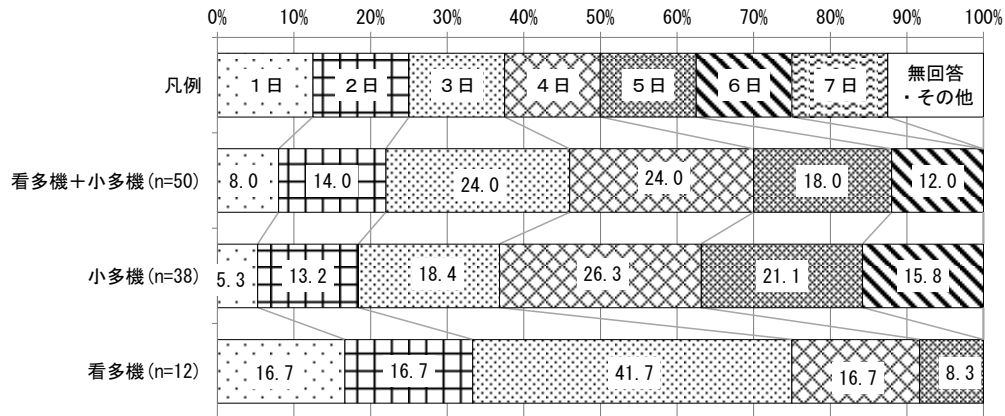


42.9%が「とても満足」と回答しました。

問9. あなたは、「通い(デイサービス)」「ご自宅への訪問」「宿泊」をどれくらい利用していますか。
 (それぞれについて、()内に平均的な利用回数・時間を記入。)

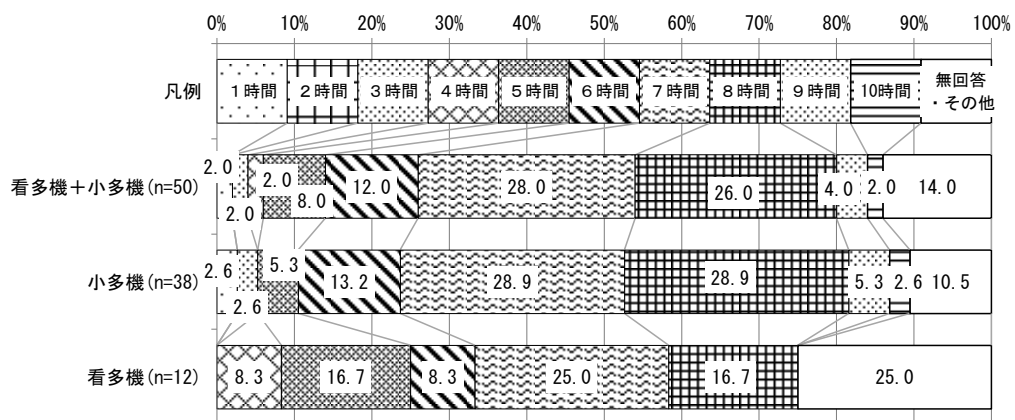
1. 通い(デイサービス)

〈1 週間あたりの利用日数〉



1 週間あたりの利用日数は、小多機利用者では「4日」が 26.3%で最も多く、看多機利用者では「3日」が 41.7%で最も多くなっています。

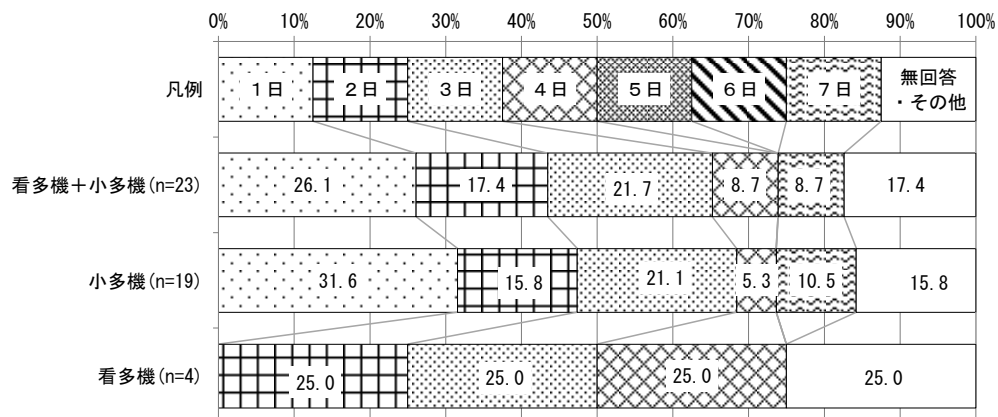
〈1 回あたりの利用時間〉



1 回あたりの利用時間は、小多機利用者では「7時間」と「8時間」が 28.9%で最も多く、看多機利用者では「7時間」が 25.0%で最も多くなっています。

2. 自宅への訪問(ホームヘルプ等)

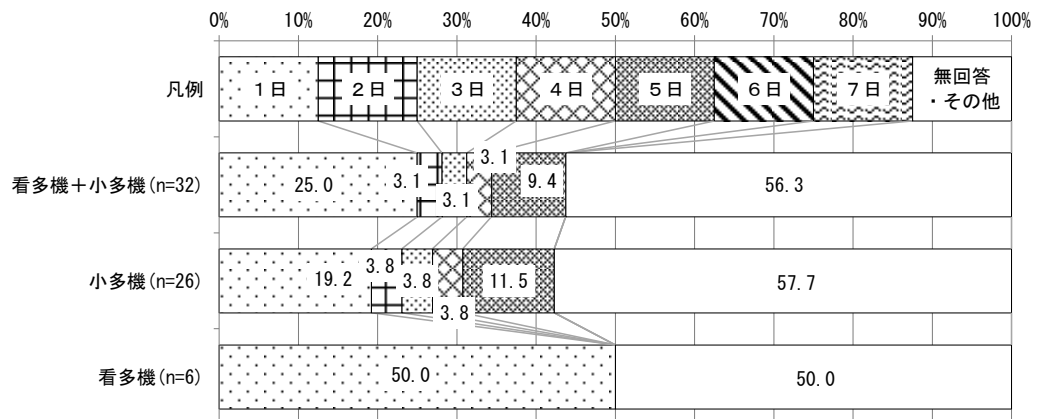
〈1週間あたりの利用日数〉



1週間あたりの利用日数は、小多機利用者では「1日」が31.6%で最も多く、看多機利用者では「2日」「3日」「4日」がそれぞれ25.0%となっています。

3. 宿泊(ショートステイ)

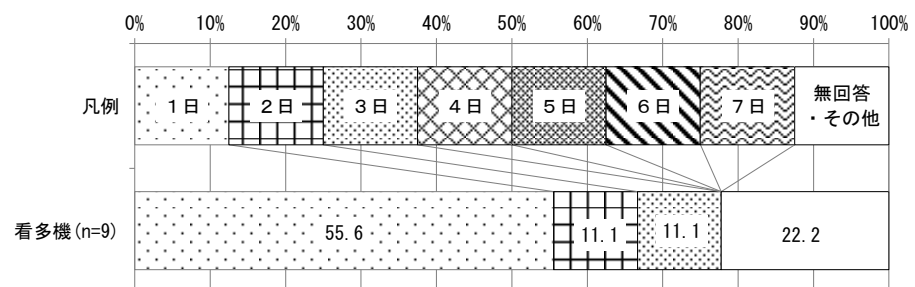
〈1週間あたりの利用日数〉



1週間あたりの利用日数は、「1日」が25.0%で最も多く、次いで「5日」が9.4%となっています。

4. 訪問看護(※看多機利用者のみ)

〈1週間あたりの利用日数〉

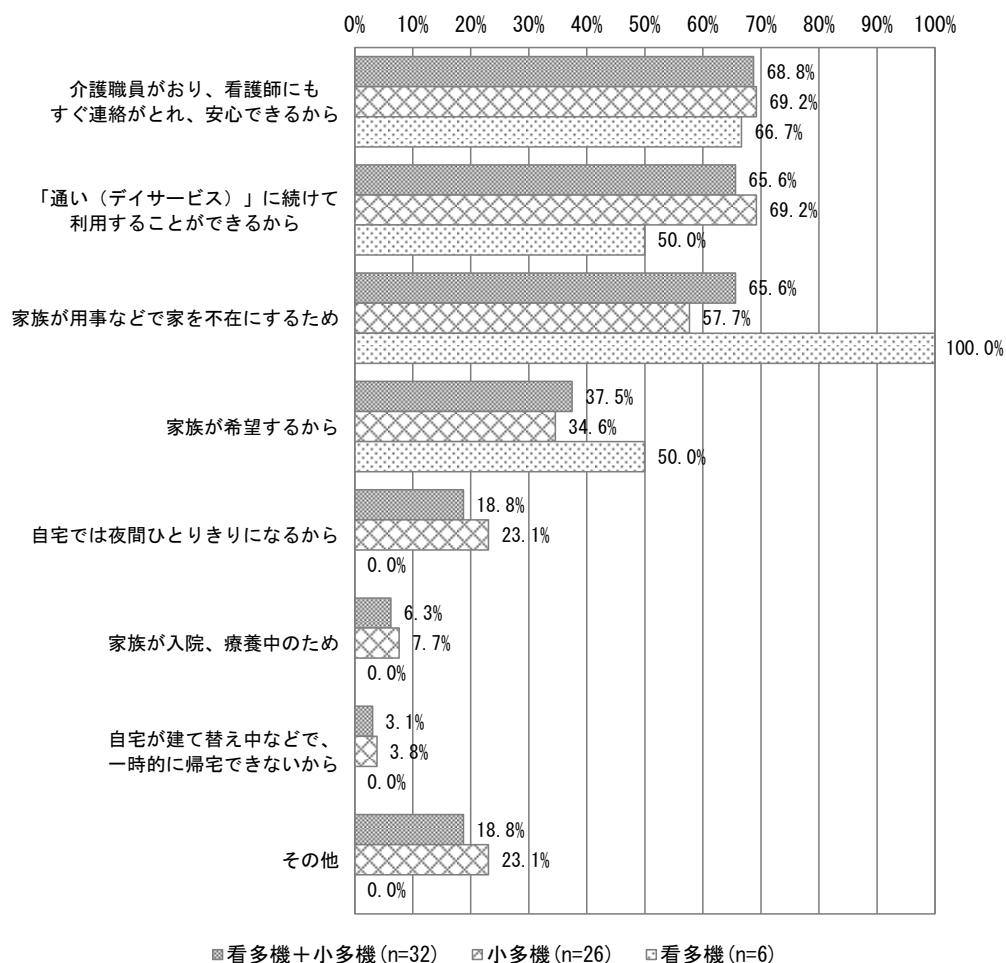


「1日」が55.6%、「2日」、「3日」が11.1%となっています。

なお、「通い、訪問、泊まり（、看護）」の利用日数の組み合わせを集計したところ、53 人の回答が 50 通りにのぼりました。このことから、サービス提供内容はそれぞれの利用者に合わせて柔軟に設定されているものと考えられます。

問10.【宿泊サービスを利用している方にうかがいます】

あなたが宿泊サービスを利用する理由は、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

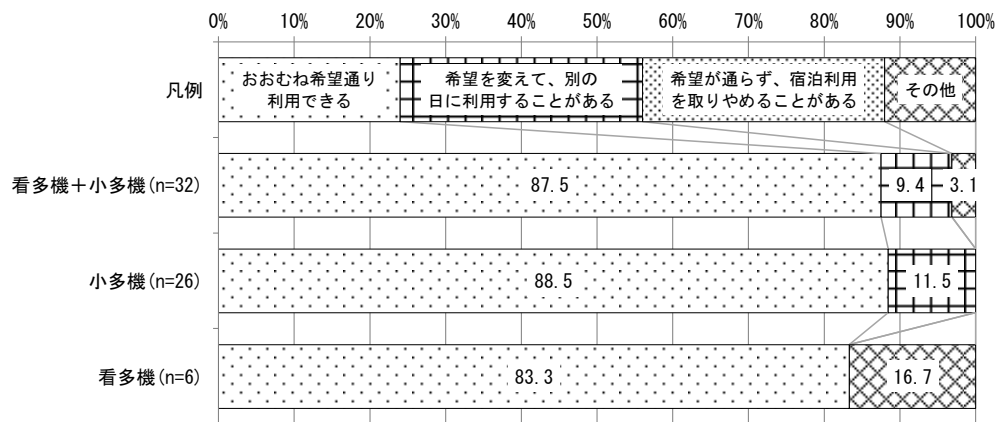


小多機利用者では、「介護職員がおり、看護師にもすぐ連絡がとれ、安心できるから」「通い（デイサービス）」に続けて利用することができるから」がともに 69.2%で最も多く、次いで「家族が用事などで家を不在にするため」が 57.7%となっています。

看多機利用者では「家族が用事などで家を不在にするため」を全員が選択し、次いで「介護職員がおり、看護師にもすぐ連絡がとれ、安心できるから」が 66.7%となっています。

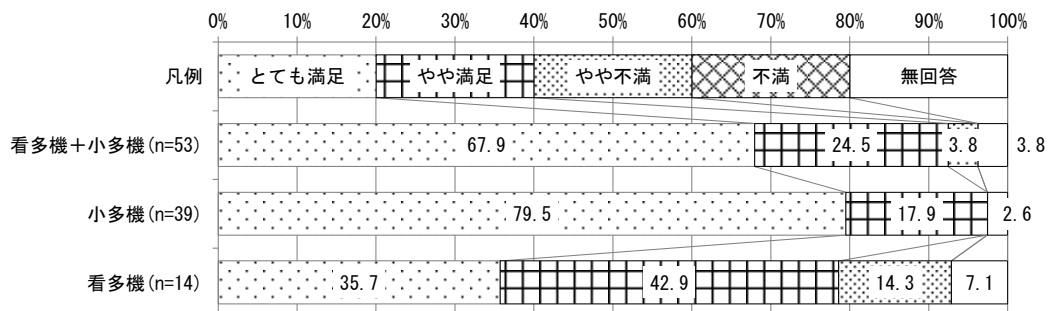
問11.【宿泊サービスを利用している方にうかがいます】

あなたは、希望する日に宿泊サービスを利用することができますか。(あてはまるもの1つに○)



「おおむね希望通り利用できる」が多数を占めていますが、小多機利用者では「希望を変えて別の日に利用することがある」が11.5%となっています。

問12. 小規模多機能型居宅介護サービス全体としての満足度をお答えください。(あてはまるもの1つに○)



小多機利用者の79.5%が「とても満足」と回答しています。

看多機利用者では「やや満足」が42.9%で最も多くなっています。

問13. あなたが、小規模多機能型居宅介護サービスで特に良いと思っていることは、どのようなことですか。ご自由にお書き下さい。

主な意見

〔小多機利用者〕

- ・施設で友人も出来、職員さんのコミュニケーションも良く、色々まめに指導していただければ楽しそうだから。
- ・こちらの心情等をくみ取り、介護側にとっても親身にしてもらえる。
- ・同一事業所で、全て運営されているので、日々の健康状態を常に把握してもらえるから。
- ・デイサービスと宿泊が同じ所で出来て安心。色々なことに融通が利き大変助かっている。
- ・利用者のことをよく知っている職員が通いから宿泊まで見てくれて、安心してお任せできる。
- ・家族の事情を理解して、臨機応変の対応で助けられている。
- ・職員の方が温かく、利用者が少人数で和気藹々としている。
- ・アットホームで買い物やお茶を飲みに出かけたり、散髪やアロマテラピーを受けたり、家族のように接してくれる。
- ・長期間利用させていただいているので、性格や環境、家族の状況等を理解している職員が多く、アットホームなところ。
- ・自宅から近い。24時間対応で安心。
- ・私（妻）の時間を作りやすい。本人が喜んで行っている。
- ・サービスの利用時間帯の融通が利きやすいので外出の多い、約束が守れない者には助かります。
- ・サービスの利用時間帯の融通が利きやすいところ。
- ・デイの日に友達が出来たこと。自宅でのケアもありがたいと思う。

〔看多機利用者〕

- ・胃ろう対応が出来る看護師やスタッフの方がいる。
- ・病気の進行等を理解され先々のケアを相談し、受け入れ体勢を示してもらえる。
- ・連絡を1か所で出来て用件が1度で済むこと。
- ・訪問医、看護師と介護サービス所属看護師の連携は良いと思う。
- ・病院の住宅診療と併用しているので、在宅時の体調の急変にすぐ対応出来る。
- ・通いから宿泊まで同じ所で利用できる所以移動することがない。
- ・看護師がすぐ対応してくれるので安心感がある。

問14. あなたが、小規模多機能型居宅介護サービスで特に不満に思っていることは、どのようなことですか。ご自由にお書き下さい。

主な意見

〔小多機利用者〕

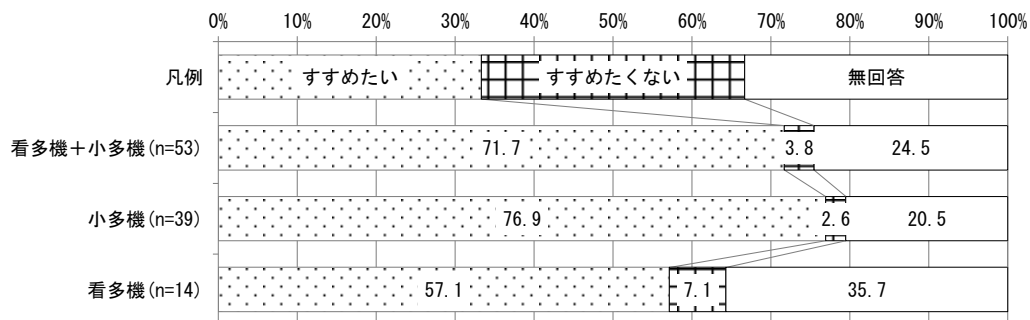
- ・食事が箱弁当でなく調理したものも食べたい。
- ・さらに高齢になった時に長期間宿泊することが出来なくなる。
- ・そろそろ認知機能が低下してきて、同サービスでは対応できなくなりつつある。

- 本人が受け付けないため十分なサービスが受けられないが、もう少し積極的な介入があればと思う。
- 希望した日に宿泊できるか、前月になるまで分からないところ。

〔看多機利用者〕

- 利用回数が少ないと、料金が少し高い。

問15. あなたは、身近な人や同じ年代、介護度の人に対して、現在利用している小規模多機能型居宅介護サービスをすすめたいと思いますか。その理由も、お書きください。



全体では、「すすめたい」が71.7%となっています。

【すすめたい理由】

主な意見

〔小多機利用者〕

- ・誰もいない家で過ごすのは不安がある。
- ・利用者のことをよく知っている職員さんが通いから宿泊まで見てくれて、安心してお任せできること。
- ・家では中々相手をする時間が取れないためぼーっとしていることが多く、認知症も進行すると思われるが、自立に向けてフォローしていただけるから。
- ・急な泊まりが出来るから。
- ・基本は自分の生活スタイルを保てるから。
- ・認知症の人には特に一人暮らしの場合、必要な介護サービスが受けられて良いと思います。
- ・時間の融通が利く。

〔看多機利用者〕

- ・連絡が1か所で出来て用件が1度で済むこと。
- ・病院の住宅診療と併用しているので、在宅時の体調の急変にすぐ対応出来る。
- ・胃ろう対応が出来る看護師やスタッフの方がいらっしゃるのを助かっている。
- ・病気の進行等を理解し、先々のケアを相談しながら、受け入れ体勢を示してくださる。
- ・デイサービスと宿泊、同じスタッフがいること。
- ・看護師がすぐ対応してくれるので安心感がある。

【すすめたくない理由】

主な意見

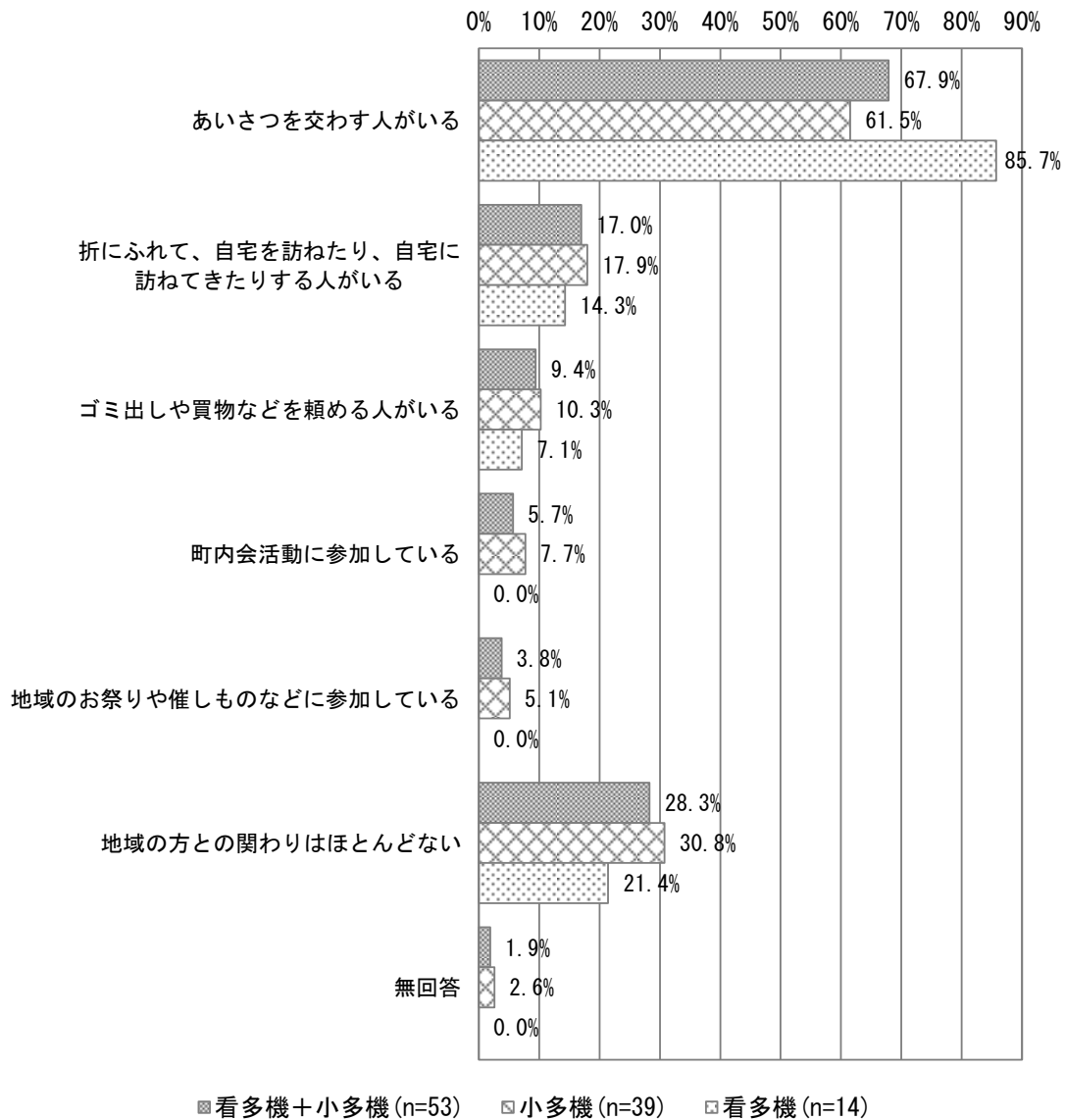
〔小多機利用者〕

- ・収容人数が超過すると困る。

〔看多機利用者〕

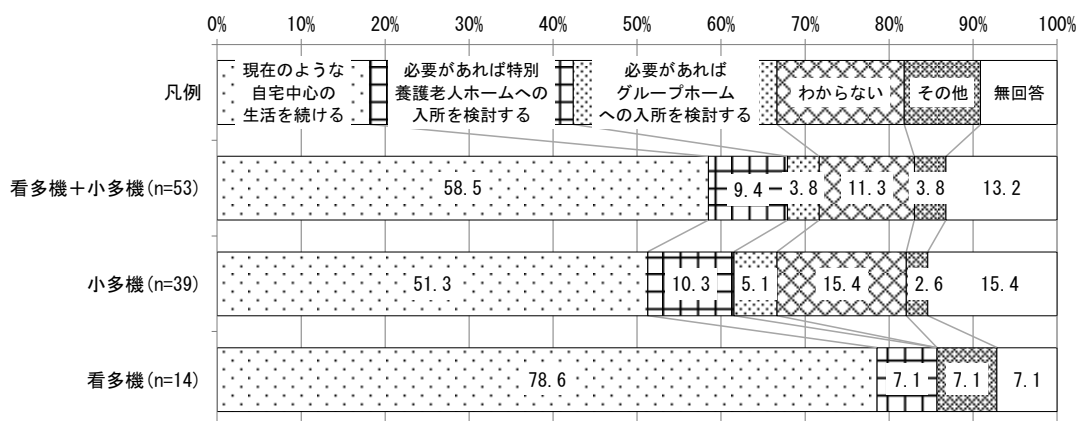
- ・入浴日が週2回と決まっているので、その他の日に入浴できない。
- ・他のデイサービス、宿泊サービスを受けることが出来ないこと。

問16. あなたはふだん、地域の方との関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)



「あいさつを交わす人がいる」、「地域の方との関わりはほとんどない」以外の選択肢の回答はいずれも20%以下でした。

問17. あなたは今後、どのような生活を考えていますか。(あてはまるもの1つに○)



今後の生活については、「現在のような自宅中心の生活を続ける」が小多機利用者では51.3%、看多機利用者では78.6%と、ともに最も多くなっています。

- あなたが介護保険のサービス等について感じていること、こうしてほしいと思っていることを自由にお書きください。

主な意見

- 今の状態をととても満足して続けられていますが、これから体の状態が悪くなり、通所等が難しくなった時はどうしていいかと思えます。居宅介護による家族の負担が重荷にならず、生活していけることがとてもありがたいと思えます。
- 私の家は親と娘の二人暮らしで、私（娘）が病気療養中のため、十分に母の介護が出来ませんが、そんな時どうして良いか分かりません。私に対しての保険での支援は何もありません。
- 小規模多機能型居宅介護は何より経済的に利用者にとっては大変助かります。なぜならば我が家の場合は、父親も介護5、3か月ほど前までは特養でお世話になっておりましたが、体調を崩し、入退院を繰り返し最近では最後までお世話いただける病院に転院致しました。とても父の年齢では負担が大きく、母を見るのが時間的にも難しいため、そのような面でもありがたいと思っております。是非もっと多くの方が利用出来るようお願いしたいです。
- 家族と本人との感情を理解してもらい、本人主体ではなく介護する側の気持ちもくみ取ってもらいたい。介護する側は仕事ではないので、仕事を終えてプライベートの中で介護しているということを理解してほしい。
- 本人が認知症のため、娘の目線で回答しないように気をつけましたが、入浴に関しては、別のデイで（文京区外）希望すれば毎日入浴できたところがあり、食事も1番おいしかったと本人は言っていました。現在利用しているところも、はじめは食事を作っていたようですが、宅配になり、残念に思います（人手の問題で仕方ないと思いますが）。娘の家に長期に帰った時、別の所を利用できないことはとても残念です。
- もう少しリハビリ等の運動を取り入れてほしい。

利用者調査のまとめ

(1) 小多機／看多機の利用者・利用形態

回答者の平均年齢は、小多機利用者で 86.3 歳、看多機利用者で 86.9 歳、平均要介護度は小多機利用者で 2.7（ほかに、要支援 2 が 1 名）、看多機利用者で 2.9 となっています。小多機／看多機の利用者の家族構成については、「自分と子ども」という割合が、全体では 41.5%と比較的高いことがわかりました。

「通い、訪問、泊まり（、看護）」の利用回数を質問した問 9 の集計結果では、53 人の利用者に対し 50 通りの組み合わせとなり、利用者のサービス利用形態は多岐にわたっています。区内の小多機／看多機でも、利用者の状態や家族の状況に対応したサービスが提供されていることがわかりました。一方、自宅への訪問については、「利用していない」が全体で 32.1%となっており、通い、宿泊サービスと比べて高い割合となっていることも明らかとなりました。

今後の生活については、「現在のような自宅中心の生活を続ける」との回答が、特に看多機利用者では 78.6%と高く、在宅生活の継続を望む方に多く利用されていることがわかります。

(2) 小多機／看多機を利用するまでの流れ

これまで利用していた介護サービスを質問した問 4 において、小多機利用者では、「通所介護」と「利用していなかった」がともに 41.0%で最も多く、看多機利用者では、「通所介護」が 50.0%で最も多くなっています。

小多機／看多機を利用するきっかけを尋ねた問 3 では過半数が「ケアマネジャーから、サービスの利用をすすめられたから」と回答しており、本人・家族の状況によっては、ケアマネジャーが小多機／看多機をすすめていることは少なくないことがわかります。

また、ケアマネジャーが交代して困ったことの有無では小多機利用者の 81.8%が「なかった」と回答しており小多機／看多機利用に際しては、それまでのケアプランを作成していたケアマネジャーと小多機／看多機のケアマネジャーとの連携で、円滑なサービス移行が可能となるといえます。一方、看多機では、困ったことが「あった」と回答した人が「なかった」とする人よりも多かったことから、看多機のサービス移行に関しては、さらに緊密な連携が必要であると考えられます。

(3) 利用者の小多機／看多機に対する満足度・ニーズ

小多機／看多機のサービスを利用している人のサービスの満足度は、個々のサービスの満足度にはばらつきがあるものの、全体を通しての満足度は 9 割以上となっています。また、身近な人や同じ年代、介護度の人に対して小多機／看多機のサービス利用をすすめたいと回答した人も 7 割以上という高い割合となっています。小多機／看多機のサービスの特徴である、「一つの事業所が通い・訪問（・看護）のサービスを提供すること」に対して、全ての回答者が「よいと思う」と回答していることから、小多機／看多機のサービスの中でも、特にその機能に対する評価が高いといえます。さらに、自由記述からも、その機能が利用者本人のみならず介護側の安心感につながっていることがわかります。

それに加え、「ケアマネジャーが同じ事業所にいる」「サービス利用時間帯の融通が利きやすい」「毎月の利用額が一定である」といった、小多機／看多機が持つ本来の機能については、すべて高評価となっている一方、不満な点では、入浴や泊まり等が必ずしも希望

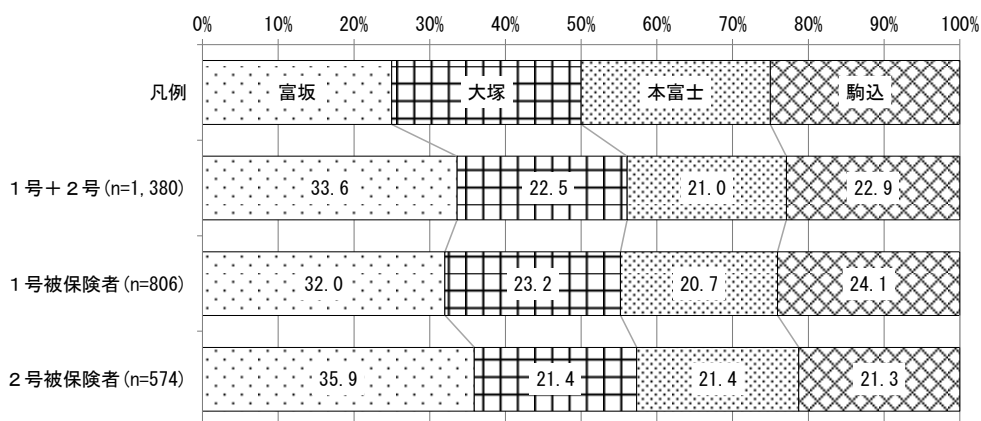
通りに受けられないこと、宿泊日が直前にならないとわからないこと等があげられていることから、事業所はこれら本来の機能を保つとともに、よりきめ細かい対応を行うことが、直接利用者のニーズを充足することにつながると考えられます。

第3章 第1号被保険者・第2号被保険者調査

調査対象	調査方法	配布数	回収数	回収率
第1号被保険者	郵送配布	1,500	806	53.7%
第2号被保険者（ミドル・シニア）	郵送回収	1,500	574	38.3%

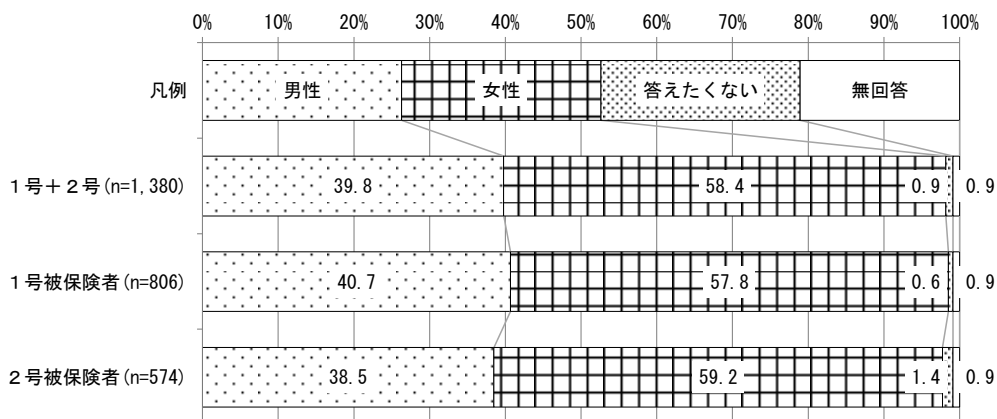
回答者の属性

【居住地区】



回答者の居住地区は、「富坂」が 33.6%、「大塚」が 22.5%、「本富士」が 21.0%、「駒込」が 22.9%となっています。

【性別】



回答者の性別は、「男性」が 39.8%、「女性」が 58.4%となっています。

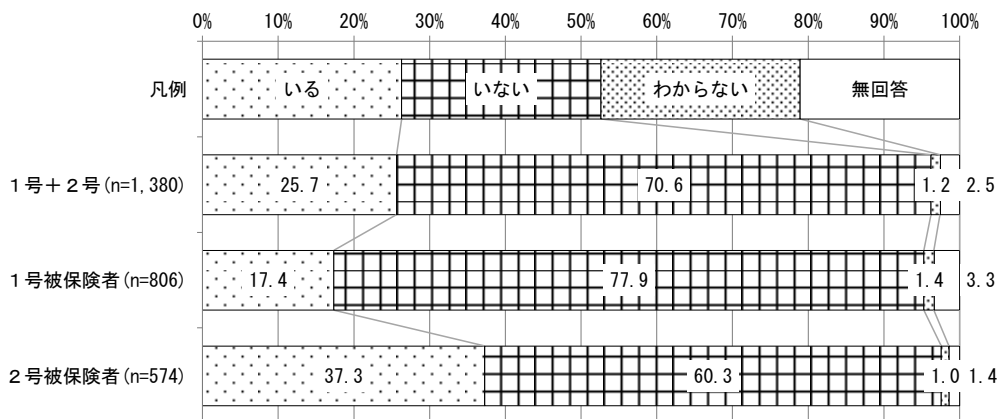
問1. あなたと一緒に暮らしている家族等は、どなたですか。(複数回答)

	全体	一人	夫婦のみ	夫婦と子ども	自分と子ども	夫婦または自分と父母	夫婦または自分と父母と子	夫婦または自分と子と孫	自分と兄弟姉妹	自分と父母と兄弟姉妹	その他	無回答
全体 (n=1,380)	100.0	18.0	34.2	25.7	7.0	3.5	2.4	3.6	1.6	0.8	2.9	0.3
1号被保険者 (n=806)	100.0	20.8	40.2	16.6	8.2	1.5	0.5	6.2	1.5	0.4	3.8	0.2
2号被保険者 (n=574)	100.0	13.9	25.8	38.5	5.4	6.3	5.1	0.0	1.7	1.4	1.6	0.3

一緒に暮らしている家族等は、「夫婦のみ」が 34.2%、「一人」が 18.0%となっています。

1号被保険者では「夫婦のみ」が 40.2%で最も多く、ミドル・シニアでは「夫婦と子ども」が 38.5%で最も多くなっています。

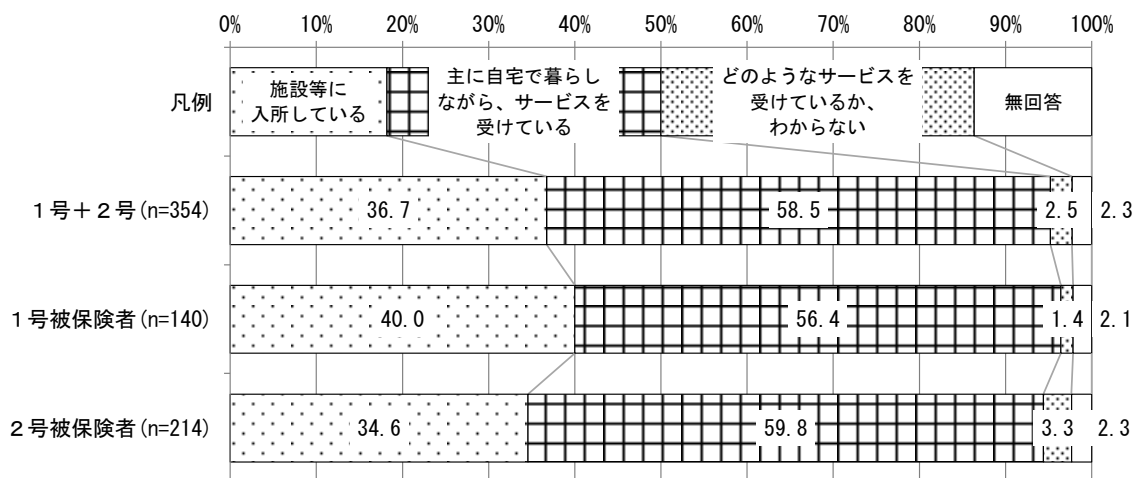
問2. あなたの家族・親族(別居を含む)で、介護保険のサービスを受けている人はいますか。(あてはまるもの1つに○)



家族・親族(別居を含む)が介護保険のサービスを受けている人は、1号被保険者の17.4%、ミドル・シニアの37.3%となっています。

問2-1. 問2で「いる」と答えた方にうかがいます。

その方はどのような介護サービスを受けていますか。(あてはまるもの1つに○)

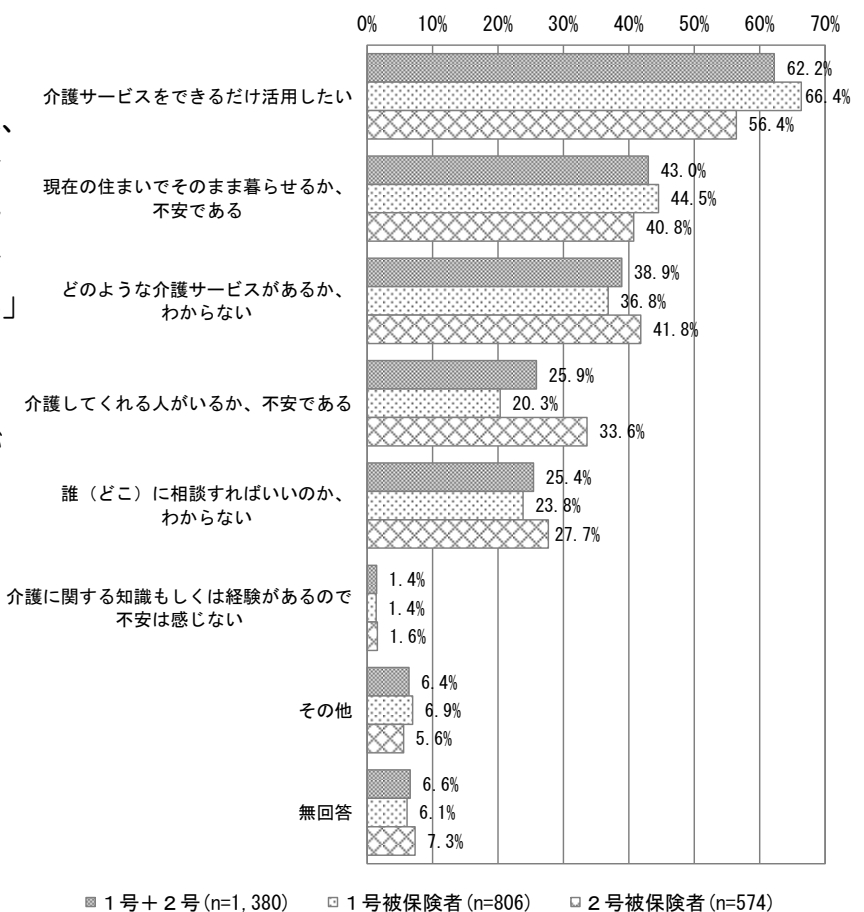


「主に自宅で暮らしながら、サービスを受けている」が58.5%となっています。

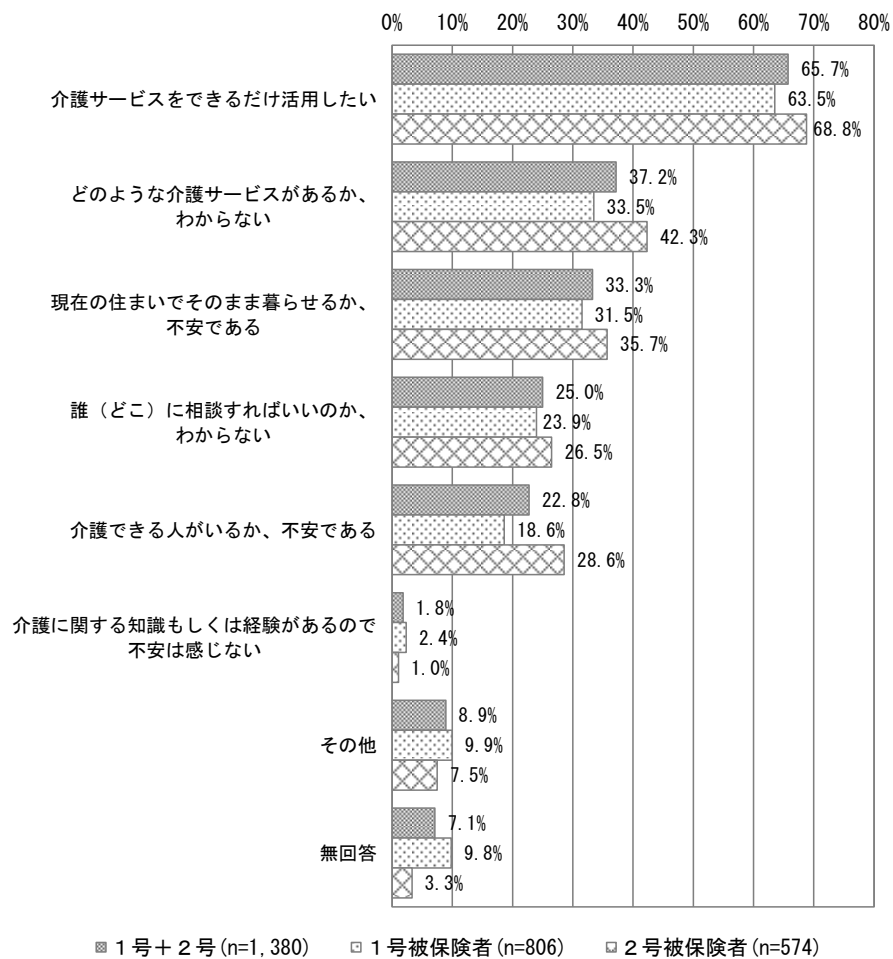
問3. あなたは、ご自身の介護が必要になったとき、その介護についてどのように感じていますか。
(主なもの3つまでに○)

自身の介護が必要になったときのことを考えて感じることは、「介護サービスをできるだけ活用したい」が62.2%で最も多く、次いで「現在の住まいでそのまま暮らせるか、不安である」が43.0%となっています。

また、「どのような介護サービスがあるか、わからない」が38.9%となっています。



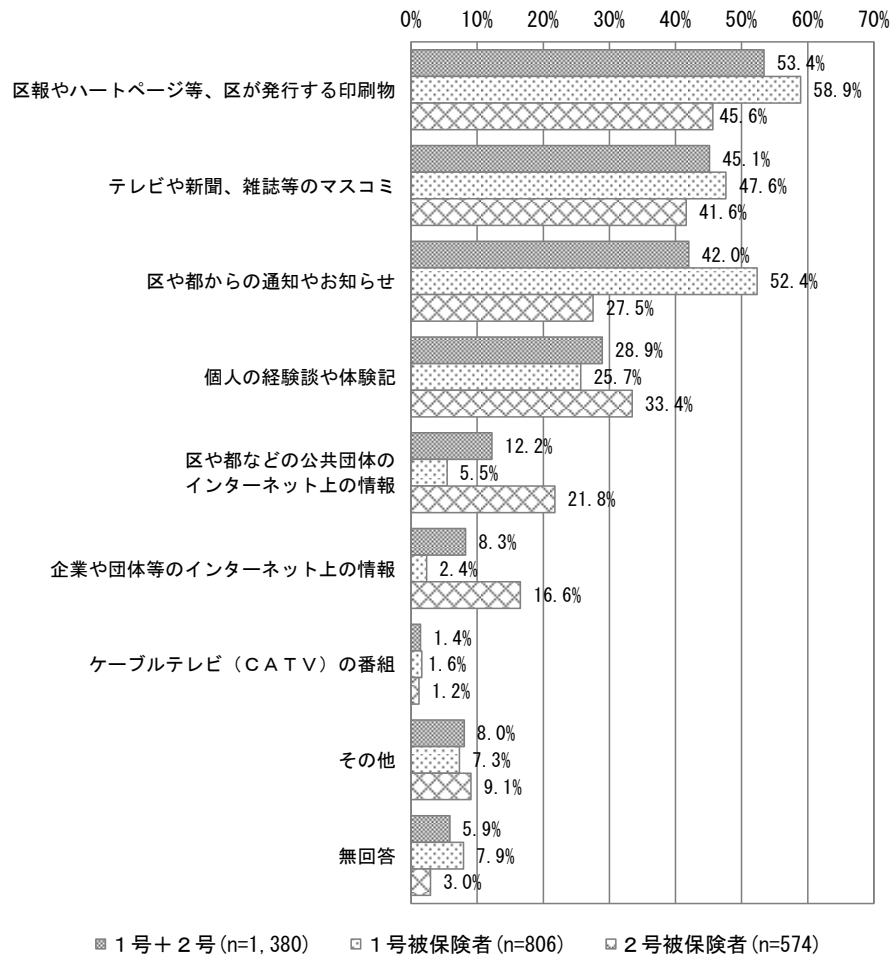
問4. あなたは、ご家族(親や配偶者など)の介護が必要になったとき、その介護についてどのように感じますか。(主なもの3つまでに○)



家族の介護が必要になったときのことを考えて感じることは、「介護サービスをできるだけ活用したい」が65.7%で最も多く、次いで「どのような介護サービスがあるか、わからない」が37.2%となっています。

ミドル・シニアでは「どのような介護サービスがあるか、わからない」、「介護できる人がいるか、不安である」という回答が1号被保険者より10%程度多くなっています。

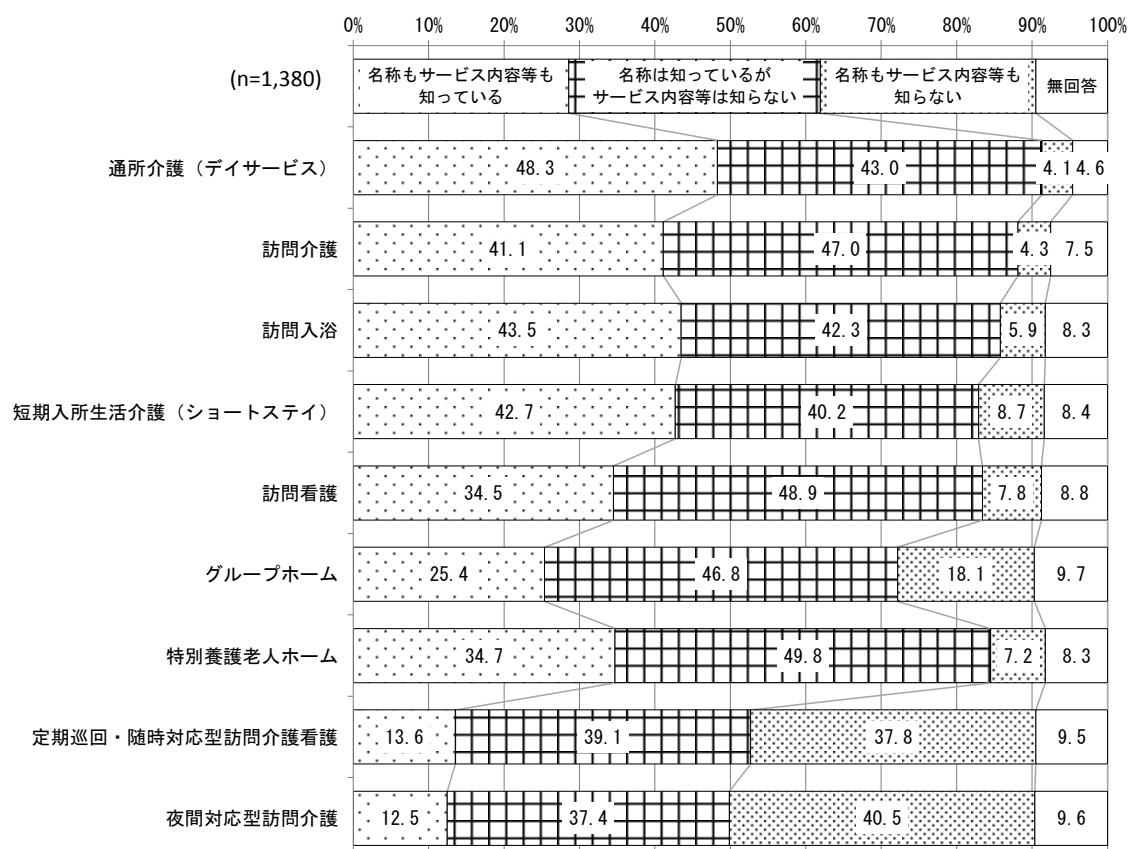
問5. あなたは、高齢者の暮らしや介護サービスについての情報をどのようにして得ていますか。
 (主なものを3つまでに○)



情報収集は、「区報やハートページ等、区が発行する印刷物」が53.4%で最も多く、次いで「テレビや新聞、雑誌等のマスコミ」が45.1%、「区や都からの通知やお知らせ」が42.0%となっています。

問6. 以下の介護サービス等について、あなたはどの程度ご存じですか。(それぞれについてあてはまるもの1つに○)

【全体】



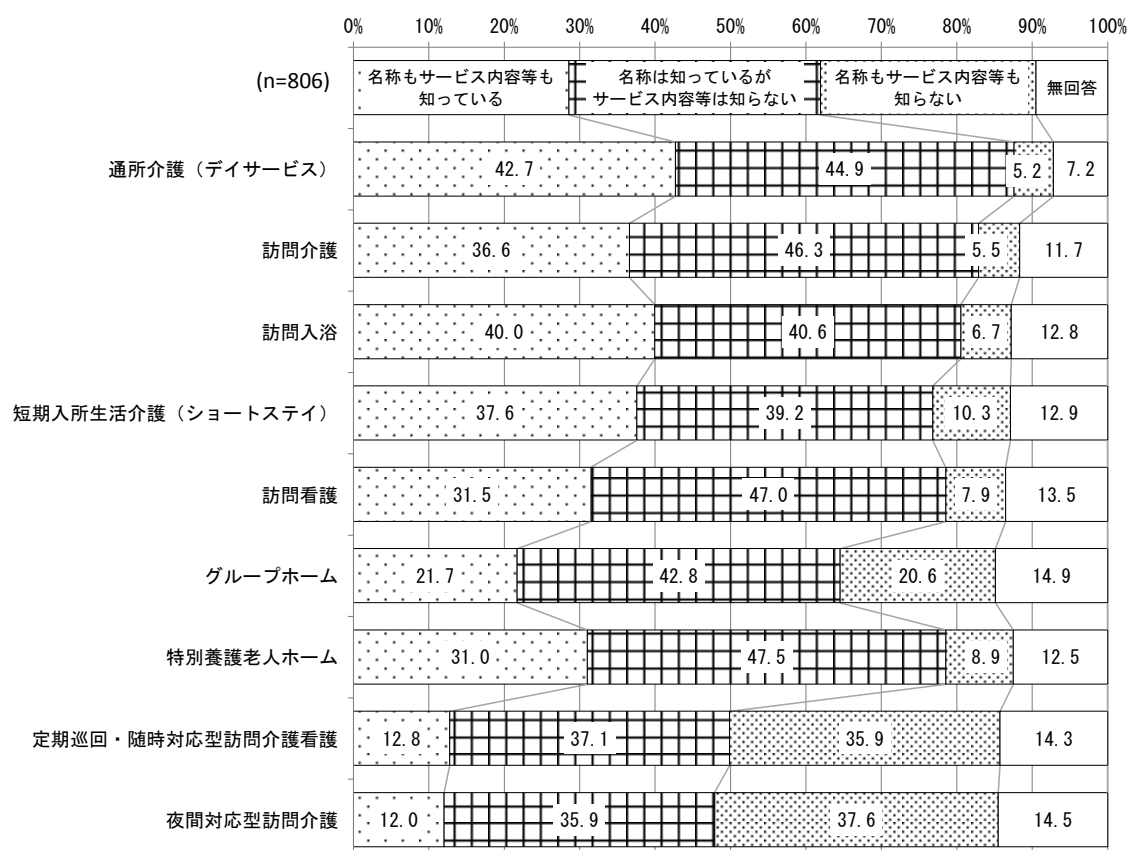
介護サービス等の認知はデイサービス、訪問入浴、ショートステイでは「名称もサービス内容等も知っている」が最も多く、次いで「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が続き、この2つの項目で80%以上を占めます。

訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問看護、グループホーム、特別養護老人ホームでは「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が最も多く、次いで「名称もサービス内容等も知っている」が続き、この2つの項目で70%以上を占めます。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護では「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が最も多く、次いで「名称もサービス内容等も知らない」が続き、この2つの項目で70%以上を占めます。

夜間対応型訪問介護では「名称もサービス内容等も知らない」が最も多く、次いで「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が続き、この2つの項目で70%以上を占めます。

【1号被保険者】



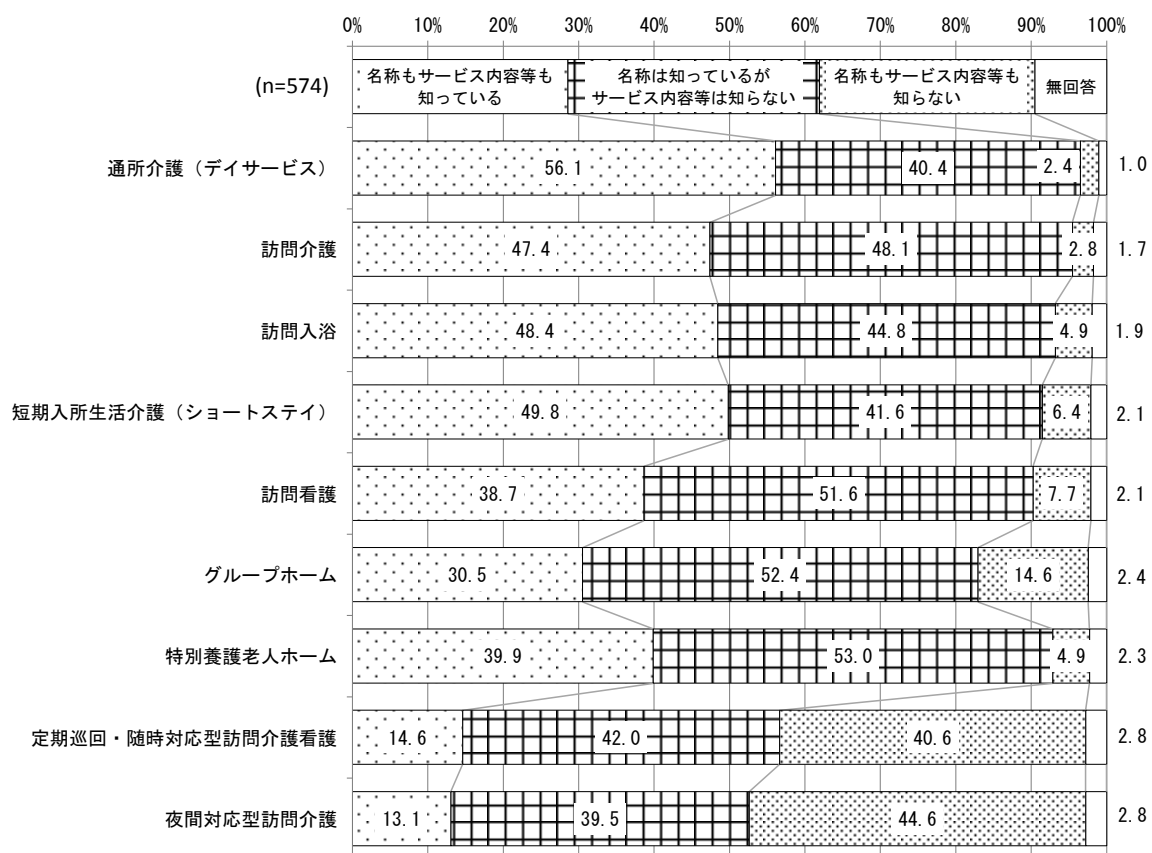
1号被保険者は、デイサービス、訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴、ショートステイ、訪問看護、特別養護老人ホームでは「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が最も多く、次いで「名称もサービス内容等も知っている」が続き、この2つの項目で70%以上を占めます。

グループホームでは「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が最も多くなっており、「名称もサービス内容等も知らない」を合わせると過半数を超えます。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護では「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が最も多く、次いで「名称もサービス内容等も知らない」が続き、この2つの項目で70%以上を占めます。

夜間対応型訪問介護では「名称もサービス内容等も知らない」が最も多く、次いで「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が続き、この2つの項目で70%以上を占めます。

【2号被保険者】



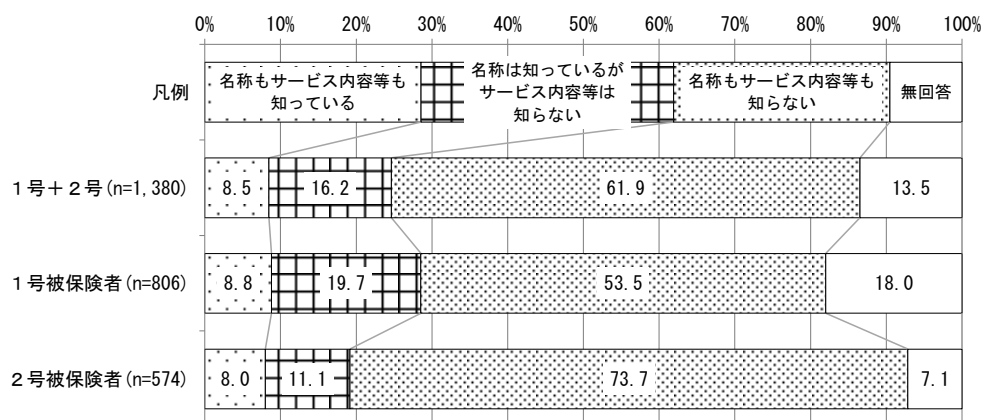
ミドル・シニアは、デイサービス、訪問入浴、ショートステイでは「名称もサービス内容等も知っている」が最も多く、次いで「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が続き、この2つの項目で90%以上を占めます。

訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問看護、グループホーム、特別養護老人ホームでは「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が最も多く、次いで「名称もサービス内容等も知っている」が続き、この2つの項目で80%以上となっています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護では「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が最も多く、次いで「名称もサービス内容等も知らない」が続き、この2つの項目で80%以上を占めます。

夜間対応型訪問介護では「名称もサービス内容等も知らない」が最も多く、次いで「名称は知っているがサービス内容等は知らない」が続き、この2つの項目で80%以上を占めます。

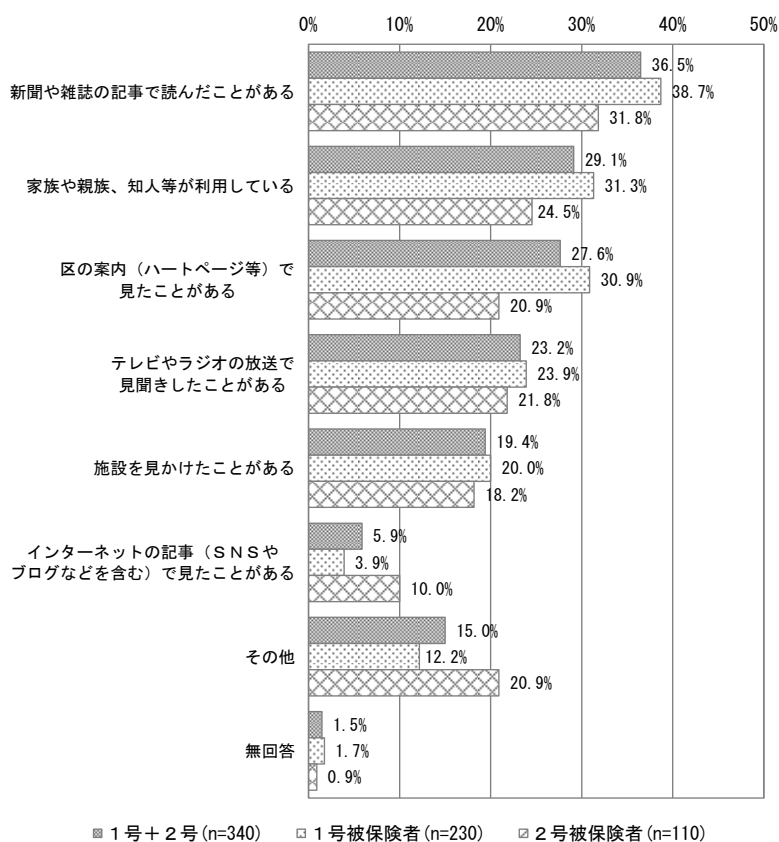
問7. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)



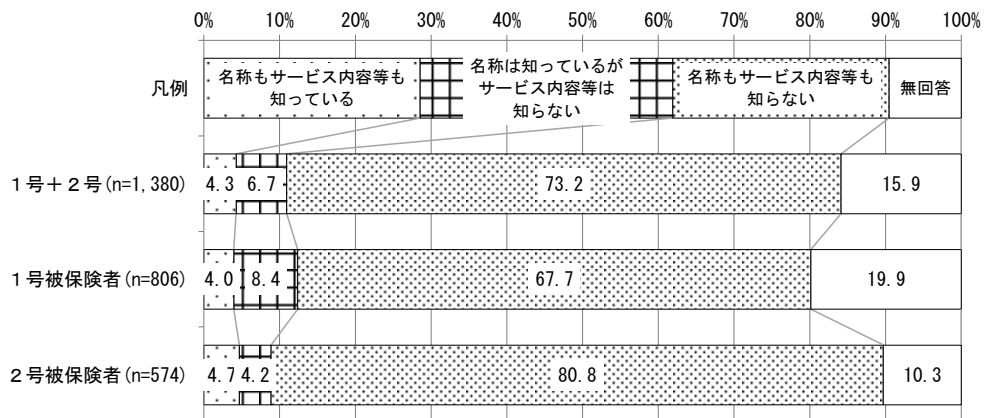
小規模多機能型居宅介護サービスの認知は、「名称もサービス内容等も知らない」が61.9%、「名称もサービス内容等も知っている」は8.5%となっています。

問7-1. 【問7で1または2を選んだ方】あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

小規模多機能型居宅介護サービスを知った機会は、「新聞や雑誌の記事で読んだことがある」が36.5%で最も多く、次いで「家族や親族、知人等が利用している」が29.1%、「区のご案内（ハートページ等）で見たことがある」が27.6%となっています。



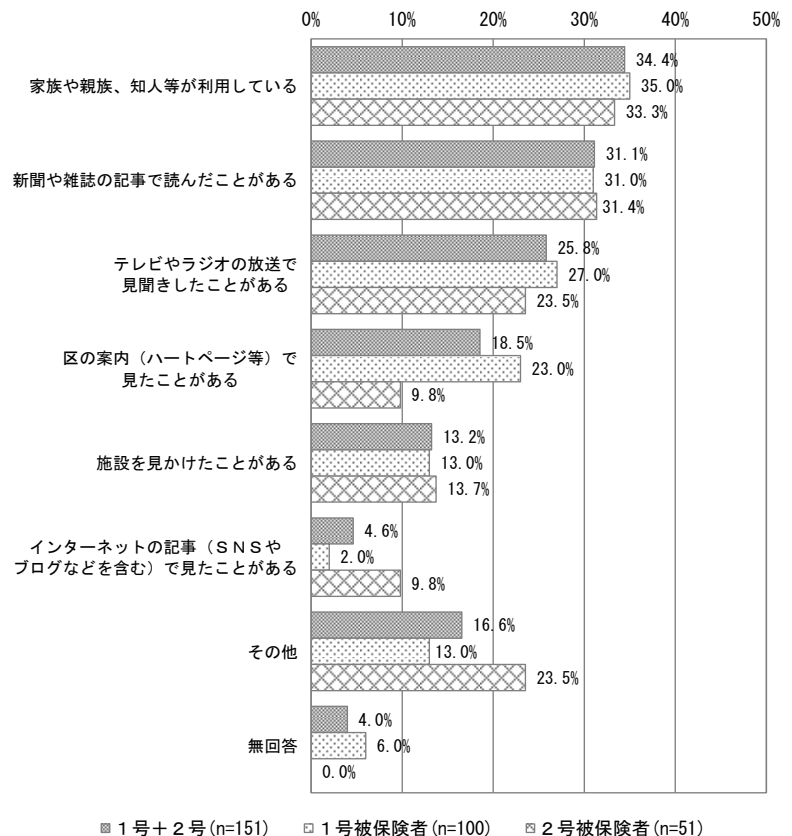
問8. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)



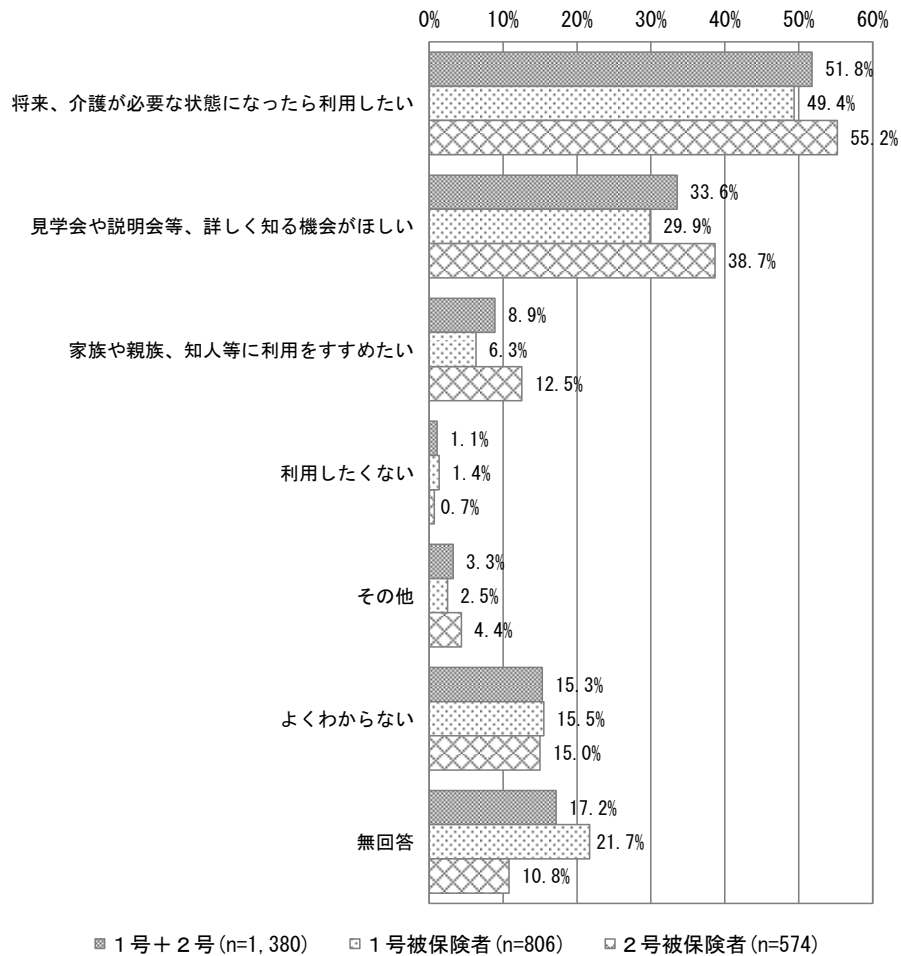
看護小規模多機能型居宅介護サービスの認知は、「名称もサービス内容等も知らない」が73.2%、「名称もサービス内容等も知っている」は4.3%となっています。

問8-1. 【問8で1または2を選んだ方】あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

看護小規模多機能型居宅介護サービスを知った機会は、「家族や親族、知人等が利用している」が34.4%で最も多く、次いで「新聞や雑誌の記事で読んだことがある」が31.1%となっています。

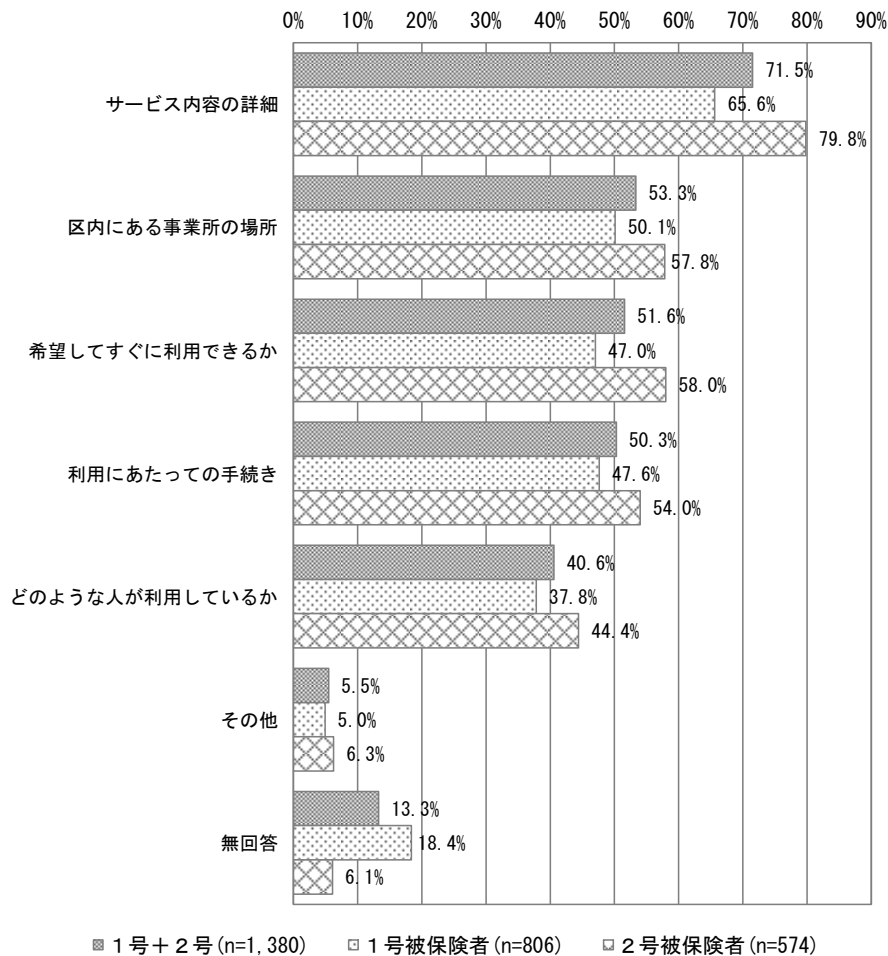


問9. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)についてどのように思いますか。(あてはまるものすべてに○)



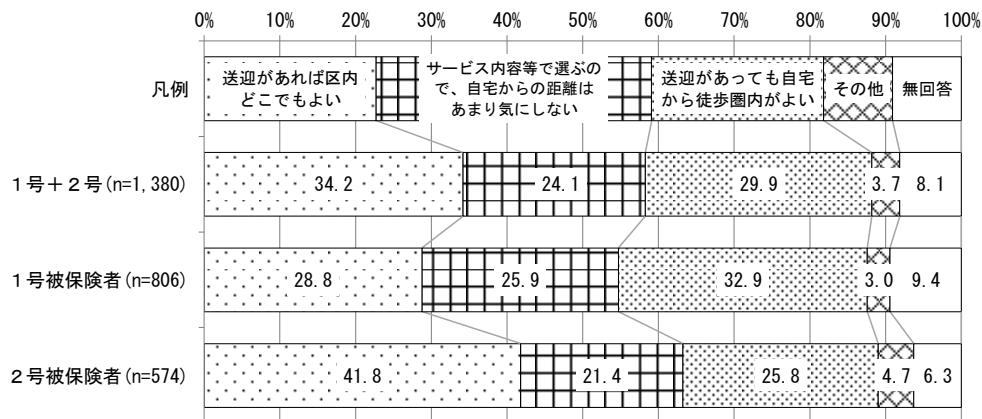
(看護) 小規模多機能型居宅介護サービスをどのように思うかは、「将来、介護が必要な状態になったら利用したい」が 51.8%で最も多く、次いで「見学会や説明会等、詳しく知る機会がほしい」が 33.6%となっています。

問10. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)についてどのようなことを知りたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



(看護) 小規模多機能型居宅介護サービスでどのようなことが知りたいかは、全体では「サービス内容の詳細」が 71.5%で最も多く、次いで「区内にある事業所の場所」が 53.3%、「希望してすぐに利用できるか」が 51.6%、「利用にあたっての手続き」が 50.3%となっています。

問11. あなたが、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)を利用するとしたら、自宅から事業所の距離についてどう感じますか。(あてはまるもの1つに○)

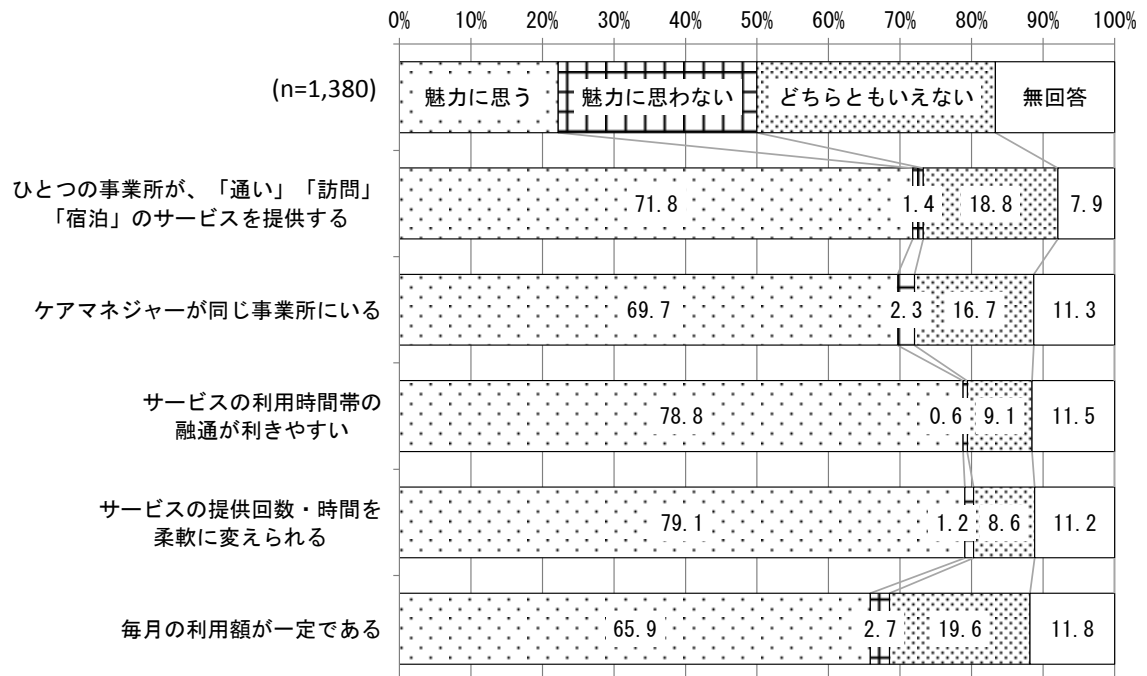


(看護)小規模多機能型居宅介護サービスを利用する際の自宅から事業所の距離は、全体では「送迎があれば区内どこでもよい」が34.2%、「サービス内容等で選ぶので、自宅からの距離はあまり気にしない」が24.1%、「送迎があっても自宅から徒歩圏内がよい」が29.9%となっています。

ミドル・シニアでは「送迎があれば区内どこでもよい」が41.8%となっています。

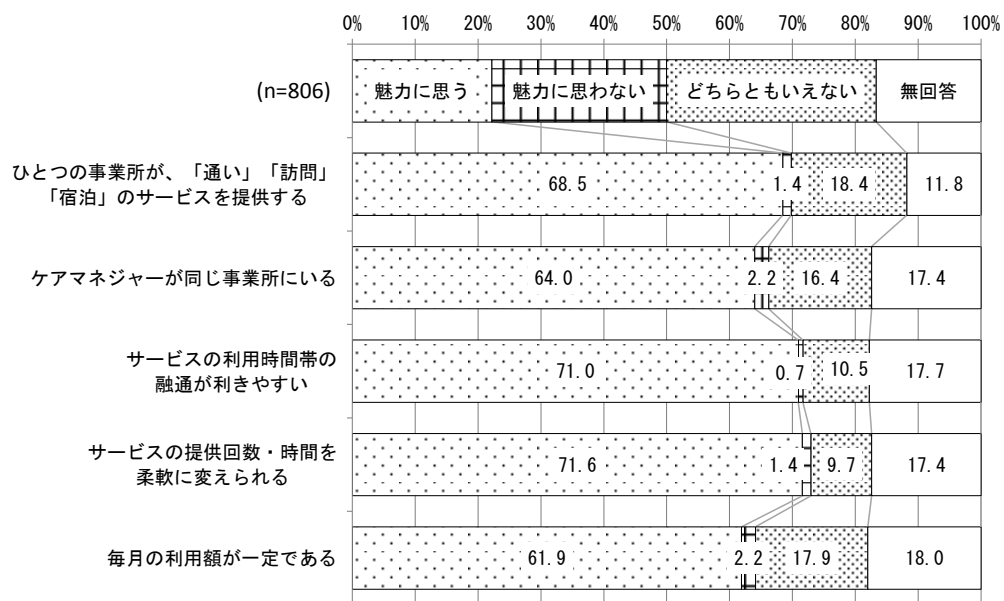
問12. あなたは、(看護)小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)の以下の特徴についてどのように思いますか。(それぞれのあてはまるもの1つに○)

【全体】



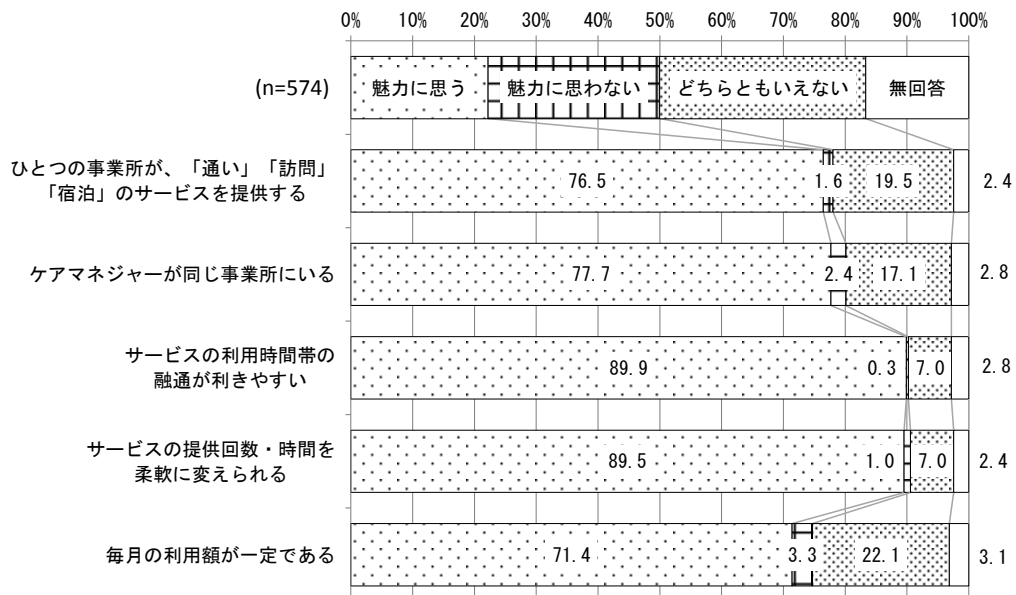
(看護)小規模多機能型居宅介護サービスの特徴は、いずれの特徴についても「魅力的に思う」が最も多くなっています。中でも「サービスの提供回数・時間を柔軟に変えられる」が79.1%となっています。

【1号被保険者】



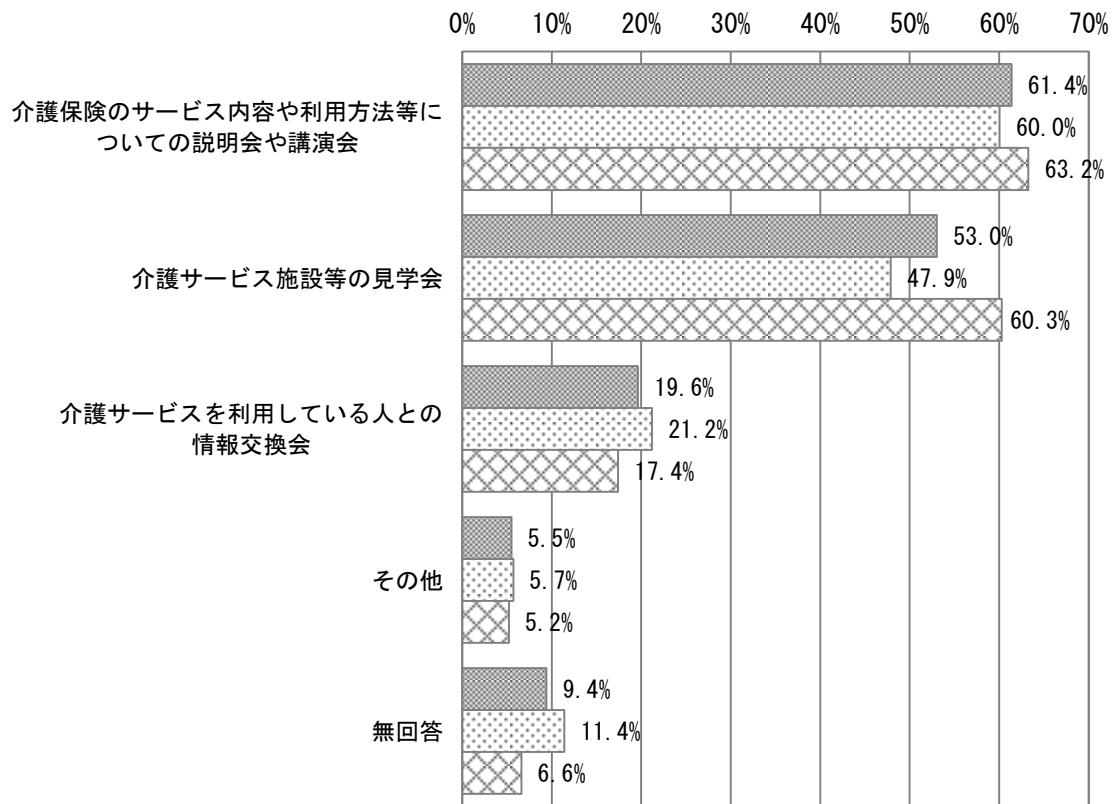
(看護) 小規模多機能型居宅介護サービスの特徴は、1号被保険者ではいずれの特徴についても「魅力に思う」が最も多くなっています。

【2号被保険者】



(看護) 小規模多機能型居宅介護サービスの特徴は、ミドル・シニアではいずれの特徴についても「魅力に思う」が最も多くなっています。

問13. あなたは介護サービスについて詳しく知りたいときに、どのような催し等であれば参加したい
 と思いますか。(主なものを2つまで選んで○)



■ 1号+2号 (n=1,380) □ 1号被保険者 (n=806) □ 2号被保険者 (n=574)

介護サービスを知りたいときに参加したい催しは、全体では「介護保険のサービス内容や利用方法等についての説明会や講演会」が61.4%で最も多く、次いで「介護サービス施設等の見学会」が53.0%となっています。

- あなたが介護保険の制度やサービス等について感じていること、こうしてほしいと思っていることを自由にお書きください。

〔1号被保険者〕

- 昼間のデイサービスを家族が利用しているが、夜間とか急な用向きがあった場合のサービスがあると嬉しい。
- 親族が区内の小規模多機能型にお世話になりました（H25 亡くなりました）。大変良くして頂きましたので、私もあのようなサービスが受けられるなら満足です。
- 自宅にいながら利用できれば是非、お願いしたい。夫の介護を希望。一人暮らしの人だけでなく老老の二人暮らしにも是非、手を差し伸べてもらいたい。
- 母の介護の時、自宅にいる時はデイサービス、ヘルパーさん利用で生活でき良かったが、病気（心筋梗塞）後は自宅近くに入居できる所がなく、決まるまで大変でした。自宅近くに通り慣れた所等で暮らせるようになるのは、新しい環境で不安になる事なく良い事と思います。

〔ミドル・シニア〕

- この度のアンケートで「小規模多機能型…サービス」「看護…サービス」を知り、文京区で準備を進められている事を知り大変、心強く思いました。子どものいない世帯なのでお世話になる事が、他世帯より多くなるかと思えます。
- 詳しい事は分からないため、友人の経験談を気にしながら聞いている程度です。近いうちに必要なと思えますので、説明会や講演会等機会があれば積極的に話を聞きたいです。
- 家族のものが小規模多機能を利用しており、お世話になっています。できればリハビリ専門のデイサービスと併用出来たら、もっと足が動くようになったのでは…と。併用が出来ない事が残念です。
- 家族が介護保険を利用し、デイと訪問介護をお願いしています。毎月、自費が多く出るので、保険での利用金額を増やし、自費を少しでも抑えられると良いと思います。
- 今年初めて 92 歳になる母がサービスを受ける事になりました。漠然と介護サービスの存在は知っていましたが、実際となると全く理解していない事が分かりました。担当の方々の親切な対応に感謝しております。

2 未利用者調査のまとめ

(1) 小多機／看多機の認知度

介護サービスを利用していない1号被保険者及びミドル・シニアに対する調査では、「名称もサービス内容も知らない」という回答が過半数を占めており、他の介護サービスと比較しても20%以上多くなっています。

これは、比較的新しいサービスであり、情報に接する機会が少ないこと等が理由として考えられます。自由記述では、今回の調査で初めてこのようなサービスがあることを知ったという回答がありました。その意味では、今後とも広報等を通じて周知を図る必要があります。1号被保険者の29.9%、ミドル・シニアの38.7%が見学会や説明会等、詳しく知る機会がほしいと回答しています。

また、どのようなことを知りたいかという設問については「サービス内容の詳細」が最も多く、2位あるいは3位には「区内にある事業所の場所」が続いています。これらのことから、各施設の日常のサービス内容等、より詳細な情報発信を行うことが肝要です。

(2) 小多機／看多機に対するニーズについて

将来、介護が必要になったときの介護についての設問では、「介護サービスをできるだけ活用したい」という回答が全体の6割以上を占めています。一方で、「現在の住まいでそのまま暮らせるか不安である」、「どのような介護サービスがあるか、不安である」という回答が上位を占めています。これらのことから、現在介護サービスを利用していない人は、介護サービスを活用しながら現在の住まいに継続して住み続ける意向が強いと考えられます。

小多機／看多機はそれらのニーズに応えられるサービスであり、それを示すように、小規模多機能型居宅介護サービスの利用意向では、1号被保険者の49.4%、ミドル・シニアの55.2%が「将来、介護が必要な状態になったら利用したい」と回答しています。

(3) 小多機／看多機の所在地について

小規模多機能型居宅介護サービスを利用するとしたら、自宅からどれくらいの距離にある事業所を利用したいと思うか尋ねたところ、「送迎があれば区内どこでもよい」と「サービス内容等で選ぶので、自宅からの距離はあまり気にしない」の合計は、1号被保険者で54.7%、ミドル・シニアで63.2%となっています。

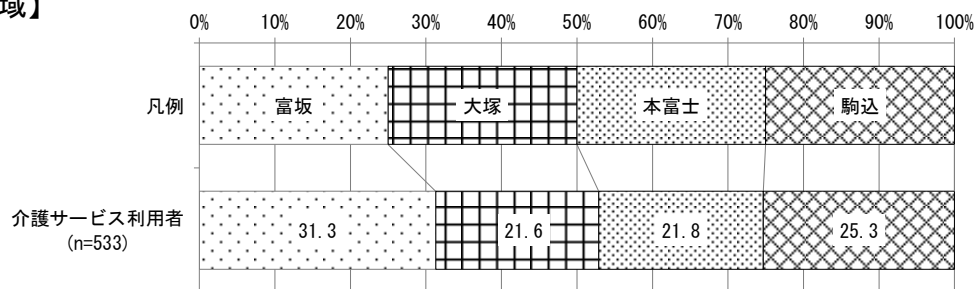
一方で「送迎があっても自宅から徒歩圏内がよい」という回答も一定数を占めていることから、今後も圏域ごとの事業所数を意識しつつ区内全域で事業所を増やすことで、より多様な利用ニーズに応えていくことが必要だと考えられます。

第4章 要介護・要支援認定者調査

調査対象	調査方法	配布数	回収数	回収率
要介護・要支援認定者	郵送配布 郵送回収	1,500	533	35.5%

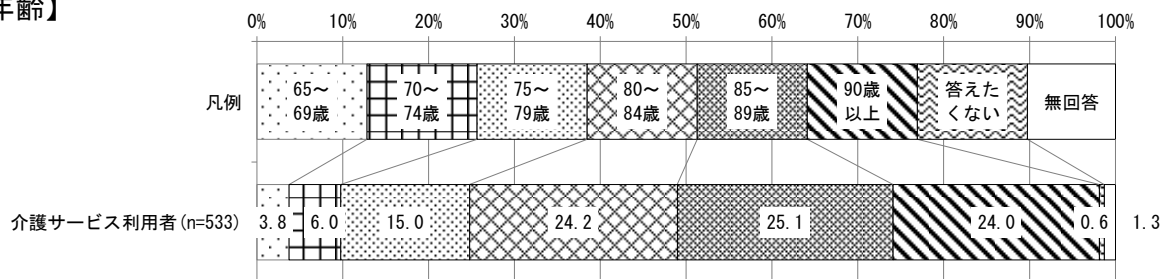
回答者の属性

【居住地域】



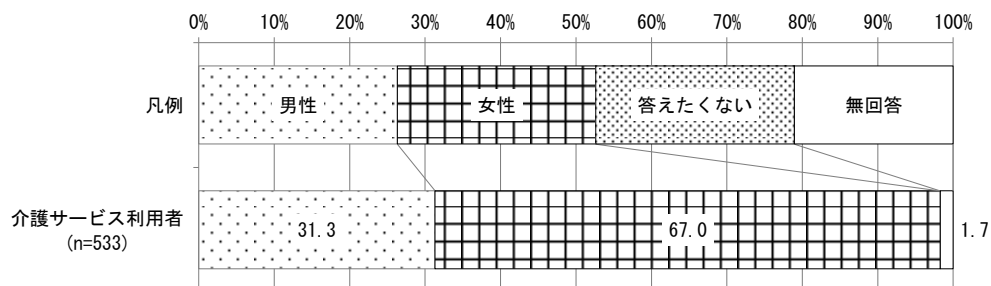
回答者の居住地域は、「富坂」が 31.3%、「大塚」が 21.6%、「本富士」が 21.8%、「駒込」が 25.3%となっています。

【年齢】



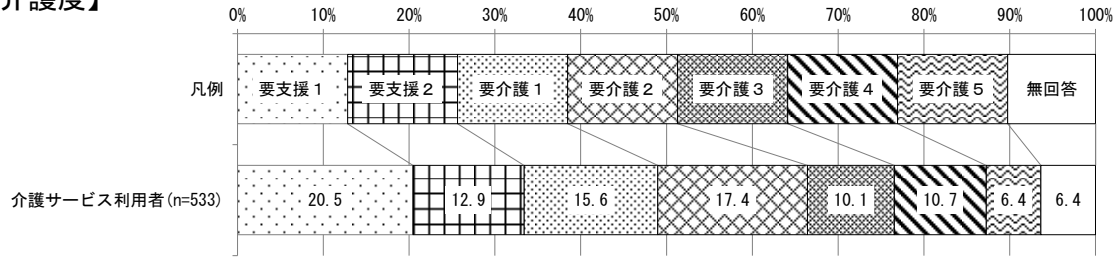
回答者の年齢は、「85～89歳」が 25.1%、「80～84歳」が 24.2%、「90歳以上」が 24.0%となっています。

【性別】



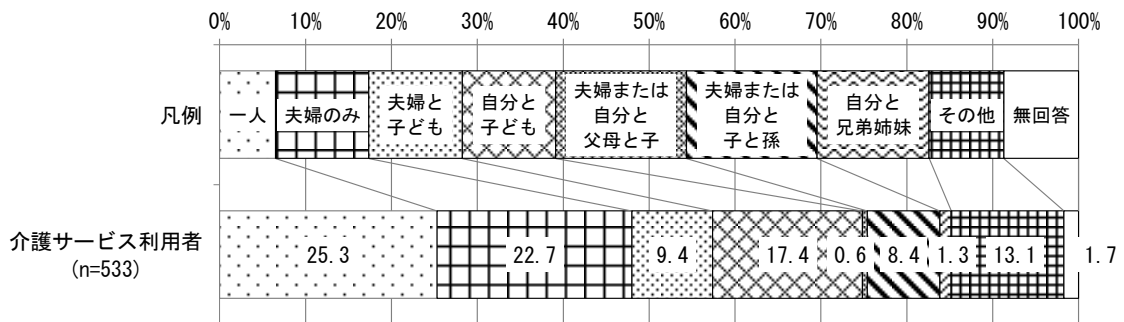
回答者の性別は、「男性」が 31.3%、「女性」が 67.0%となっています。

【要介護度】



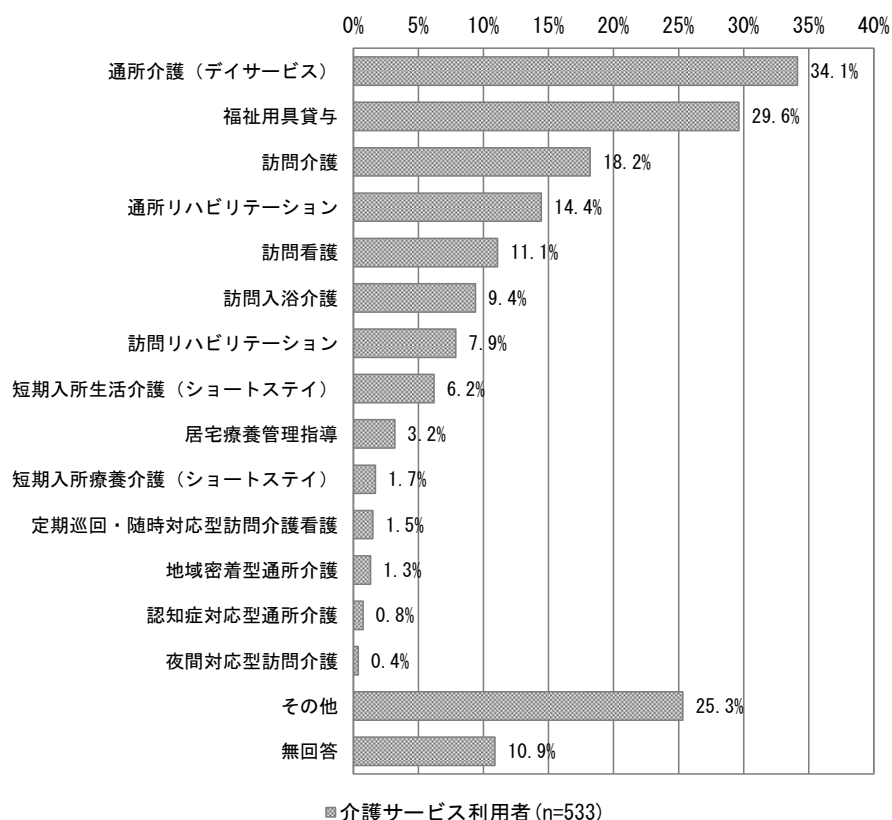
利用者の要介護度は、「要支援1」が20.5%で最も多く、次いで「要介護2」が17.4%となっています。

問1. あなたと一緒に暮らしている家族等は、どなたですか。(複数回答)



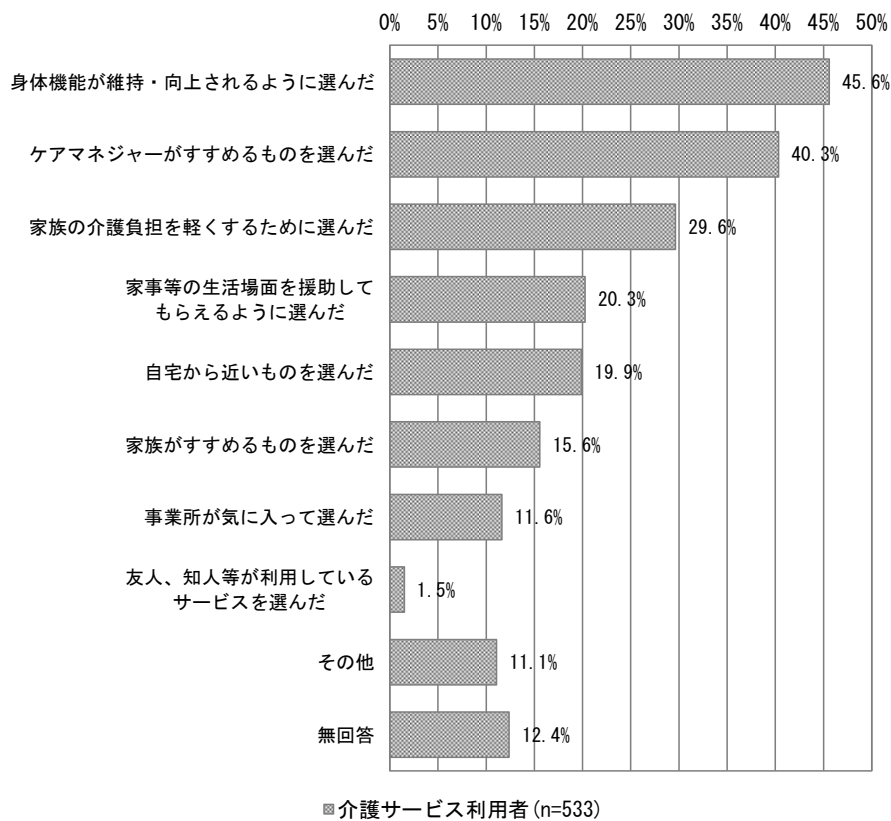
一緒に暮らしている家族等は、「一人」が25.3%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が22.7%となっています。

問2. あなたは、現在どのような介護サービスを利用していますか。(複数回答)



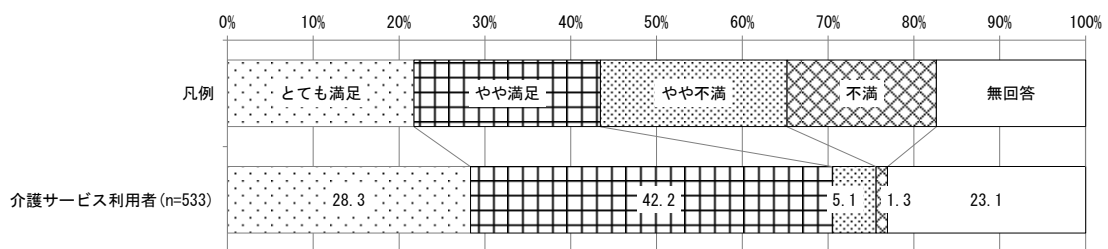
利用中の介護サービスは、「通所介護 (デイサービス)」が 34.1%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が 29.6%となっています。

問3. あなたは、現在の介護サービスをどのような理由で選びましたか。(複数回答)



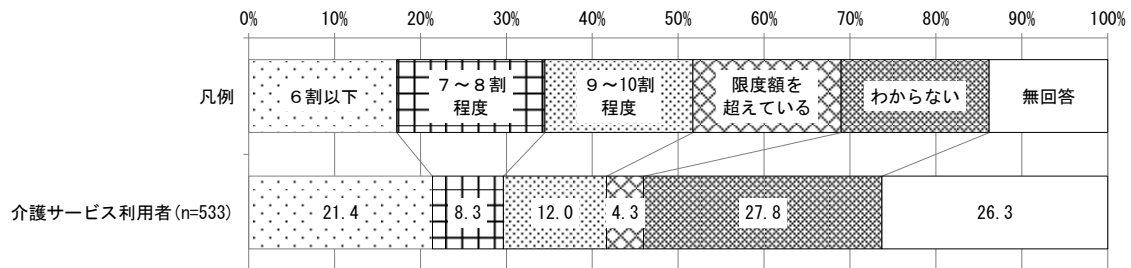
利用中の介護サービスを選んだ理由は、「身体機能が維持・向上されるように選んだ」が 45.6%で最も多く、次いで「ケアマネジャーがすすめるものを選んだ」が 40.3%となっています。

問4. あなたが利用している介護サービスの全体としての満足度とその理由をお答えください。



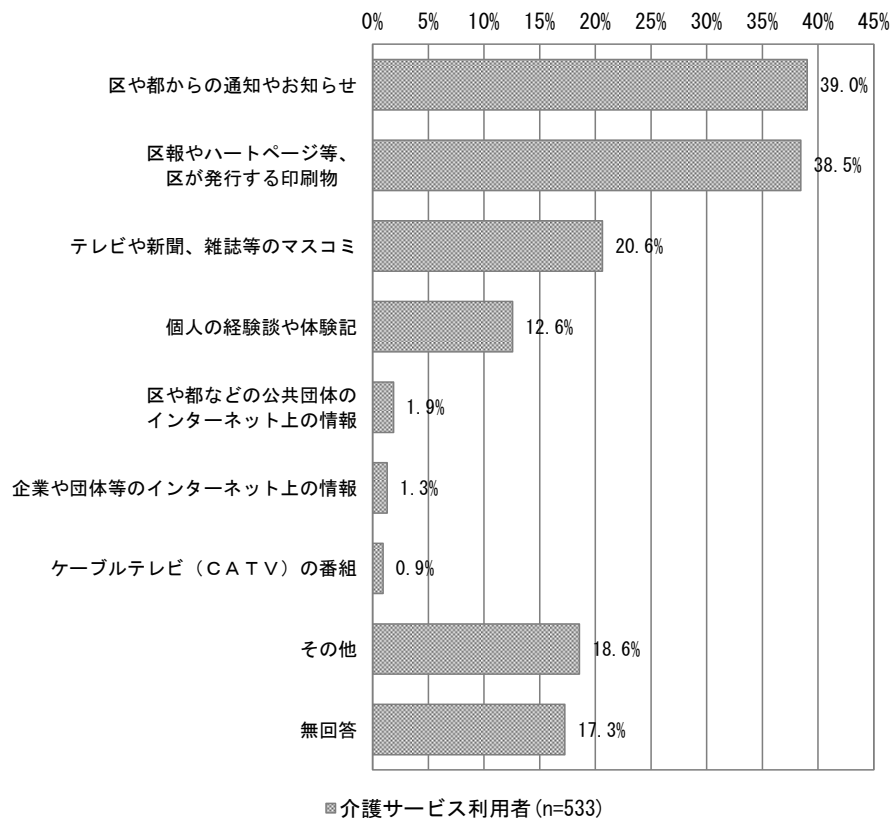
利用中の介護サービスの満足度は、「やや満足」が 42.2%、「とても満足」が 28.3%で、その2つの項目が70%以上を占めています。

問5. あなたが利用している介護サービスの量は、介護度別に設定されている支給限度額の何割くらい利用していますか。



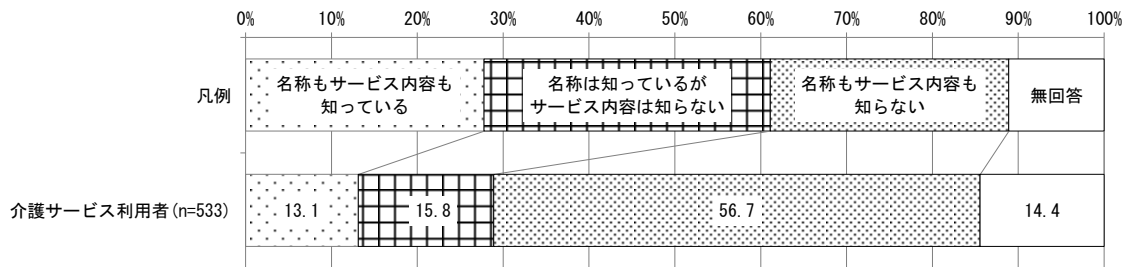
介護サービスの支給限度額中の割合は、「わからない」が27.8%で最も多く、次いで「6割以下」が21.4%となっています。また、「9~10割程度」が12.0%、「限度額を超えている」が4.3%となっています。

問6. あなたは、高齢者の暮らしや介護サービスについての情報をどのようにして得ていますか。
(主なものを3つまでに○)



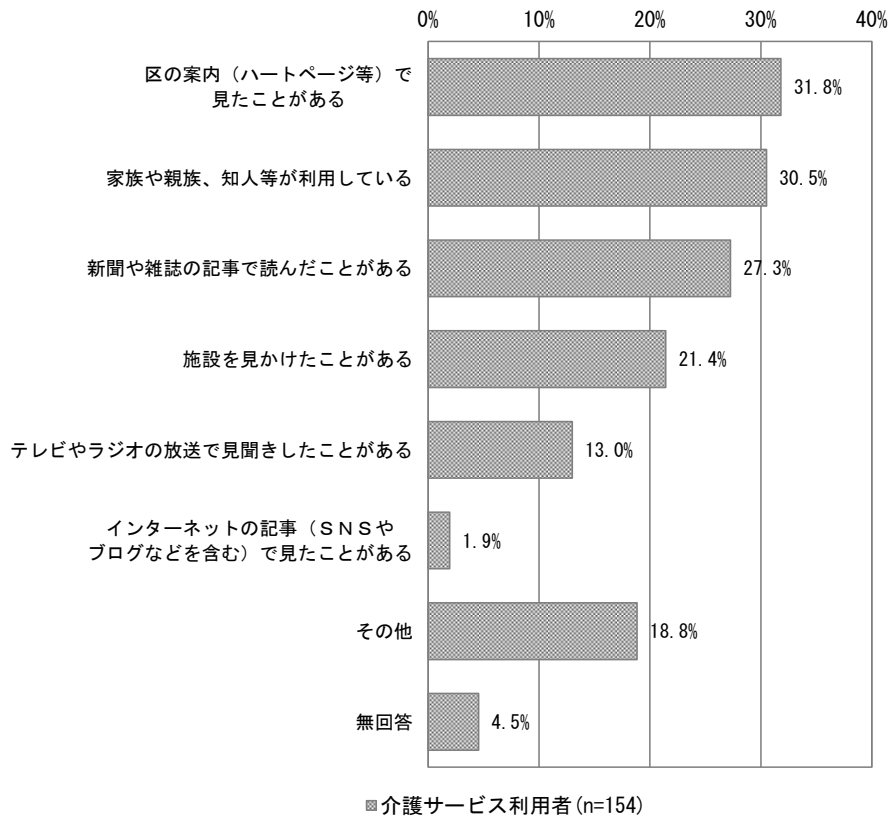
高齢者の暮らしや介護サービスの情報収集は、「区や都からの通知やお知らせ」が39.0%で最も多く、次いで「区報やハートページ等、区が発行する印刷物」が38.5%となっています。

問7. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)



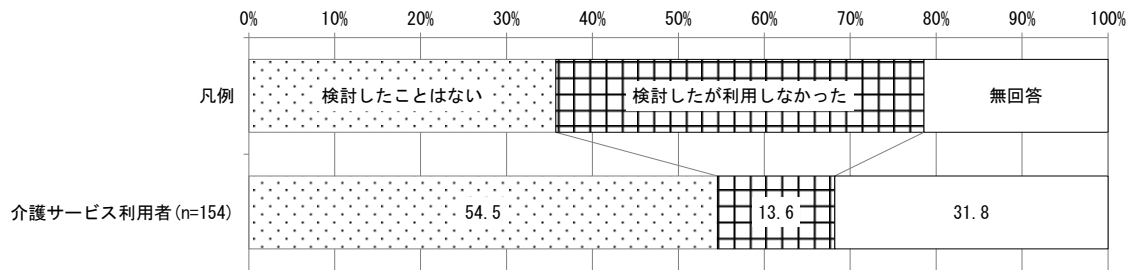
小規模多機能型居宅介護サービスを知っているかは、「名称もサービス内容も知らない」が56.7%となっています。

問7-1.【問7で1または2を選んだ方】 あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)



小規模多機能型居宅介護サービスを知った機会は、「区のご案内（ハートページ等）で見たことがある」が31.8%で最も多く、次いで「家族や親族、知人等が利用している」が30.5%となっています。

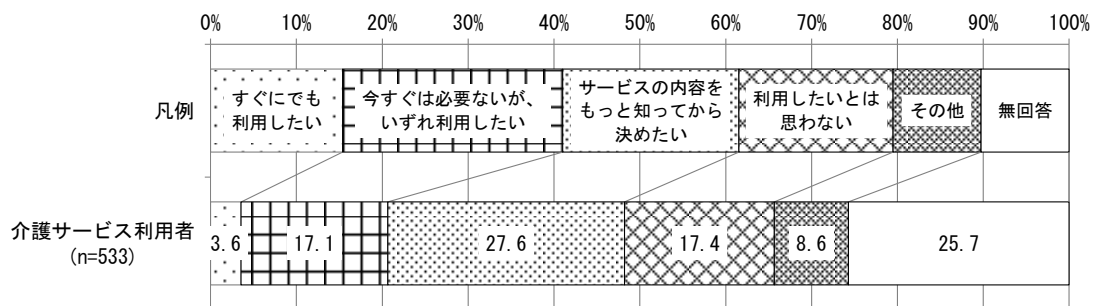
問7-2. 【問7で1または2を選んだ方】あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスの利用を検討したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)



小規模多機能型居宅介護サービスの利用検討は、「検討したことはない」が54.5%となっています。

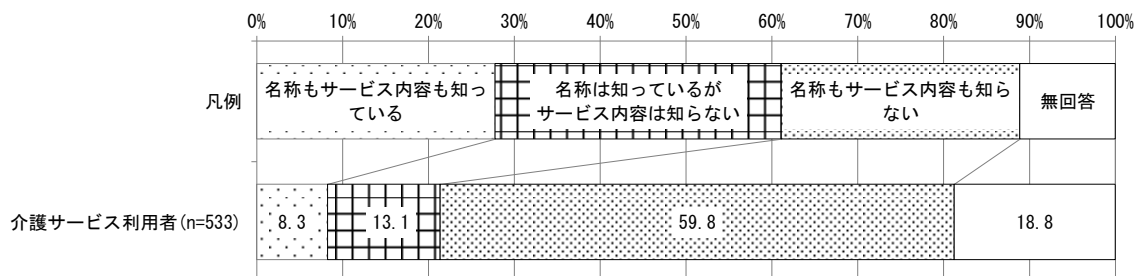
「検討したが利用しなかった」理由では、「必要性を感じなかった」、「希望と合わなかった」等が挙げられました。

問8. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスを利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)



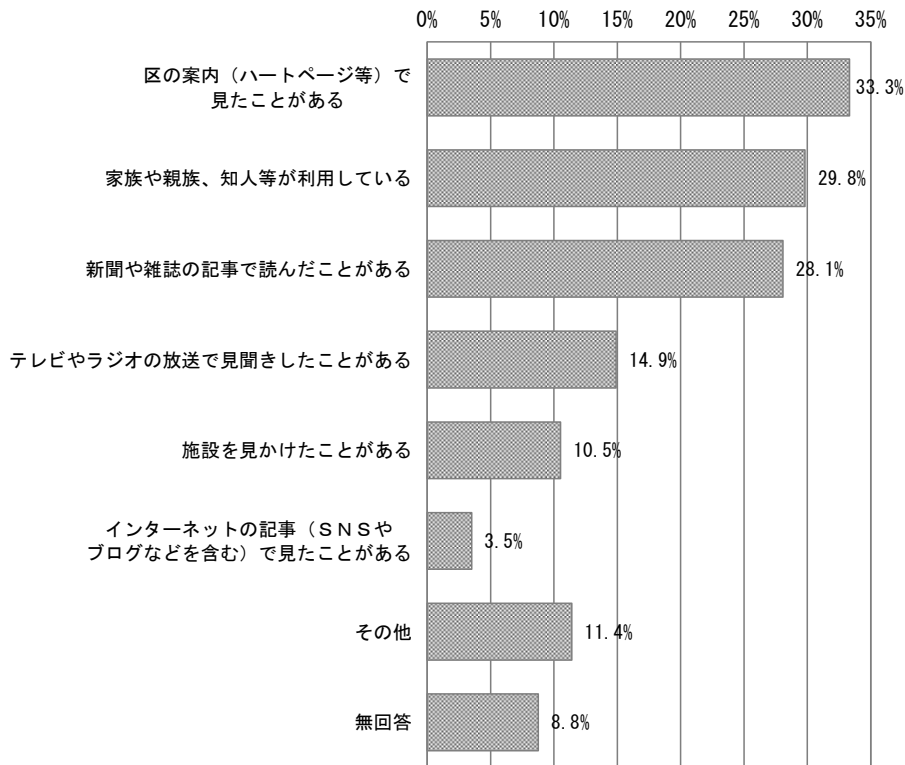
小規模多機能型居宅介護サービスを利用したいかは、「サービスの内容をもっと知ってから決めたい」が27.6%で最も多く、次いで「利用したいとは思わない」が17.4%、「今すぐは必要ないが、いずれ利用したい」が17.1%となっています。

問9. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)



看護小規模多機能型居宅介護サービスを知っているかは、「名称もサービス内容も知らない」が59.8%となっています。

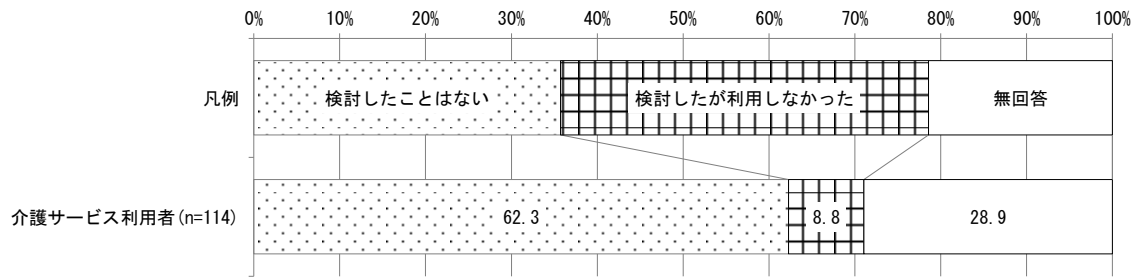
問9-1. 【問9で1または2を選んだ方】あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)



■ 介護サービス利用者 (n=114)

看護小規模多機能型居宅介護サービスを知った機会は、「区のご案内（ホームページ等）で見たことがある」が 33.3%で最も多く、次いで「家族や親族、知人等が利用している」が 29.8%、「新聞や雑誌の記事で読んだことがある」が 28.1%となっています。

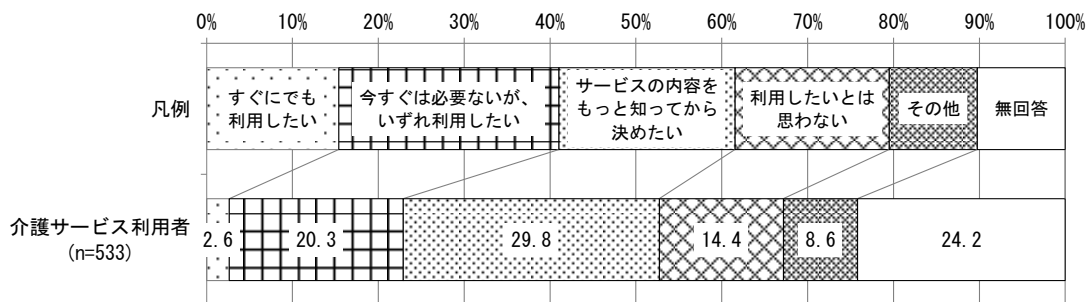
問9-2. 【問9で1または2を選んだ方】あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスの利用を検討したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)



看護小規模多機能型居宅介護サービスの利用検討は、「検討したことはない」が62.3%となっています。

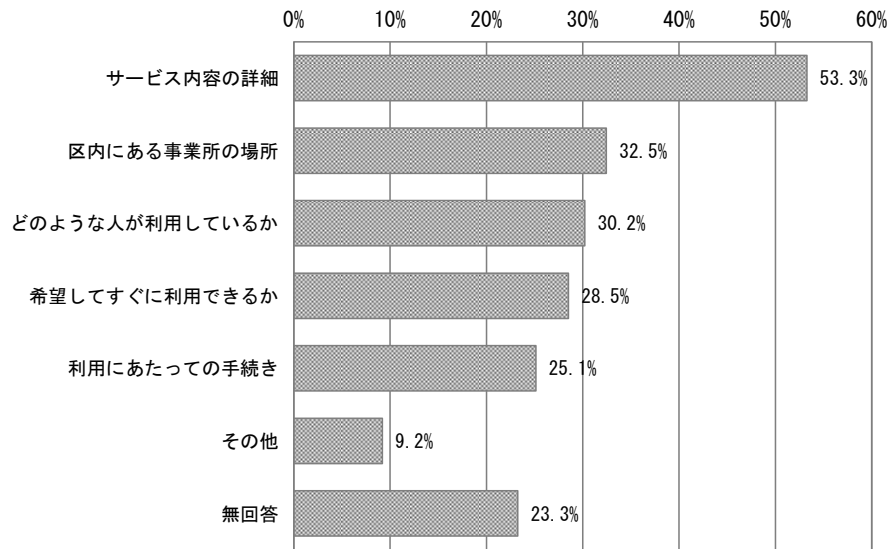
「検討したが利用しなかった」理由では、「内容がわからなかった」、「ニーズに合わなかった」、「まだ必要ない」等が挙げられました。

問10. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスを利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)



看護小規模多機能型居宅介護サービスを利用したいかは、「サービスの内容をもっと知ってから決めたい」が29.8%で最も多く、次いで「今すぐは必要ないが、いずれ利用したい」が20.3%となっています。

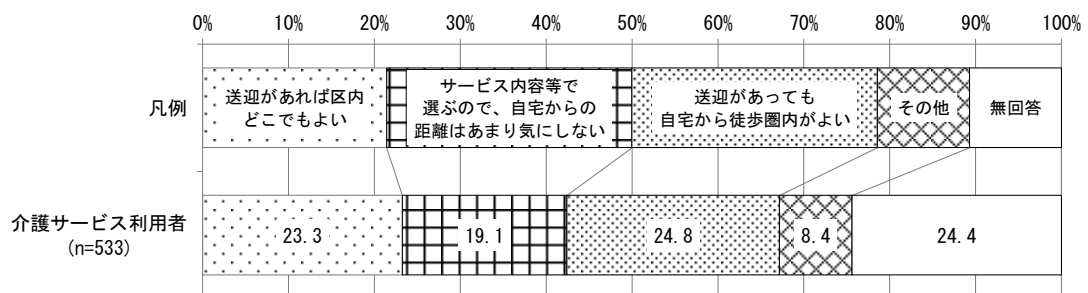
問11. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)についてどのようなことを知りたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



■介護サービス利用者(n=533)

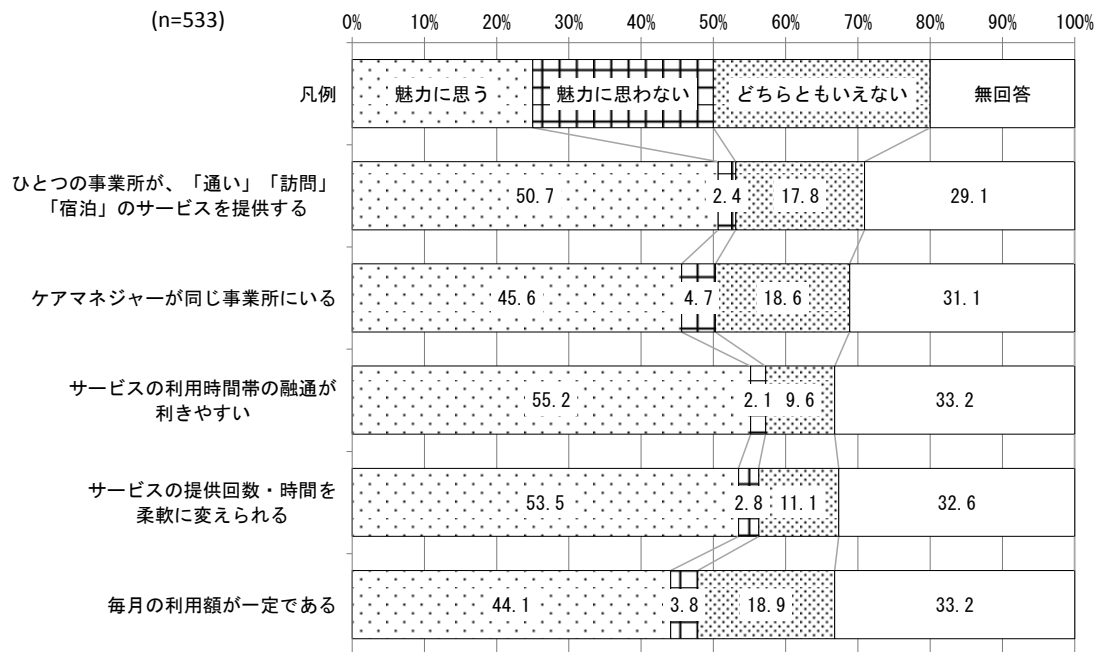
小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)について知りたいことは、「サービス内容の詳細」が53.3%で最も多く、次いで「区内にある事業所の場所」が32.5%、「どのような人が利用しているか」が30.2%となっています。

問12. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)を利用するとしたら、自宅からどれくらいの距離にある事業所を利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)



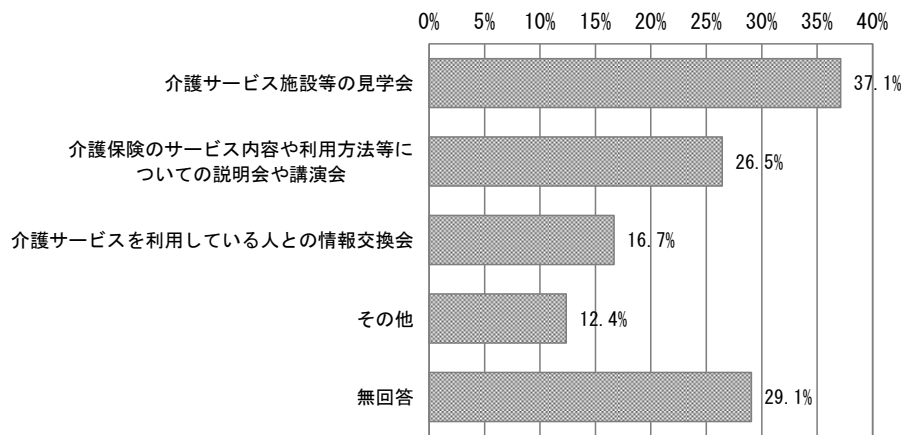
小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)を利用する際の自宅から事業所の距離は、「送迎があっても自宅から徒歩圏内がよい」が24.8%で最も多く、次いで「送迎があれば区内どこでもよい」が23.3%となっています。

問13. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)の以下の特徴についてどのように思いますか。(それぞれのあてはまるもの1つに○)



小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)の特徴は、全ての項目で「魅力的に思う」が最も多くなっています。
介護サービス未利用者と比較すると、「無回答」が多くなっています。

問14. あなたは介護サービスについて詳しく知りたいときに、どのような催し等であれば参加したいと思いますか。(主なもの2つまで選んで○)



■介護サービス利用者 (n=533)

介護サービスを知りたいときに参加したい催しは、「介護サービス施設等の見学会」が37.1%で最も多く、次いで「介護保険のサービス内容や利用方法等についての説明会や講演会」が26.5%となっています。

● あなたが介護保険の制度やサービスなどについて感じていること、こうしてほしいと思っていることを自由にお書き下さい。

- ・小規模多機能型居宅介護サービスとは何ですか！？ 既にあるサービスですか？ どこにあるのですか？ 絵に描いた餅にならないよう、しっかりやってください。
- ・本人の体調を尊重し、やりたいことをさせて欲しい。精神的支えも必要。医療機関との連携（救急時はもちろん、どの様な状態で医療病院に転院するのか等）。
- ・文京区は地価が高いから仕方ないかもしれないが、通い、訪問、宿泊の三点セットで組織を作って頂くと、家族としては突然の時に備えてありがたく思う。本人達の「慣れている」を大事にすると、ハプニングに対して適応しやすいと考えています（娘談）。
- ・妻が要介護3で現在サービスを利用しており、今までの老々介護の負担が軽減でき、とても助かっています。
- ・一人暮らしになった時、直ぐに利用できれば幸いです。

2 要介護・要支援認定者調査のまとめ

(1) 小多機／看多機以外のサービスの利用者・利用形態等

●家族形態

一緒に暮らしている家族等は、「一人」が25.3%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が22.7%となっています。

●情報収集

高齢者の暮らしや介護サービスの情報収集は、「区や都からのお知らせ」が39.0%と最

も多く、第1号被保険者、ミドル・シニアと比べて、新聞・ラジオのマスメディアよりも区の案内等から情報を得ていることが多いことが明らかになりました。

●現在利用中の介護サービスに対する満足度

現在利用中の介護サービスについては、「とても満足」が42.2%、「やや満足」が28.3%となっており、満足度は比較的高いことがわかります。

●サービス選択の理由

現在の介護サービスを選んだ理由は、「身体機能が維持・向上されるように選んだ」、「ケアマネジャーがすすめるものを選んだ」がそれぞれ4割以上を占めています。

(2) 小多機／看多機の認知度

小多機／看多機について尋ねたところ、「名称もサービス内容も知らない」という回答が、小多機では56.7%、看多機では59.8%と過半数を占めており、要介護認定者であっても認知度は高くありませんでした。一方、「検討したが利用しなかった」方も一定数おり、ミスマッチを防ぐために、サービスの詳細についても広く周知していく必要があります。

(3) 小多機／看多機に対するニーズ等

現在、介護サービスを利用している人の7割以上が現状のサービスに満足している状況ですが、一方で、小多機／看多機の利用意向も約2割となっています。

また、介護サービス量は、支給額の限度額に対して9～10割程度という回答が12.0%、限度額を超えているという回答が4.3%となっており、全体の2割程度の方が利用限度額の9割～10割、あるいは限度額を超過するサービスを受けていることから、これらの人の中には、定額でのサービス利用が可能な小多機／看多機のサービスに移行することにより金銭面での負担が軽減される人もいと考えられます。

さらに、現在はデイサービスや訪問介護等のみで対応可能であっても、今後、利用者自身の状態や介護者の状況の変化等によって、小多機／看多機のニーズが生じることも考えられます。この調査では、サービスを利用するにあたって利用者が重視することは、事業所の見学や、サービス内容の詳しい説明であることがわかりました。

(4) 小多機／看多機の所在地

小規模多機能型居宅介護サービスを利用するとしたら、自宅からどれくらいの距離にある事業所を利用したいと思うか尋ねたところ、「送迎があれば区内どこでもよい」と「サービス内容等で選ぶので、自宅からの距離はあまり気にしない」の合計は42.4%となりました。これは、介護サービス未利用者と比べて低い割合となっています。

第5章 面接調査

(看護) 小規模多機能型居宅介護サービスの現状や今後の展望等について、関係先に面接調査を行いました。

その概要を以下に掲載します。なお、発言内容は要旨であり、一部整理等を行っています。

1 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）

	調査対象	調査実施日
①	高齢者あんしん相談センター富坂・富坂分室	平成 29 年 10 月 18 日
②	高齢者あんしん相談センター大塚・大塚分室	平成 29 年 10 月 18 日
③	高齢者あんしん相談センター本富士・本富士分室	平成 29 年 9 月 13 日
④	高齢者あんしん相談センター駒込・駒込分室	平成 29 年 10 月 11 日

(1) 小多機／看多機の利用者像

- ・認知症でも割と軽度で元気な人に向いているように思う。
- ・きれいに介護保険に乗らない、介護保険プラスアルファがないとその人を支えられないときに、(例えば認知症の独り暮らし等)、訪問と通いのサービス以外の部分もちょっと見てもらえると有効。
- ・サービスの拒否があって、通いたくもないし、ヘルパーも要らないと言っている人も支援が必要な人に、入り方が柔軟にできる。徐々になじんできて、長期的にかかわってもらえるという点が有効。
- ・同居家族が緊急の出張等で、ショートステイを使いたい場合に、同じ施設を使える安心感がある。
- ・アセスメントをしても、小多機の対象となる人があまりいない印象。通い、訪問、泊まりのすべてがまんべんなく必要かという点、そうではない。
- ・リハビリが専門ではないため、予防の観点から言うと、どうしても補完型のサービスになってしまう。しかし、介護している家族にとってはすごく連携がとりやすく心強いサービスで、介護離職等を防ぐことにつながる。
- ・基本は在宅だが、すこし心配な感じの人。特に、夜間が不安な人が向いている気がする。
- ・急にショートステイが必要な場合等、その都度新たに緊急ショートを使うより安心感がある。
- ・「夕暮れ症候群」のある人や不安であちこちに電話をかけてしまうような人にとって、夕方遅い時間までケアを受けられるのがメリット。
- ・看多機は、インシュリンの管理が必要な人等で、人の目があるところで様子を見てもらえる場所があるという点で安心できる。
- ・認知症の方がすごく上手に使えるサービス。泊まりたい(という家族のニーズがある)けれど、環境の変化に慣れにくい人の場合、小多機であれば、通いながら泊まることで

きる。

- ・施設入所の前段階という使い方は、本来の目的は違うかもしれないが、そういった環境になじむという意味では有効。

(2) 地域包括を利用するまでの流れ

- ・センターに相談に来るのは、本人と家族が各4割、その他の人が2割という実感がある。「その他」の人では、民生委員が相談してくるケースが多い。
- ・センターは病院から紹介を受けた人や病院の相談員等が来ることが多く、分室は家族や民生委員等からの相談が多い。
- ・認知症の問題が寄せられる。特に、支援者が近くにいない場合。
- ・支援者がいると、自分でサービス等を調べて調整するので地域包括には来ないのではないか。
- ・申請に来る、あるいは認定が出たがどうすればいいかと本人や家族からの相談がある一方、民生委員や町会役員が、気がかりな人について相談に来るケースもある。
- ・敬老の日の祝い金を配ったり新しい連絡カードを作成する等のタイミングで相談が増える。
- ・退院支援で病院から紹介された人、民生委員等近所の人に紹介された人もいるが、区から紹介された人が特に多い。
- ・退院に際して、病院から相談が来ることが多い。
- ・区内の2医師会それぞれとつながりがある。
- ・病院の医療相談室等からの紹介はあるが、クリニックから直接、というケースはほとんどない。

(3) 小多機／看多機事業所、医療機関等との連携

- ・地域ケア会議、あんしんネット連絡会、ハートフル交流会等、2ヶ月に1回以上、何かしらの集まりがある。
- ・事業所ごとの得意分野等は把握して、紹介につなげている。
- ・付き合いがある事業所は、どのくらい対応してくれるのか、週に何回サービスが受けられるのか等大体のことがわかり、選択肢としてあがりやすい。顔が見える関係でないと、紹介しづらい。
- ・地域包括から小多機への直接の紹介はほとんどない。
- ・圏域内の事業者の運営推進会議にも定期的に出席しているが、圏域外の事業者とはほとんど関わりがない。
- ・(圏域内に事業所がないので)一番近い事業所につなぐことはある。圏域内にあったらあつたで、その事業所に合うかマッチングする必要がある。
- ・病院等が開催する勉強会にも参加している。
- ・在宅医療関係の集まりに呼ばれることがある。

(4) 区内小多機／看多機事業所の印象・特色

- ・小多機事業所の一つは、小多機開設以前から介護サービスを実施していて、馴染みがあ

る。元々ヘルパー事業所だったので、訪問に積極的。ひとくちに小多機といっても一括りにはできない。

- ・小多機は職員も地域密着型でないとやっていけない。臨機応変の対応が求められ、シフトを組んでいても日々状況が変わる。そのあたりが強い事業所もある。
- ・看多機は、胃ろうやインシュリン等医療ニーズに比べられるということがわかりやすい。
- ・運営推進会議を上手に使っている事業所は、それが「強み」となっている。
- ・地域の方と連携していて、利用者が増えている事業所もある。

(5) 小多機／看多機の課題

- ・家族が、ケアマネが変わることに抵抗を感じることもある。
- ・定額料金なので利用量に比べて高額に感じられることがある。
- ・小多機が施設への通過点になりがち。小多機から従来型の居宅サービスに戻ることがない。
- ・今後、他に小多機事業所が開設されたら、たぶん違いが出る。その中で、その利用者にあった小多機を紹介することが必要。
- ・現状、原則圏域内の事業所を紹介することに縛られている気がする。
- ・他の圏域の小多機がどんなサービス提供をしているのかがわかれば、紹介しやすくなる。ケアマネ交流会等に、小多機の事業所が来てもらうことが有効では。今も小多機のケアマネが考えるプランを事例検討の中で出してもらったりしているが、そこからどこまで絡めているのかは分からない。
- ・運営推進会議は PR や地域と事業者の相互理解の場でもあるのに、うまく活用しきれていないのではないかな。
- ・小多機に対して特に家族が求めているニーズに対して、どれだけ事業者が対応できるかというところが課題。
- ・ケアマネや家族にとって、困ったときに助けてもらったというのが信頼感につながるため、それができなければ、小多機が地元にあっても使われないのでは。
- ・区や地域包括で PR できることは基本的な機能・制度の説明に限られてしまう。事業者自身が自分たちのサービスをよく理解し、上手に利用者・ケアマネに伝えていくことが必要。
- ・地域包括にとって、サービス内容に関して表面的な理解はできていても、実際のマッチングではよくわからないことが多い。
- ・今は駒込には小多機がないが、実際できたとしても、結局はその人にはどの事業所が合うか、マッチングしていくことになる。杓子定規ではなく、全部みるよという事業所であれば、紹介しやすい。
- ・小多機／看多機には、利用者のリロケーションダメージを低減するメリットがあるのに、その切り替えがリロケーションダメージになっている。70 代の方のこの先 15 年、20 年をイメージしたときに入り口として小多機がいいんだと思えるような説明があるといい。
- ・初めから小多機を使っていれば、介護度が高くなることに照準を合わせて、徐々にプランを変えることができる。
- ・困難ケースが増えている。柔軟にやっているからこそ事業者の負担が増えている、キャ

パワーしないか心配。今後、柔軟にやってくれる事業所が増えてくれば、（地域全体で困難ケースがカバーでき）負担が減る可能性もある。

[まとめ]

●小多機／看多機の利用者像

認知症があり環境の変化等に対応するのが難しい方、基本は在宅で生活できるが、夕方・夜間の見守りが必要な方等が挙げられました。さらに、事業所との連携がとりやすいこと、仕事の都合等で緊急に泊まりができること等から、介護する家族が在宅での介護を続けるための利用が考えられます。

●高齢者あんしん相談センターを利用するまでの流れ

本人・家族からの相談や民生委員、町会役員等地域からの相談が多数を占めています。また、利用者が病院を退院する際に病院の相談室等から紹介されるケースもありました。

●小多機／看多機事業所、医療機関との連携

高齢者あんしん相談センターから、直接小多機／看多機事業者に紹介するケースは多くはないものの、小多機／看多機全般のサービス内容は把握しており、利用に適している利用者については、事業所に紹介しているという状況です。しかし、圏域外の事業所については情報が少ないこと等から、圏域内の事業所を中心に紹介しています。

●区内の小多機／看多機事業所の印象・特色

訪問に力を入れている事業所や、運営推進会議を上手く使っている事業所等、事業所ごとの特徴が挙げられています。また、看多機は、「胃ろう等の医療ニーズに対応した事業所という特徴がわかりやすい」という印象を持たれています。

●小多機／看多機の課題

- ・ケアマネジャーが変わることに対する家族の抵抗感や、利用量に比べて高額に感じられることがあります。
- ・利用者の現在の状態像や状態像の変化を見通した、事業所とのマッチングやサービス提供が課題として挙げられています。
- ・増加する困難ケースに対応するため、柔軟に対応する事業所の増加が期待されています。

2 事業所

	調査対象	調査実施日
①	小規模多機能型居宅介護いきいき礪川	平成 29 年 9 月 13 日
②	ユアハウス弥生	平成 29 年 10 月 18 日
③	ジャパンケアいきいき小日向	平成 29 年 10 月 29 日
④	千石にじの家	平成 29 年 11 月 2 日

(1) 小多機／看多機の利用者の特徴と利用者像

- ・利用者の要介護度の平均は2。認知症が8～9割。平均年齢は80代。日中独居が多い。
- ・利用者の半分は独居。残りのほとんどが子や甥姪の世代が面倒を見ている。要介護度の平均は2.8程度。要介護5の方もいる。
- ・要介護度は平均3.2くらい。要介護5の利用者も3分の1くらい。
- ・利用者は80代から90代前半。70代はまだ若い方。家族構成は、老老または未婚の子との同居が多い。また、認知症の方も多い。
- ・以前、30代の白血病患者が利用できないかと尋ねてきたことがある。障害でも高齢でもない狭間の存在もあると認識した(40歳になれば2号被保険者として利用可能)。
- ・施設入所との間の「つなぎ」として利用される方もいるが、それが在宅支援という意味とは違う使われ方なのではというジレンマがある。
- ・家族のレスパイトや、同居家族の仕事の都合、出張の際の利用等を理由に泊まりを利用する。
- ・家族がなかなか関われない方も、(小多機を利用することで)日中近所を歩いて回ったりもできる。
- ・泊まりを多く使うことで、在宅での介護が続けられる方もいる。
- ・利用者の方は、やっぱり家がいいという方が圧倒的に多い。

(2) 小多機／看多機を利用するまでの流れ

- ・利用のきっかけは、地域包括からの紹介、自法人内のケアマネからの紹介がそれぞれ3割程度、他事業者や利用者や親族からの相談がそれぞれ2割程度。医療機関からが1割程度ある。
- ・他のサービスを受けて、というよりは、最初から小多機を利用したいという人が多い。
- ・宿泊したくて問い合わせる人が多い。電話での第一声が「泊まれるんですね」とか。
- ・ブログで情報発信をしているため、その雰囲気を見て親に合うのではと思い、相談に来る方もいる。
- ・地域包括からの相談や、本人から直に電話が来る場合もある。病院の相談室からも退院支援として連絡が来ることもある。
- ・利用経路は、自法人内のケアマネ、訪問看護の利用者、病院等も多いが、最も多いのはリハビリ系の病院であり、大規模病院の地域連携室等からの経路もある。

(3) 高齢者あんしん相談センター、ケアマネジャー、医療機関、地域等との連携

- ・地域包括や病院を中心に声掛けをしている。居宅（介護支援事業所）にも顔を出している。
- ・地域包括や小多機／看多機事業所と情報交換できる機会が欲しい。
- ・圏域外の地域包括からの紹介はない。（空きがあるので）受け入れることはできる。
- ・地域包括で実施しているカフェにも利用者を連れて参加している。顔見知りになっている。
- ・クリニック等に定期的に訪問、利用者向けパンフレットを置いてもらう。
- ・地域のクリニックが主治医である利用者も多く、その場合には、お会いして話をする。最初は医師がサービス内容を知らなくても、知っていくうちに別のご家族を紹介してくれたケースもあった。
- ・小学校に隣接しているので、利用者が運動会に招待されたり、児童が太鼓演奏に来る等の交流がある。保育園との交流もある。
- ・神社の子どもみこしの休憩所等として地域交流をしている。
- ・施設の周辺地域だけではなく、利用者の居住地域の人たちと交流する、助けあえる体制を作ることが地域支援だと考えている。
- ・児童公園に隣接しているので、子どもたちがトイレを借りに来たり、出入りするようになった。その縁で小学校との交流が始まった。
- ・夏の納涼祭は実行委員会形式で、地域の若い世代にも参加を呼びかけているようなオープンな地域であり、そこに参加させてもらっている。
- ・町会の文化祭に高齢者の作品を展示したりしている。見学デーを作り、まずは知ってもらおうという取り組みもしている。

(4) 小多機／看多機に対する利用者のニーズ

- ・泊まりの需要が高く、5床のうち4床は常に稼働している状態。
- ・家族のニーズとして、日中ひとりで家においておくのは不安ということがある。
- ・訪問のニーズは低く、通いと泊まりの利用意向が高い。
- ・利用者のニーズは通いが中心。看多機なら看護師もいるし、週に何回かでも外に出て居場所があるという希望。
- ・訪問は、排泄介助、おむつ交換等が多い。その他、昼食のセッティングもニーズが高い。
- ・利用者の中には、看多機と医療デイを組み合わせ利用している人もおり、地域資源と組み合わせることで、利用者のニーズに答えている。

(5) 事業所の特色

- ・機能訓練には強みがある。また、看護師が常駐しているので医療面で安心できる。
- ・レクリエーションが多様でアットホームだと思う。
- ・同一施設でデイサービスも実施しているため、状態が落ちても環境が変わらずに小多機に移行できる。
- ・利用者の状況によっては、1日に複数回訪問している。夏は水分補給のためさらに訪問を1回増やす等柔軟に対応している。

- ・地域の医師との連携ができており、在宅で見守りまで行うこともある。
- ・以前から、他所で訪問看護ステーションを開設していた。
- ・看多機なので、介護職でもある程度の医療知識と技術が必要。胃ろうと吸引は、介護職でも対応できるよう都の研修を受けている。
- ・介護職の離職がここ1、2年ない。職員のやりがいを大切にしている。
- ・グループ内に10か所小多機があり、共同で研修教育を実施している。

(6) 小多機／看多機の課題

- ・登録者数がもう少し欲しい。
- ・小多機は時代に求められていると感じる一方、きちんと小多機としての本来の機能を大切にしなければデイサービスとの違いが出なくなってしまう。
- ・「通い＋訪問」のセットでプランを作っていくたいが、スタッフ面で難しい。通いのニーズが高いため、運営を圧迫している。プランを立てる中で訪問が必要だと認識しながらも調整が難しい。
- ・スタッフの中には、訪問介護が初めてという職員もいる。
- ・区民の認知度がまだ低い。使い方がいまいちよくわからない、といわれることがあるので、「こんな方がいます」、「こんな使い方があります」ということを周知していこうと考えている。
- ・文京区では場所が狭くて高いので、ハード的には苦しい状況。空間を分ければ穏やかに過ごせる方も、同じ空間のため、支援がしにくい。ソフトでカバーするしかない。
- ・夜間の訪問ニーズに答えられない。
- ・訪問に関しては、エリアがほぼ絞られると、効率的であると感じる。
- ・看多機は看護師がいるが、治療の場ではないため、本来の使い方の周知が必要である。
- ・訪問看護体制強化加算を受けているが、難病の利用者が医療保険の訪問看護を利用すると、訪問看護減算が発生する。医療が必要だから看多機を利用しているのに矛盾がある。
- ・今後、医療処置が必要でも病院にいられず在宅になる人が増えると推測されるので、看多機のニーズが高くなると思う。
- ・スタッフの確保・育成が課題。病棟看護師も少なく、病棟と訪問でも性格が異なる。介護スタッフも、多様なバックグラウンドがある。

[まとめ]

●小多機／看多機の利用者の特徴と利用者像

現在の利用者としては、認知症がある方、平均年齢は80代以上と比較的高齢の方、介護度は2～3の方が多くいる状況ですが、要介護5の方も一定程度利用しています。家族構成は、独居あるいは子ども世代との同居が多く、日中独居を避けるための通いの利用、家族のレスパイトとしての泊まりの利用が多くなっています。

●小多機／看多機を利用するまでの流れ

高齢者あんしん相談センター、ケアマネジャー等からの紹介が多いほか、利用者や家族からの申込みも一定数を占めています。看多機では、リハビリ系の病院が多く、大規模病院の地域連携室等からの紹介もあります。

●地域・高齢者あんしん相談センター・ケアマネジャー・医療機関との連携

お祭り等への参加や学校等の公共施設との交流を行っている事業所が多く、また、施設の周辺だけではなく、利用者の居住地の周辺地域と連携しているとしている事業所もあります。

高齢者あんしん相談センターや居宅介護支援事業所、クリニック等への定期的な訪問や交流は、多くの事業所がそれぞれの方法や頻度で実施しています。

●利用者のニーズと事業所の特色

事業所によって、通い、訪問、泊まりに対する利用者の利用状況は異なります。

また、多様なレクリエーションを実施し機能訓練にも強みがある「通い」に力を入れている事業所、瀬回かつ柔軟に「訪問」を実施する事業所、「泊まり」のニーズが特に高い事業所があります。また、看多機では、介護職にある程度の医療の知識と技術を備えさせており、利用者のニーズと同様、事業所の特色も様々となっています。いずれの事業所でも、それらを支えるために職員の研修・教育等を実施しています。

●小多機／看多機の課題

- ・ニーズに対してのきめ細やかな対応が、人員・ハード等の制約により行えない状況にあります。
- ・小多機／看多機の認知度の低さや、登録者数の伸び悩みがあります。

3 ケアマネジャー

【ケアマネジャー】

	調査対象	調査実施日
①	区内居宅介護支援事業所（主任介護支援専門員）※任意抽出	平成 29 年 9 月 26 日

（1）小多機／看多機の利用者像

- ・対象者によって、向き不向きがあるように思える。
- ・認知症で日によってできることとできないことの差が大きい人の場合、例えば自分で薬介助や着替えができる日もあったりする。その場合、訪問介護単体だと、自費を出してもらわないといけないが、小多機だと訪問して様子見だけでも介護サービスとなる。見守りとサポートが区別なく可能であれば、事業所にとっても利用者にとってもメリットがある。
- ・訪問介護を元々使っていて、決まった時間に厚く入ることに慣れていると、以前使っていた訪問と、小多機の訪問の間に差があり、うまくいかないことがある。
- ・ケアマネの交代が不可欠なので、受け持った期間が短い人の方が小多機／看多機に紹介しやすい。
- ・デイサービスと併設の小多機は、デイサービスに通っていた人が小多機に移行する、という利用の仕方ができる。
- ・家族が入所施設に抵抗があり、自宅でも面倒を見たいが程度が重い、という利用者が、夜間と週末等を自宅、その他の日は小多機／看多機を利用するという折り合い方が向いている。
- ・在宅が基本的に難しくなっている人は小多機／看多機で受けても難しい。

（2）小多機／看多機を利用するまでの流れ

- ・ケアマネとしては、これまでの付き合いが多い事業所に依頼する傾向があるので、これまで小多機／看多機を使ったことがないケアマネジャーは、紹介しないのではないかと。
- ・担当者会議で、デイの担当者から小多機／看多機の方が本人や家族のためにもいいのではないかとという提案がされることもある。

（3）小多機／看多機事業所との連携

- ・これまで小多機に紹介した事例は数件。
- ・小多機／看多機は、ケアマネ自体が移動するので、調整して小多機／看多機に引き継いだ後にフォローしにくいし、もし何かあっても、「小多機のケアマネとよく相談して」と答えるほかない。
- ・自分たちで小多機／看多機が向いていると思えば事業者にご相談するし、小多機からも「この人は週 1～2 回しか利用しなくて費用がもったいないから」と紹介されることもある。
- ・区全体の研修として、小多機の特徴等の説明会等を開くのも効果があるのではないかと。
- ・区内の事業所は全般的に情報発信力が弱いように思う。
- ・空き情報等、情報がなかなか伝わってこない。ケア倶楽部やそれぞれの会議等でアピールしてほしい。PR 先が地域包括だけだと、ケアマネまで情報が来ない。

(4) 小多機／看多機の課題

- ・小多機を利用したが期待ほどサービスが受けられず、戻りたいと相談を受けるケースがあった。
- ・医療的なケアが必要な人が小多機を利用すると、訪問看護の部分が自費になってしまう。
- ・昔はショートステイがあまりなかったので泊まらなかったが、今は在宅にいても希望すれば月の半分は確実に取れるし、もっと希望すれば3週間取れたりする。ショートステイの方が個室でも取れるから、お金を出してもショートステイに泊まる人が文京区の特質として多い。そのため小多機を紹介することが減ったと感じている。
- ・小多機を紹介した後で、事業者から「利用回数が少なくてもったいない」というケースがある。
- ・夕ご飯を食べて送ってきてくれるとか、午後からの通所にする等の融通が利く点をPRしたほうがいい。
- ・家族を含めて、小多機／看多機ではこういうことができ、こういうことができないということを予めしっかり打ち合わせたほうが、うまく移行できる。
- ・たとえば「要介護3だったら、こんなプログラム」と、モデルのようなものを示してもらえると紹介しやすい。
- ・例えば小多機の通いに関しても、思われているよりも実は工夫していたり、新たな取組をしているという情報が入ってくれば紹介しやすい。
- ・小多機／看多機への紹介は、現状ではケアマネの経験値に左右されるので、全体の研修として、小多機／看多機の最近の傾向や各事業所の特徴、空き状況の紹介等をケアマネ対象に実施したらどうか。

[まとめ]

●小多機／看多機の利用者像

認知症があり、日によってできることの差が大きい方や家族が在宅での介護を継続したいと考えている方は、利用に適している一方、これまでのサービスの使い方に慣れている方は、利用が難しいと考えられます。

また、ケアマネジャーの交代は不可欠であるので、受け持った期間が短い人の方が紹介しやすいという意見もありました。

●利用までの流れと小多機／看多機事業所との連携

小多機／看多機の利用が向いていると判断した場合は、事業所に相談・紹介することもあり、また、他のサービス事業所からも「小多機／看多機の方が向いているのでは」と相談されることがあります。

連携にあたって、空き情報等、情報が十分にケアマネジャーまで伝わっていないことから、各事業所の特徴や空き情報について説明会や会議、ケア倶楽部等を活用しての情報発信の充実が必要となっています。

●小多機／看多機の課題

- ・サービスの提供内容や提供回数等が利用者の状況にマッチしないことがあります。
- ・小多機／看多機に紹介したことがないケアマネジャーには、使い方が分かりにくい。
- ・具体的なサービス内容やモデルケース、各事業所の取組み、特色等をわかりやすくPRしていく必要があります。

4 病院

	調査対象	調査実施日
①	日本医科大学付属病院 患者支援センター	平成 29 年 10 月 4 日
②	東京医科歯科大学医学部付属病院 医療福祉支援室	平成 29 年 10 月 4 日
③	東京健生病院 医療相談室	平成 29 年 10 月 25 日

(1) 小多機／看多機の利用者像

- ・小多機／看多機は、認知症を抱えていて、独居でケアの必要性が高く、自宅での生活を望む人が向いているというイメージ。
- ・認知症の方は介護者によって態度等が変わってしまうこともあるので、小多機でなければサービスが届かない人がいる。
- ・認知症があって見守りが必要であり、ケアプランの限度額を超えてしまうが、自費のサービス利用が難しい人に向いている。
- ・家族があまりなく、孤立していて、インフォーマルなサービスにも限界があるような人が地域に帰るうえで小多機／看多機は適している。
- ・病院からすると、看多機の方が使えそう。どうしても最期は病院から退院できないのではという心配がある人が多い。胃ろうをやってもらえるのであれば（ニーズがある）。

(2) 小多機／看多機を利用するまでの流れ

- ・介護保険の申請等は、病棟で対応できる。現場スタッフを介して、地域包括等につなぐが、患者の居住地域が広範にわたるので、特定の事業者やケアマネ等とつながることは少なく、「窓口」を紹介することが多い。
- ・新規の場合には、地域包括等に申請をしてもらい、ケアマネを決める。
- ・病棟の看護師が地域包括に相談することをすすめることが多い。
- ・ケアマネに情報提供して、退院を機に小多機に変えてもらったことはある。
- ・サービス内容には口を出さないが「そろそろ小規模多機能とかにしたほうが」等の助言をすることもある。小多機／看多機につなげるケースもある。
- ・具体的なサービスについて詳しいというよりは、地域包括やケアマネにつなげるようにしている。
- ・患者の家族に「排泄がちょっと難しくなっていて」とか、「家の人がいらない空白の時間が一番危ないよね。もうちょっとデイを増やして」とか、「それだったら同じ職員のほうがいいんじゃない？」という形で小多機／看多機の情報提供をしている。
- ・どういう介護サービスを利用するかは「ノープラン」の方が多い。最近是有料老人ホームに行く人が増えている印象がある。
- ・がんの患者が多いため、介護サービスの入り口は福祉用具が多いと感じる。

(3) 小多機／看多機事業所との連携

- ・法人内に看多機があり、連携が進んでいる。
- ・訪問看護が都内に増加した。看多機は利用者にとっては良いサービスだが、人手不足で職員は大変そう。訪問看護が増加するのであれば、看多機に集約して欲しかった。
- ・訪問診療、訪問看護等は医療として病院から直接つなげるが、介護は当事者と事業者の「契約」なので、病院からつなぐことはない。
- ・退院前カンファレンスを開いても、地域病院ではなく患者の住所が広範囲なので、訪問診療や訪問看護はほとんど来られず、ケアマネも来られないことも多い。「顔の見える連携」と言われても非常に厳しい。
- ・有料老人ホームからの働きかけ（営業）が最近多くなっている。
- ・ケアマネや事業者との交流機会はそれほど多くない。
- ・困難さが少しあるとか、社会的な課題があるとか、本人たちの性格的なこだわりがあるとか、そういう場合は懇意にしている事業所に直接頼んでいる。
- ・区内に看多機があることは知っているが、利用したことはない。小多機／看多機よりも認知症対応型デイの方を使うことが多い。
- ・職員対象の小多機／看多機の説明会で、千石にじの家の所長がレクチャーした。
- ・いきいき礪川との連携会議を以前は開いていた。

(4) 利用者の小多機／看多機に対する満足度・ニーズ

- ・退院した患者で、小多機／看多機があったから在宅に戻れた、という事例がいくつかある。
- ・退院時は車いすレベルで自立できなかった患者が、退院後、看多機を利用しているうちに歩けるようになったと聞いている。
- ・他のサービスに比べ、小多機／看多機につないで苦情を受けたり合わなかったと言われたりすることがあまりない。

(5) 小多機／看多機の課題

- ・ケアマネが小多機／看多機につなげたがらないことがある。ケアマネが変わってしまうこともあるし、つないだところと利用者がうまくいかないこともある。
- ・患者のためには小多機／看多機の方がいいように思えても、ケアマネが変わらないようにと、訪問看護や訪問診療を入れるプランを立てることがある。
- ・住まいが事業所から遠方で、訪問が難しいと言われてあきらめたことがあった。
- ・小多機／看多機はとても良いサービスだと思っているが、まだ一般の人には認知されていない。
- ・孤立している高齢者が小規模に関わることですごく豊かにより良い生活が手に入れられるのだが、孤立している人は経済的にも問題がある人も多いので小多機／看多機の利用につながらず、矛盾を感じる。

[まとめ]

●小多機／看多機の利用者像

認知症があり見守りの必要がある方や、独居でケアの必要性が高く、自宅での生活を望む方に適していると考えられます。

また、終末期における退院支援の観点で、看多機の利用が考えられます。

●小多機／看多機を利用するまでの流れ

広域的に対応している医療機関では、高齢者あんしん相談センターやケアマネジャー等を紹介し、小多機／看多機の利用につなげています。また、患者の家族等とのやりとりの中で、具体的な小多機／看多機のイメージを情報提供している病院もあります。

●小多機／看多機事業所との連携

法人内に看多機がある場合では、連携が進んでいますが、広域的な対応等課題があり、連携が難しい状況があります。

●小多機／看多機に対する満足度・ニーズ

小多機／看多機の利用で状態が良くなった事例が複数あったことや、他のサービスと比べ苦情や相談が少なかったこと等から、満足度が高かったと考えられます。

●小多機／看多機の課題

- ・ケアマネジャーが変わってしまうため、利用に適した人が小多機／看多機につながりづらい場合があります。
- ・小多機／看多機の認知度が低い状況があります。
- ・経済的に利用が難しい人がいます。

【面接調査(課題)のまとめ】

高齢者あんしん相談センター、サービス提供事業者、ケアマネジャー及び病院の面接調査で、次の課題が把握できました。

○高齢者あんしん相談センターやケアマネジャーを通じて利用に結びつける流れが出来ていますが、利用者に対する小多機／看多機と関係機関との連携を深める必要があります。

○区民等の小多機／看多機のサービス内容の認知度が低く、そのため利用に結びつかない場合やケアマネジャーが変わる事への不安を高めている現状があります。

○増加する困難ケースやきめ細やかな対応を行っていくためには、事業所ごとの体制の拡充だけでなく、地域全体での基盤整備が必要となっています。

第6章 全体を通しての分析

本調査は、小多機／看多機のサービスの提供状況、潜在的ニーズ、利用者像等を把握・分析し、実情にあった整備計画を立て、効率的かつ効果的な施設整備を進めるとともに、事業者に対する参入意欲の喚起、既存事業所の安定的運営・サービスの質の向上に役立てることを目的としています。

今回の調査を通し、明らかになったことは以下のとおりです。本調査で明らかとなった分析結果を、高齢者・介護保険事業計画に反映し、基盤整備や事業者支援等具体的に取組む必要があります。

(1) 小多機／看多機の利用者像

小多機／看多機の利用者の家族構成は、「自分と子ども」という割合が高いことが特徴でした。(小多機／看多機利用者：41.5%、その他のサービス利用者：17.4%)

さらに、小多機／看多機事業所へのヒアリング調査の中では、「家族の仕事の都合で泊まりのサービスを利用する」、「柔軟な対応ができることで、夕ご飯を食べて、おむつを替えてから帰宅できる」等、いわゆる「現役世代」が高齢の親の介護を支えやすい点が挙げられています。小多機／看多機のサービス形態は、時間やサービスの提供内容の柔軟性から、利用者だけではなく、介護する家族のニーズにも合致していることがうかがえます。

また、小多機／看多機に適した利用者像として、同じスタッフが「通い、訪問、泊まり(、看護)」のサービスを行うことから、「認知症があり、自宅での生活が可能であるが、何らかの見守りや生活上の支援が常時必要な方」や、「認知症等により日によってできないことの差が大きい方」、「サービスの拒否がある方」等が挙げられています。

アンケート調査でも、「一つの事業所が通い、訪問、泊まりのサービスを提供すること」が、非常に高い評価を受けています。さらに、利用者の自由記述でも「利用者のことをよく知っている職員が通いから宿泊まで見てくれて、安心しておまかせできる」「基本は自分の生活スタイルを保てる」等の利点が挙げられています。これらのことから、文京区においても、小多機／看多機のサービスは、認知症や常時介護や見守りが必要な状態になっても、安心して介護のサポートを受けられ、在宅生活の継続を支えるものであることがわかります。

(2) 小多機／看多機を利用するまでの流れ

小多機／看多機を利用するまでの流れとしては、ケアマネジャーからの紹介、病院等からの紹介のほか、利用者やその家族からの直接の問い合わせも一定数あることが明らかになりました。

従来は、ケアマネジャーが交代することが課題となり、利用につながらないと考えられており、面接調査でも同様の声が一定程度ありました。しかしながら、小多機／看多機のサービス内容が理解されることで、ケアマネジャーが利用を促すことも多くなっているようです。それだけに、それぞれの小多機／看多機事業所がケアマネジャー等にサービス内容や事業所の特徴を伝えることが重要です。また、小多機／看多機のサービス内容等が期待通りでなく、従来のサービスに戻りたいという利用者も一定数いることが面接調査で明

らかになりました。そのような時に利用者が希望するサービスを受けられるようにするためにも、小多機／看多機事業所とケアマネジャーの相互の理解が重要です。

病院の退院支援セクションでも、小多機／看多機についての理解はされており、特に胃ろう等の医療的なケアが必要な利用者の在宅での生活を支えるものとして、看多機が認識されています。一方で、小多機／看多機での在宅生活ができるような利用者でも医師等が在宅では困難だとして老健や入所施設をすすめるという例もあることから、ここでも、小多機／看多機で対応可能な内容を周知する必要があるものと考えられます。

面接調査では、利用者やその家族からの直接の問い合わせ、申込みが一定数あることがわかりました。多くの場合、サービス提供にあたっての柔軟な対応、特に、同居している子ども世代の出張や残業等、急な用事等への対応が期待されているようです。このことは、小多機／看多機に介護離職を防ぐ役割もあると考えられます。

(3) 利用者の満足度および潜在ニーズ

アンケート調査では、現在、小多機／看多機の利用者の9割以上が、サービス内容に満足しているという結果が出ています。一つの事業所が、「通い、訪問、泊まり（、看護）」のサービスを提供することによる利用者の安心感があることや、利用者や家族のニーズに対してきめ細かく対応できるという特性が特に高く評価されているようです。また、小多機／看多機利用者がサービスの利用を続けることで、在宅での看取りまでできることも、「よい点」として評価されています。

潜在ニーズとして、介護認定を受けていない被保険者は、介護が必要になった場合、介護サービスを活用しながら現在の住まいに継続して住み続ける意向が強いということがわかりました。小多機／看多機はそのニーズに応えられるサービスであり、それを示すように、第1号被保険者の55.2%、第2号被保険者の49.4%が、小多機を「将来、介護が必要な状態になったら利用したい」と回答しています。さらに、その他の介護サービスの利用者の約2割が、将来小多機／看多機の利用意向があることも明らかになっています。

これらのことから、小多機／看多機に対する区民からの期待は高く、今後も高齢者の増加により、さらにニーズは高まっていくものと思われます。

(4) 事業所の取り組み

小多機／看多機は、通い、訪問、泊まり（、看護）を組み合わせながら利用できるサービスですが、「訪問に力を入れている事業所」、「通い中心にサービス提供を行っている事業所」、「定期的に泊まりを受け入れることによって家族の生活を支えている事業所」等、事業所ごとにサービスの特性があることが、今回の調査で明らかになりました。同時に、利用者のニーズも事業所の特性と同様、多岐にわたっており、期待されているサービスの形態も様々であることもわかります。

一方で、事業所それぞれの特性が、区内全域の高齢者あんしん相談センターやケアマネジャーに伝わっていないケースも見受けられ、それが利用者と事業所のミスマッチを招くこともあるようです。既存の会議体やホームページ等を活用しながら、事業所の特性をしっかりと利用者に伝えていくことで、利用者・家族が自身の状況に合わせた事業者を選択することができると考えられます。

(5) 事業所とケアマネジャーとの連携

利用者に対するアンケート調査では、過半数が「ケアマネジャーからサービスの利用をすすめられた」と回答しており、特に小多機／看多機サービスが本人・家族に有効な状況である場合は、ケアマネジャーが積極的にサービスの利用を提案していることがわかります。また、「居宅支援事業所から小多機／看多機のケアマネジャーが交代して困ったことの有無」では 67.7%の小多機利用者が「なかった」と回答しており、紹介後も連携がなされているといえます。

ただし、小多機事業所を紹介するにあたって必要な空き情報や事業所の特色等の情報が伝わっていないことが課題として挙げられています。事業所からの情報発信を強化し、さらに事業所とケアマネジャーとの連携を深めていくことが必要です。

(6) 小多機／看多機の所在地

小規模多機能型居宅介護サービスを利用するとしたら、自宅からどれくらいの距離にある事業所を利用したいと思うか尋ねたところ、「送迎があれば区内どこでもよい」と「サービス内容等で選ぶので、自宅からの距離はあまり気にしない」の合計は、回答者の過半数を超えていました。これは、送迎サービスがあることや文京区全域でも移動距離（時間）があまり負担にならないことによるものと考えられます。その一方で、3割近くの方が「送迎があっても自宅から徒歩圏内がよい」としており、今後の基盤整備にあたっては、日常生活圏域を意識しつつ区全体の整備を柔軟に進めることが必要と考えられます。

資料編

(調査票)

文京区 介護サービスに関する意識調査

— 調査へのご協力のお願い —

皆さまには、日ごろから文京区の福祉行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

文京区では、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域での生活を続けられるよう「地域密着型サービス」(※)の整備をすすめています。この調査では、みなさまの介護に対する意識や介護保険サービスについての意見をうかがい、今後、効果的かつ効率的に施設整備をすすめるための資料とさせていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、皆さまからの回答は文京区個人情報保護条例に基づき、統計的に処理いたします。ご回答いただいた内容が明らかにされたり、他の目的に使用されるなど、皆さまのご迷惑になることはございません。安心してご記入ください。

平成 29 年 9 月

文京区福祉部介護保険課

ご記入にあたって

- ① お送りしたあて名のご本人様がお答えください。ただし、ご本人様が高齢や病気などの理由で、回答することが難しい場合には、ご家族や介助者の方などが、ご本人様の意向を尊重してご記入ください。
- ② 質問への回答は、あてはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接お書きいただくものなどがあります。質問文の説明をよく読んでお答えください。
- ③ 「その他」に回答したときは、お手数ですが()内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。

ご記入いただいた調査票は、平成 29 年 10 月 6 日 (金) までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れてポストにご投函ください。お名前を記入していただく必要はありません。なお、回答は専門の部署で開封しますので、調査票以外は同封なさらぬようお願いいたします。

お問い合わせ先

文京区 福祉部 介護保険課 事業指導係

電話 : 03 (5803) 1204 FAX : 03 (5803) 1380

... (※) 地域密着型サービスとは...

地域密着型サービスとは、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、比較的小規模な施設などで利用者のニーズにきめ細かく応えるサービスです。原則として、区民の方のみが利用できます。

小規模多機能型居宅介護サービスとは…



ご自身やご家族の状況・都合に合わせて

通い 訪問 宿泊 3つの機能を組み合わせ
一体的に利用できるサービスです

特色

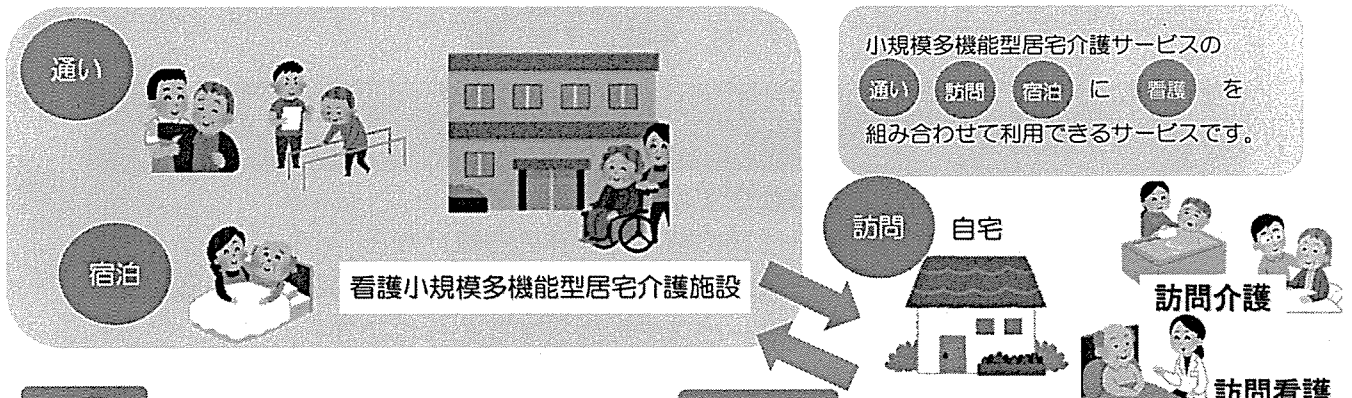
- ご自身やご家族の状況に合わせて、サービスの利用内容・時間等を柔軟に決めることができます。
- 「通い」「訪問」「宿泊」を同じ事業所の介護職員が行います。24時間365日体制で切れ目のない支援を提供します。
- 料金は定額制（※下記参照）です。
- 同じ事業所内にケアマネジャーが配置されています。

それにより…

- 一人ひとりの生活スタイルや時間の過ごし方を大切に、家族の介護による負担感を軽減することができます。
- 環境の変化が少なく、認知症の方にも安心してご利用いただけます。また、一人暮らしの方の不安も解消することができます。
- サービスの利用回数等を気にせず、必要に応じて利用することができます。
- 介護職員とケアマネジャーとの連携が図られやすいとされています。



看護小規模多機能型居宅介護サービスとは…



小規模多機能型居宅介護サービスの

通い 訪問 宿泊 に 看護 を
組み合わせて利用できるサービスです。

特色

- 「小規模多機能型居宅介護サービス」と「訪問看護」の機能を併せ持っています。
- 介護と看護を別々の事業者が実施するのではなく、同じ事業者が一体的に提供します。
- 事業所に常勤の看護師（又は保健師）が配置されています。

それにより…

- 在宅療養や医療的措置（胃ろうやカテーテルの交換等）が必要な方に適しているサービスです。
- 小規模多機能型居宅介護サービス同様、利用する方のニーズに柔軟に対応することができます。
- 利用者の体調の変化にすぐに対応することができます。※主治医を決めてご利用いただいています。

利用者負担の目安（1ヶ月、1割で計算）※食費等が別途必要です。

小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）

要支援1：3,778円／要支援2：7,634円／

要介護1：11,456円／要介護2：16,836円／要介護3：24,489円／要介護4：27,029円／要介護5：29,803円

看護小規模多機能型居宅介護

要介護1：13,699円／要介護2：19,168円／要介護3：26,945円／要介護4：30,560円／要介護5：34,567円

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

この用紙に直接ご記入ください。

● あなたの年齢、性別、要介護度をお答え下さい。(年齢は数字を記入。性別、要介護度はあてはまるもの1つに○)

年 齢	() 歳 (平成 29 年 9 月 1 日現在)				
性 別	男性	女性	その他または答えたくない		
要介護度	要支援 1	要支援 2			
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5

問1. あなたと一緒に暮らしている家族等は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 夫または妻 (事実婚を含む) | 6. その他の親族 (おじ、おば、いとこなど) |
| 2. 父母 (夫または妻の父母を含む) | 7. 友人や仲間などとの共同生活 |
| 3. 子 | 8. 自分ひとり |
| 4. 孫 | 9. その他 () |
| 5. 兄弟姉妹 | |

問2. あなたが小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めたのは、いつ頃からですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 平成 27 年 6 月より前 | 4. 平成 28 年 7 ~ 12 月 |
| 2. 平成 27 年 7 ~ 12 月 | 5. 平成 29 年 1 ~ 6 月 |
| 3. 平成 28 年 1 ~ 6 月 | 6. 今年の 7 月以降 |

問3. あなたが小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めたのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族から、サービスの利用をすすめられたから
2. ケアマネジャーから、サービスの利用をすすめられたから
3. ホームヘルパーや施設の職員から、サービスの利用をすすめられたから
4. 病院やかかりつけ医から、サービスの利用をすすめられたから
5. 高齢者あんしん相談センターから、サービスの利用をすすめられたから
6. 周囲の知人や友人から、サービスの評判を聞いたから
7. 家の近くにあったから
8. 他のサービスが自分に合わなかったから
9. 以前利用していた事業者と同じ事業者が運営しているから
10. テレビや新聞、雑誌などで、サービスの評判を聞いたから
11. その他 ()

問4. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めるまでに、どのような介護保険サービスを利用していましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|-------|-----------------------|
| 1. 訪問介護 | 次は問5へ | 5. 短期入所生活介護 (ショートステイ) |
| 2. 訪問看護 | | 6. 福祉用具貸与 |
| 3. 訪問入浴 | | 7. その他 () |
| 4. 通所介護 (デイサービス) | | 8. 利用していなかった (→次は問7へ) |

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

問5. 【問4で1～7を選んだ方のみ】あなたは、現在利用しているサービスと、以前利用していたサービスでは、どちらに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1. 現在利用しているサービス
(小規模多機能型居宅介護サービス) | 3. 両方とも同じくらい満足 |
| 2. 以前に利用していたサービス | 4. 両方とも同じくらい不満 |
| | 5. わからない |

問6. 【問4で1～7を選んだ方のみ】小規模多機能型居宅介護サービスの利用にあたり、ケアマネジャーが交代したことで、困ったことはありましたか。(あてはまるもの1つに○)

- あった(具体的な内容 _____)
- なかった

問7. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)の以下の特徴についてどのように思いますか。(それぞれのあてはまるもの1つに○)

	よいと思う	よいと思わない	どちらともいえない
ア. 一つの事業所が、「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを提供する(看護小規模多機能型居宅介護サービスの場合は「看護」も含む)	1	2	3
イ. ケアマネジャーが同じ事業所にいる	1	2	3
ウ. サービスの利用時間帯の融通が利きやすい	1	2	3
エ. サービスの提供回数・時間を柔軟に変えられる	1	2	3
オ. 毎月の利用額が一定である(宿泊費等除く)	1	2	3

問8. あなたが現在利用しているサービスと、それぞれの満足度をお答えください。(ア～ウのそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	利用している				利用していない
	とても満足	やや満足	やや不満	不満	
ア. 通い(デイサービス)	1	2	3	4	5
イ. 自宅への訪問(ホームヘルプ等)	1	2	3	4	5
ウ. 宿泊(ショートステイ)	1	2	3	4	5

問9. あなたは、「通い(デイサービス)」「ご自宅への訪問」「宿泊」をどれくらい利用していますか。(それぞれについて、()内に平均的な利用回数・時間を記入。)

- 通い(デイサービス) 1週間に()日程度
1回あたり()時間程度
- 自宅への訪問(ホームヘルプ等) 1週間に()日程度
- 宿泊(ショートステイ) 1か月に()回程度

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

問10.【宿泊サービスを利用している方にうかがいます】

あなたが宿泊サービスを利用する理由は、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 「通い（デイサービス）」に続けて利用することができるから
2. 介護職員がいるので、安心できるから
3. 家族が入院、療養中のため
4. 家族が用事などで家を不在にするため
5. 家族が希望するから
6. 自宅が建て替え中などで、一時的に帰宅できないから
7. 自宅では夜間ひとりきりになるから
8. その他（)
9. 特に理由はない

問11.【宿泊サービスを利用している方にうかがいます】

あなたは、希望する日に宿泊サービスを利用することができますか。(あてはまるもの1つに○)

1. おおむね希望通り利用できる
2. 希望を変えて、別の日に利用することがある
3. 希望が通らず、宿泊利用を取りやめることがある
4. その他（)

問12. 小規模多機能型居宅介護サービス全体としての満足度をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. とても満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

問13. あなたが、小規模多機能型居宅介護サービスで特に良いと思っていることは、どのようなことですか。ご自由にお書き下さい。

(例) 顔見知りの職員のサービスを、自宅でも施設でも受けられること

問14. あなたが、小規模多機能型居宅介護サービスで特に不満に思っていることは、どのようなことですか。ご自由にお書き下さい。

(例) 希望した日に宿泊できないことがある

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

(看護多機能小規模多機能型居宅介護サービス利用者)

この用紙に直接ご記入ください。

● あなたの年齢、性別、要介護度をお答え下さい。(年齢は数字を記入。性別、要介護度はあてはまるもの1つに○)

年齢	() 歳 (平成 29 年 9 月 1 日現在) 答えたくない				
性別	男性	女性	答えたくない		
要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

問1. あなたと一緒に暮らしている家族等は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 夫または妻 (事実婚を含む) | 6. その他の親族 (おじ、おば、いとこなど) |
| 2. 父母 (夫または妻の父母を含む) | 7. 友人や仲間などとの共同生活 |
| 3. 子 | 8. 自分ひとり |
| 4. 孫 | 9. その他 () |
| 5. 兄弟姉妹 | |

問2. あなたが看護小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めたのは、いつ頃からです。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 平成27年6月より前 | 4. 平成28年7～12月 |
| 2. 平成27年7～12月 | 5. 平成29年1～6月 |
| 3. 平成28年1～6月 | 6. 今年の7月以降 |

問3. あなたが看護小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めたのは、なぜですか (あてはまるものすべてに○)

1. 家族から、サービスの利用をすすめられたから
2. ケアマネジャーから、サービスの利用をすすめられたから
3. ホームヘルパーや施設の職員から、サービスの利用をすすめられたから
4. 病院やかかりつけ医から、サービスの利用をすすめられたから
5. 高齢者あんしん相談センターから、サービスの利用をすすめられたから
6. 周囲の知人や友人から、サービスの評判を聞いたから
7. 家の近くにあったから
8. 他のサービスが自分に合わなかったから
9. 以前利用していた事業所と同じ事業所が運営しているから
10. テレビや新聞、雑誌などで、サービスの評判を聞いたから
11. 病気やけがなどのため、医療的なケアが必要だから
12. その他 ()

問4. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスの利用を始めるまでに、どのような介護保険サービスを利用していましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|-------|-----------------------|
| 1. 訪問介護 | 次は問5へ | 5. 短期入所生活介護 (ショートステイ) |
| 2. 訪問看護 | | 6. 福祉用具貸与 |
| 3. 訪問入浴 | | 7. 小規模多機能型居宅介護 |
| 4. 通所介護 (デイサービス) | | 8. その他 () |
| | | 9. 利用していなかった (→次は問7へ) |

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

(看護多機能小規模多機能型居宅介護サービス利用者)

問5. 【問4で1～8を選んだ方のみ】あなたは、現在利用しているサービスと、以前利用していたサービスでは、どちらに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--|----------------|
| 1. 現在利用しているサービス
(看護小規模多機能型居宅介護サービス) | 3. 両方とも同じくらい満足 |
| 2. 以前に利用していたサービス | 4. 両方とも同じくらい不満 |
| | 5. わからない |

問6. 【問4で1～8を選んだ方のみ】看護小規模多機能型居宅サービスの利用にあたり、ケアマネジャーが交代したことで、困ったことはありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. あった (具体的な内容 _____)
2. なかった

問7. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスの以下の特徴についてどのように思いますか。(それぞれのあてはまるもの1つに○)

	よいと思う	よいと思わない	どちらともいえない
ア. ひとつの事業所が、「通い」「訪問」「宿泊」「看護」のサービスを提供する	1	2	3
イ. ケアマネジャーが同じ事業所にいる	1	2	3
ウ. サービスの利用時間帯の融通が利きやすい	1	2	3
エ. サービスの提供回数・時間を柔軟に変えられる	1	2	3
オ. 毎月の利用額が一定である(宿泊費等除く)	1	2	3

問8. あなたが現在利用しているサービスと、それぞれの満足度をお答えください。(それぞれのあてはまるもの1つに○)

	利用している				利用していない
	とても満足	やや満足	やや不満	不満	
ア. 通い(デイサービス)	1	2	3	4	5
イ. 自宅への訪問(ホームヘルプ等)	1	2	3	4	5
ウ. 宿泊(ショートステイ)	1	2	3	4	5
エ. 訪問看護	1	2	3	4	5

問9. あなたは、「通い(デイサービス)」「自宅への訪問」「宿泊」「訪問看護」をどれくらい利用していますか。(それぞれについて、()内に平均的な利用回数・時間を記入。)

1. 通い(デイサービス) 1週間に()日程度
1回あたり()時間程度
2. 自宅への訪問(ホームヘルプ等) 1週間に()日程度
3. 宿泊(ショートステイ) 1週間に()回程度
4. 訪問看護 1週間に()日程度

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

(看護多機能小規模多機能型居宅介護サービス利用者)

問10.【宿泊サービスを利用している方にうかがいます】

あなたが宿泊サービスを利用する理由は、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 「通い(デイサービス)」に続けて利用することができるから
2. 介護職員がおり、看護師にもすぐ連絡がとれ、安心できるから
3. 家族が入院、療養中のため
4. 家族が用事などで家を不在にするため
5. 家族が希望するから
6. 自宅が建て替え中などで、一時的に帰宅できないから
7. 自宅では夜間ひとりきりになるから
8. その他 ()
9. 特に理由はない

問11.【宿泊サービスを利用している方にうかがいます】

あなたは、希望する日に宿泊サービスを利用することができますか。(あてはまるもの1つに○)

1. おおむね希望通り利用できる
2. 希望を変えて、別の日に利用することがある
3. 希望が通らず、宿泊利用を取りやめることがある
4. その他 ()

問12. 看護小規模多機能型居宅介護サービス全体としての満足度をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. とても満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

問13. あなたが、看護小規模多機能型居宅介護サービスで良いと思っていることは、どのようなことですか。ご自由にお書き下さい。

(例) 看護師がすぐ対応してくれるので安心感がある

問14. あなたが、看護小規模多機能型居宅介護サービスで不満に思っていることは、どのようなことですか。ご自由にお書き下さい。

(例) 希望した日に宿泊できないことがある

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

(1号 被保険者)

この用紙に直接ご記入ください。

● あなたの年齢、性別をお答え下さい。(年齢は数字を記入。性別はあてはまるもの1つに○)

年 齢	() 歳 (平成 29 年 9 月 1 日現在) 答えたくない
性 別	男性 女性 答えたくない

問1. あなたと一緒に暮らしている家族等は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 夫または妻 (事実婚を含む) | 6. その他の親族 (おじ、おば、いとこなど) |
| 2. 父母 (夫または妻の父母を含む) | 7. 友人や仲間などとの共同生活 |
| 3. 子 | 8. 自分ひとり |
| 4. 孫 | 9. その他 () |
| 5. 兄弟姉妹 | |

問2. あなたの家族・親族(別居を含む)で、介護保険のサービスを受けている人はいますか。(あてはまるもの1つに○)

1. いる (次は問2-1へ) 2. いない (次は問3へ) 3. わからない (次は問3へ)



問2-1. 問2で「いる」と答えた方にうかがいます。

その方はどのような介護サービスを受けていますか(あてはまるもの1つに○)

1. 施設等に入所している
2. 主に自宅で暮らしながら、サービスを受けている
3. どのようなサービスを受けているか、わからない

問3. あなたは、ご自身の介護が必要になったとき、その介護についてどのように感じていますか。(主なもの3つまでに○)

1. 誰(どこ)に相談すればいいのかわからない
2. どのような介護サービスがあるかわからない
3. 介護してくれる人がいるか、不安である
4. 現在の住まいでそのまま暮らせるか、不安である
5. 介護サービスをできるだけ活用したい
6. 介護に関する知識もしくは経験があるので不安は感じない
7. その他(具体的に)

問4. あなたは、ご家族(親や配偶者など)の介護が必要になったとき、その介護についてどのように感じますか(主なもの3つまでに○)

1. 誰(どこ)に相談すればいいのかわからない
2. どのような介護サービスがあるかわからない
3. 介護できる人がいるか、不安である
4. 現在の住まいでそのまま暮らせるか、不安である
5. 介護サービスをできるだけ活用したい
6. 介護に関する知識もしくは経験があるので不安は感じない
7. その他(具体的に :)

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

問5. あなたは、高齢者の暮らしや介護サービスについての情報をどのようにして得ていますか。(主なものを3つまでに○)

1. 区報やハートページなど区が発行する印刷物
2. 区や都からの通知やおしらせ
3. 区や都などの公共団体のインターネット上の情報
4. ケーブルテレビ（CATV）の番組
5. テレビや新聞、雑誌等のマスコミ
6. 企業や団体等のインターネット上の情報
7. 個人の経験談や体験記
8. その他（具体的に： _____)

問6. 以下の介護サービス等について、あなたはどの程度ご存じですか。(それぞれについてあてはまるもの1つに○)

	名称もサービス内容等も知っている	名称は知っているがサービス内容等は知らない	名称もサービス内容等も知らない
(1) デイサービス	1	2	3
(2) 訪問介護（ホームヘルプサービス）	1	2	3
(3) 訪問入浴	1	2	3
(4) ショートステイ	1	2	3
(5) 訪問看護	1	2	3
(6) グループホーム	1	2	3
(7) 特別養護老人ホーム	1	2	3
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3
(9) 夜間対応型訪問介護	1	2	3

== 問7～12は、同封した挨拶状の裏面の解説をご覧になってお答え下さい。 ==

問7. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 名称もサービス内容も知っている（次は問7-1へ） _____
2. 名称は知っているがサービス内容は知らない（次は問7-1へ） _____
3. 名称もサービス内容も知らない（次は問8へ） -----

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

問7-1. 【問7で1または2を選んだ方】あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族、知人などが利用している
2. 新聞や雑誌の記事で読んだことがある
3. テレビやラジオの放送で見聞きしたことがある
4. インターネットの記事 (SNS やブログなどを含む) で見たことがある
5. 施設を見かけたことがある
6. 区のご案内 (ハートページなど) で見たことがある
7. その他 (具体的に: _____)

問8. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 名称もサービス内容も知っている (次は問8-1へ) -----
2. 名称は知っているがサービス内容は知らない (次は問8-1へ) -----
3. 名称もサービス内容も知らない (次は問9へ) -----

問8-1. 【問8で1または2を選んだ方】あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族、知人などが利用している
2. 新聞や雑誌の記事で読んだことがある
3. テレビやラジオの放送で見聞きしたことがある
4. インターネットの記事 (SNS やブログなどを含む) で見たことがある
5. 施設を見かけたことがある
6. 区のご案内 (ハートページなど) で見たことがある
7. その他 (具体的に: _____)

問9. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)についてどのように思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 将来、介護が必要な状態になったら利用したい
2. 利用したくない (理由: _____)
3. 見学会や説明会など、詳しく知る機会がほしい
4. 家族や親族、知人などに利用をすすめたい
5. その他 (具体的に: _____)
6. よくわからない

問10. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)についてどのようなことを知りたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. どのような人が利用しているか
2. サービス内容の詳細
3. 利用にあたっての手続き
4. 区内にある事業所の場所
5. 希望してすぐに利用できるか
6. その他 (具体的に: _____)

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

問11. あなたが、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)を利用するとしたら、自宅から事業所の距離についてどう感じますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 送迎があれば区内どこでもよい
2. サービス内容等で選ぶので、自宅からの距離はあまり気にしない
3. 送迎があっても自宅から徒歩圏内がよい
4. その他(具体的に：)

問12. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)の以下の特徴についてどのように思いますか。(それぞれのあてはまるもの1つに○)

	魅力に 思う	魅力に 思わない	どちらとも いえない
ア. ひとつの事業所が、「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを提供する(看護小規模多機能型居宅介護サービスの場合は「看護」も含む)	1	2	3
イ. ケアマネジャーが同じ事業所にいる	1	2	3
ウ. サービスの利用時間帯の融通が利きやすい	1	2	3
エ. サービスの提供回数・時間を柔軟に変えられる	1	2	3
オ. 毎月の利用額が一定である(宿泊費等除く)	1	2	3

問13. あなたは介護サービスについて詳しく知りたいときに、どのような催し等であれば参加したいと思いますか。(主なもの2つまで選んで○)

1. 介護保険のサービス内容や利用方法等についての説明会や講演会
2. 介護保険施設等の見学会
3. 介護サービスを利用している人との情報交換会
4. その他(具体的に：)

● あなたが介護保険の制度やサービスなどについて感じていること、こうしてほしいと思っていることを自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、10月6日(金)までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

(2号 被保険者)

この用紙に直接ご記入ください。

● あなたの年齢、性別をお答え下さい。(年齢は数字を記入。性別はあてはまるもの1つに○)

年 齢	() 歳 (平成 29 年 9 月 1 日現在)	答えたくない
性 別	男性 女性	答えたくない

問1. あなたと一緒に暮らしている家族等は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 夫または妻 (事実婚を含む) | 6. その他の親族 (おじ、おば、いとこなど) |
| 2. 父母 (夫または妻の父母を含む) | 7. 友人や仲間などとの共同生活 |
| 3. 子 | 8. 自分ひとり |
| 4. 孫 | 9. その他 () |
| 5. 兄弟姉妹 | |

問2. あなたの家族・親族(別居を含む)で、介護保険のサービスを受けている人はいますか。(あてはまるもの1つに○)

1. いる (次は問2-1へ) 2. いない (次は問3へ) 3. わからない (次は問3へ)



問2-1. 問2で「いる」と答えた方にうかがいます。

その方はどのような介護サービスを受けていますか(あてはまるもの1つに○)

1. 施設等に入所している
2. 主に自宅で暮らしながら、サービスを受けている
3. どのようなサービスを受けているか、わからない

問3. あなたは、ご自身の介護が必要になったとき、その介護についてどのように感じていますか。(主なもの3つまでに○)

1. 誰(どこ)に相談すればいいのかわからない
2. どのような介護サービスがあるかわからない
3. 介護してくれる人がいるか、不安である
4. 現在の住まいでそのまま暮らせるか、不安である
5. 介護サービスをできるだけ活用したい
6. 介護に関する知識もしくは経験があるので不安は感じない
7. その他(具体的に:)

問4. あなたは、ご家族(親や配偶者など)の介護が必要になったとき、その介護についてどのように感じますか(主なもの3つまでに○)

1. 誰(どこ)に相談すればいいのかわからない
2. どのような介護サービスがあるかわからない
3. 介護できる人がいるか、不安である
4. 現在の住まいでそのまま暮らせるか、不安である
5. 介護サービスをできるだけ活用したい
6. 介護に関する知識もしくは経験があるので不安は感じない
7. その他(具体的に:)

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

問5. あなたは、高齢者の暮らしや介護サービスについての情報をどのようにして得ていますか。(主なものを3つまでに○)

1. 区報やハートページなど、区が発行する印刷物
2. 区や都からの通知やおしらせ
3. 区や都などの公共団体のインターネット上の情報
4. ケーブルテレビ (CATV) の番組
5. テレビや新聞、雑誌等のマスコミ
6. 企業や団体等のインターネット上の情報
7. 個人の経験談や体験記
8. その他 (具体的に： _____)

問6. 以下の介護サービス等について、あなたはどの程度ご存じですか。(それぞれについてあてはまるもの1つに○)

	名称もサービス内容等も知っている	名称は知っているがサービス内容等は知らない	名称もサービス内容等も知らない
(1) デイサービス	1	2	3
(2) 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	2	3
(3) 訪問入浴	1	2	3
(4) ショートステイ	1	2	3
(5) 訪問看護	1	2	3
(6) グループホーム	1	2	3
(7) 特別養護老人ホーム	1	2	3
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3
(9) 夜間対応型訪問介護	1	2	3

== 問7～12は、同封した挨拶状の裏面の解説をご覧ください。 ==

問7. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 名称もサービス内容も知っている (次は問7-1へ) _____
2. 名称は知っているがサービス内容は知らない (次は問7-1へ) _____
3. 名称もサービス内容も知らない (次は問8へ) -----

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

問7-1. 【問7で1または2を選んだ方】あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族、知人などが利用している
2. 新聞や雑誌の記事で読んだことがある
3. テレビやラジオの放送で見聞きしたことがある
4. インターネットの記事（SNS やブログなどを含む）で見たことがある
5. 施設を見かけたことがある
6. 区の案内（ホームページなど）で見たことがある
7. その他（具体的に： _____)

問8. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 名称もサービス内容も知っている（次は問8-1へ） -----
2. 名称は知っているがサービス内容は知らない（次は問8-1へ） -----
3. 名称もサービス内容も知らない（次は問9へ） -----

問8-1. 【問8で1または2を選んだ方】あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族、知人などが利用している
2. 新聞や雑誌の記事で読んだことがある
3. テレビやラジオの放送で見聞きしたことがある
4. インターネットの記事（SNS やブログなどを含む）で見たことがある
5. 施設を見かけたことがある
6. 区の案内（ホームページなど）で見たことがある
7. その他（具体的に： _____)

問9. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスや看護小規模多機能型居宅介護サービスについてどのように思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 将来、介護が必要な状態になったら利用したい
2. 利用したくない（理由： _____)
3. 見学会や説明会など、詳しく知る機会がほしい
4. 家族や親族、知人などに利用をすすめたい
5. その他（具体的に： _____)
6. よくわからない

問10. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)についてどのようなことを知りたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. どのような人が利用しているか
2. サービス内容の詳細
3. 利用にあたっての手続き
4. 区内にある事業所の場所
5. 希望してすぐに利用できるか
6. その他（具体的に _____)

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

問11. あなたが小規模多機能型居宅介護サービスを利用するとしたら、自宅からどれくらいの距離にある事業所を利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 送迎があれば区内どこでもよい
2. サービス内容等で選ぶので、自宅からの距離はあまり気にしない
3. 送迎があっても自宅から徒歩圏内がよい
4. その他（具体的に： _____)

問12. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)の以下の特徴についてどのように思いますか。(それぞれのあてはまるもの1つに○)

	魅力に 思う	魅力に 思わない	どちらとも いえない
ア. ひとつの事業所が、「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを提供する(看護小規模多機能型居宅介護サービスの場合は「看護」も含む)	1	2	3
イ. ケアマネジャーが同じ事業所にいる	1	2	3
ウ. サービスの利用時間帯の融通が利きやすい	1	2	3
エ. サービスの提供回数・時間を柔軟に変えられる	1	2	3
オ. 毎月の利用額が一定である	1	2	3

問13. あなたは介護サービスについて詳しく知りたいときに、どのような催し等であれば参加したいと思いますか。(主なもの2つまでに○)

1. 介護保険のサービス内容や利用方法等についての説明会や講演会
2. 介護サービス施設等の見学会
3. 介護サービスを利用している人との情報交換会
4. その他（具体的に： _____)

● あなたが介護保険の制度やサービスなどについて感じていること、こうしてほしいと思っていることを自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、10月6日（金）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

(介護サービス利用者)

問4. あなたが利用している介護サービスの全体としての満足度とその理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. とても満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満
(その理由 _____)

問5. あなたが利用している介護サービスの量(※1)は、介護度別に設定されている支給限度額(※2)の何割くらい利用していますか？(あてはまるもの1つに○)

1. 6割以下 2. 7～8割程度 3. 9～10割程度
4. 限度額を超えている 5. わからない

<参考>

※1 利用している介護サービスの量は、ケアマネジャーが提示するサービス利用表に記載しています。

※2 支給限度額のみやす(利用者負担額はこの1割または2割)

要支援1	50,030円	要支援2	104,730円		
要介護1	166,920円	要介護2	196,160円	要介護3	269,310円
要介護4	308,060円	要介護5	360,650円		

問6. あなたは、高齢者の暮らしや介護サービスについての情報をどのようにして得ていますか。(主なもの3つまでに○)

1. 区報やハートページなど区が発行する印刷物
2. 区や都からの通知やおしらせ
3. 区や都などの公共団体のインターネット上の情報
4. ケーブルテレビ(CATV)の番組
5. テレビや新聞、雑誌等のマスコミ
6. 企業や団体等のインターネット上の情報
7. 個人の経験談や体験記
8. その他(具体的に _____)

=問7～12は、同封した挨拶状の裏面の解説をご覧になってお答え下さい。=

問7. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 名称もサービス内容も知っている(次は問7-1へ) -----
2. 名称は知っているがサービス内容は知らない(次は問7-1へ) -----
3. 名称もサービス内容も知らない(次は問8へ) -----

問7-1.【問7で1または2を選んだ方】 あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族、知人などが利用している
2. 新聞や雑誌の記事で読んだことがある
3. テレビやラジオの放送で見聞きしたことがある
4. インターネットの記事(SNSやブログなどを含む)で見たことがある
5. 施設を見かけたことがある
6. 区のご案内(ハートページなど)で見たことがある
7. その他(具体的に _____)

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

(介護サービス利用者)

問7-2. 【問7で1または2を選んだ方】あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスの利用を検討したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 検討したことはない
2. 検討したが利用しなかった(その理由_____)

問8. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービスを利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. すぐにでも利用したい
2. 今すぐは必要ないが、いずれ利用したい
3. サービスの内容をもっと知ってから決めたい
4. 利用したいとは思わない
5. その他(_____)

問9. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 名称もサービス内容も知っている(次は問9-1へ) -----
2. 名称は知っているがサービス内容は知らない(次は問9-1へ) -----
3. 名称もサービス内容も知らない(次は問10へ) _____

問9-1. 【問9で1または2を選んだ方】あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族、知人などが利用している
2. 新聞や雑誌の記事で読んだことがある
3. テレビやラジオの放送で見聞きしたことがある
4. インターネットの記事(SNSやブログなどを含む)で見たことがある
5. 施設を見かけたことがある
6. 区の案内(ハートページなど)で見たことがある
7. その他(具体的に_____)

問9-2. 【問9で1または2を選んだ方】あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスの利用を検討したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 検討したことはない
2. 検討したが利用しなかった(その理由_____)

問10. あなたは、看護小規模多機能型居宅介護サービスを利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. すぐにでも利用したい
2. 今すぐは必要ないが、いずれ利用したい
3. サービスの内容をもっと知ってから決めたい
4. 利用したいとは思わない
5. その他(_____)

文京区 小規模多機能型居宅介護に関する調査

(介護サービス利用者)

問11. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)についてどのようなことを知りたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. どのような人が利用しているか | 4. 区内にある事業所の場所 |
| 2. サービス内容の詳細 | 5. 希望してすぐに利用できるか |
| 3. 利用にあたっての手続き | 6. その他(具体的に) |

問12. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)を利用するとしたら、自宅からどれくらいの距離にある事業所を利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 送迎があれば区内どこでもよい
2. サービス内容等で選ぶので、自宅からの距離はあまり気にしない
3. 送迎があっても自宅から徒歩圏内がよい
4. その他(具体的に)

問13. あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(看護小規模多機能型居宅介護サービスを含む)の以下の特徴についてどのように思いますか。(それぞれのあてはまるもの1つに○)

	魅力に 思う	魅力に 思わない	どちらとも いえない
ア. ひとつの事業所が、「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを提供する(看護小規模多機能型居宅介護サービスの場合は「看護」も含む)	1	2	3
イ. ケアマネジャーが同じ事業所にいる	1	2	3
ウ. サービスの利用時間帯の融通が利きやすい	1	2	3
エ. サービスの提供回数・時間を柔軟に変えられる	1	2	3
オ. 毎月の利用額が一定である(宿泊費等除く)	1	2	3

問14. あなたは介護サービスについて詳しく知りたいときに、どのような催し等であれば参加したいと思いますか。(主なもの2つまで選んで○)

1. 介護保険のサービス内容や利用方法等についての説明会や講演会
2. 介護サービス施設等の見学会
3. 介護サービスを利用している人との情報交換会
4. その他(具体的に)

● あなたが介護保険の制度やサービスなどについて感じていること、こうしてほしいと思っていることを自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、10月6日(金)までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

